

診療報酬改定結果検証に係る調査（平成22年度調査）
救急医療等の充実・強化のための見直しの影響調査

1. 目的

- ・本調査「救急医療等の充実・強化のための見直しの影響調査」は、中央社会保険医療協議会における重点課題の一つである「新生児集中治療や小児救急医療の評価、急性期後の受け皿としての後方病床機能の評価など、救急医療の充実・強化のための見直しの影響」を調査し、もって診療報酬改定の議論の際の基礎資料として活用することを目的とするものである。

2. 調査対象・方法

(1) 調査対象

① 救急病院調査

- ・救急病院票は、診療報酬における救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料、救急搬送患者地域連携紹介加算、地域連携小児夜間・休日診療料、地域連携夜間・休日診療料のいずれかについて届出をしている全国の全ての医療機関施設1,274施設を対象とした。
- ・退室患者調査は、上記の対象施設において、新生児特定集中治療室、または新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）、あるいは新生児治療回復室に入室した患者のうち、平成22年11月1カ月間に退室した全ての患者を対象とした。
- ・院内トリアージの評価に関する調査は、上記の対象施設のうち、院内トリアージ加算の届出をしている全国の全ての医療機関施設66施設において、平成22年12月15日（水）～12月21日（火）の間に時間外の救急外来を受診し、院内トリアージ加算を算定した6歳未満の小児患者および保護者を対象とした。

② 連携病院調査

- ・連携病院票は、施設調査の対象施設において、療養病棟入院基本料、救急搬送患者地域連携受入加算の届け出をしている全国の病院692施設を対象とした。

③ 有床診療所調査

- ・有床診療所票は、診療報酬における救急・在宅等支援療養病床初期加算、救急搬送患者地域連携受入加算のいずれかについて届出をしている全国の全ての有床診療所495施設、及び有床診療所一般病床初期加算の届出をしている全国の有床診療所から無作為に抽出した300施設の計795施設を対象とした。

(2) 調査方法

- ・ 郵送発送、郵送回収

(3) 調査項目

① 救急病院調査

図表 2-1 救急病院票の調査項目

記入者	調査内容
管理者 又は 事務責任者	<p><u>1. 施設の概況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 開設者<input type="checkbox"/> 承認等の状況<input type="checkbox"/> 一般病棟入院基本料 <p><u>2. 救急医療体制、関連診療報酬の施設基準の届出、算定状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 救急告示の有無、救急医療体制<input type="checkbox"/> 夜間（深夜含む）の救急対応の可否<input type="checkbox"/> 救急関連の診療報酬の施設基準の届出、算定状況 <p><u>3. 施設の病床種別ごとの稼動状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 許可病床数、病床利用率、平均在院日数 <p><u>4. 救急医療に従事する人員体制</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 救急医療に従事する医師数、看護師数<input type="checkbox"/> 救急医療に従事する医師、看護師の平成 23 年度採用予定<input type="checkbox"/> 平日・土曜日・日曜日の時間帯別の救急医療に従事する医師数、看護師数 <p><u>5. 救急医療の実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 外来患者延べ数、時間外・休日・夜間加算の算定件数、緊急自動車で搬送された延べ患者数<input type="checkbox"/> 緊急入院した患者数、患者の重症度、主たる状態像等 <p><u>6. 院内トリアージの実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 院内トリアージの実施の有無、実施人数、導入時期<input type="checkbox"/> 院内トリアージの担当職種<input type="checkbox"/> 院内トリアージの対象年齢<input type="checkbox"/> 院内トリアージの周知方法 <p><u>7. NICUにおける入退室・転院・退院等の状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室に入室した患者数<input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室から転棟・転院・退院した患者数 <p><u>8. GCUにおける退室・転院・退院等の状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 新生児治療回復室から転棟・転院・退院した患者数 <p><u>9. 救急搬送患者地域連携紹介加算の届出状況等</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 施設基準の届出の有無<input type="checkbox"/> 連携医療機関の状況<input type="checkbox"/> 他の病院・優勝診療所への転院患者数、算定患者数 <p><u>10. 急性期病棟等退院調整加算等の算定状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 退院・転院先の種類別の退院・転院患者数 <p><u>11. 退院支援担当部署の状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 担当部署の設置の有無、従事職員数 <p><u>12. 救急医療の充実についての意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 平成 22 年度診療報酬改定による救急医療の充実状況

図表 2-2 退室患者票の調査項目

記入者	調査内容
担当の看護師 又は 医療事務の 職員	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>患者の基本的事項</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 入院時の年齢 <input type="checkbox"/> 入院日 <input type="checkbox"/> 入院前の居場所 <input type="checkbox"/> 来院方法 2. <u>患者の状態等</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室または新生児治療回復室等に最初に入室時の状態 <input type="checkbox"/> 手術の実施状況 <input type="checkbox"/> 主傷病・副傷病 3. <u>入院してから患者が入室した治療室・病棟等の順番</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 患者が入室した治療室の順番 4. <u>新生児特定集中治療室、新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）、新生児治療回復室に在室した際の通算の在室日数等</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室での通算の在室日数、転棟・転院・退院までの待機日数 <input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室での通算の在室日数、転棟・転院・退院までの待機日数 <input type="checkbox"/> 新生児治療回復室での通算の在室日数、転棟・転院・退院までの待機日数 5. <u>退室時の状況</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 退室決定の状況 <input type="checkbox"/> 退室後の居場所 <input type="checkbox"/> 退院支援計画書の策定状況 <input type="checkbox"/> 退院時のカンファレンスの開催状況

図表 2-3 院内トリアージの評価に関する調査の調査項目

記入者	調査内容
担当の看護師 又は 医療事務の 職員 および 患者の保護者	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>院内トリアージの実施状況（医療機関側で記入）</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受診日 <input type="checkbox"/> トリアージ区分 <input type="checkbox"/> トリアージ実施者 <input type="checkbox"/> トリアージの趣旨の説明者 2. <u>患者・保護者の基本的事項および受診状況（保護者側で記入）</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 患者本人の年齢 <input type="checkbox"/> 保護者の性別・年齢 <input type="checkbox"/> 救急の来院方法 <input type="checkbox"/> 待ち時間 3. <u>トリアージの仕組みの認知状況（保護者側で記入）</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> トリアージの仕組みの認知の有無 <input type="checkbox"/> これまえでのトリアージを受けた経験の有無 4. <u>トリアージの趣旨の説明に対する理解状況（保護者側で記入）</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> トリアージを受けた際の趣旨についての説明に対する理解度 5. <u>トリアージに対する賛否（保護者側で記入）</u> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> トリアージに対する賛成・反対 <ul style="list-style-type: none"> ・「賛成」を選択した理由 ・「どちらともいえない」「反対」を選択した理由

記入者	調査内容
	<p><u>6. 時間外の救急外来の受診に係る意見（保護者側で記入）</u></p> <p><input type="checkbox"/>今回受診した時間帯に近隣であいている医療機関の有無</p> <p>・時間外の救急外来を受診した医療機関を選んだ理由</p> <p><input type="checkbox"/>今回の時間外の救急外来を受診した医療機関以外で休日・夜間にあいている診療所があった場合の受診意向</p> <p><input type="checkbox"/>小児救急電話相談（#8000）の認知の有無</p> <p><u>7. トリアージに対する意見等（保護者側で記入）</u></p> <p><input type="checkbox"/>トリアージに対する意見、医療機関の受診に当たって意識していること</p>

② 連携病院調査

図表 2-4 連携病院票の調査項目

記入者	調査内容
管理者 又は 事務責任者	<p><u>1. 施設の概況</u></p> <p><input type="checkbox"/>開設者</p> <p><input type="checkbox"/>病床種別ごとの許可病床数、病床利用率、平均在院日数</p> <p><u>2. 救急病院との連携状況</u></p> <p><input type="checkbox"/>他院から転院してきた患者（他院で緊急入院していた者に限る）の人数</p> <p>・受け入れた病棟等別の転院してきた患者数</p> <p>・入院基本料等加算別の転院してきた患者数</p> <p><input type="checkbox"/>療養病棟に入院又は転院してきた患者数</p> <p>・直前の居場所別の転院してきた患者数</p> <p>・救急・在宅等支援療養病床初期加算の算定患者数</p> <p><u>3. 救急搬送患者地域連携受入加算の届出状況等</u></p> <p><input type="checkbox"/>施設基準の届出の有無</p> <p><input type="checkbox"/>連携医療機関の状況</p> <p><u>4. 慢性期病棟等退院調整加算の算定状況等</u></p> <p><input type="checkbox"/>退院・転院先の種類別の退院・転院患者数</p> <p>・退院調整加算を算定した患者数</p> <p>・慢性期病棟等退院調整加算1又は2を算定した患者数</p> <p><u>5. 救急医療に関連した事項に係る意見</u></p> <p><input type="checkbox"/>救急医療に関連した事項に係る意見</p>

③ 有床診療所調査

図表 2-5 有床診療所票の調査項目

記入者	調査内容
管理者 又は 事務責任者	<p><u>1. 施設の概況</u></p> <p><input type="checkbox"/>開設者、病床数、入院基本料の種別等</p> <p><u>2. 救急病院との連携状況</u></p> <p><input type="checkbox"/>他院から転院してきた患者（他院で緊急入院していた者に限る）の人数</p> <p>・入院基本料等加算別の転院してきた患者数</p> <p><input type="checkbox"/>一般病床に入院又は転院してきた患者数</p> <p>・直前の居場所別の転院してきた患者数</p> <p>・有床診療所一般病床初期加算の算定患者数</p>

記入者	調査内容
	<input type="checkbox"/> 療養病床に入院又は転院してきた患者数 <ul style="list-style-type: none"> ・直前の居場所別の転院してきた患者数 ・救急・在宅等支援療養病床初期加算の算定患者数 <u>3. 救急搬送患者地域連携受入加算の届出状況等</u> <input type="checkbox"/> 施設基準の届出の有無 <input type="checkbox"/> 連携医療機関の状況 <u>4. 救急医療に関連した事項に係る意見</u> <input type="checkbox"/> 救急医療に関連した事項に係る意見

3. 回収状況

図表 3-1 回収状況

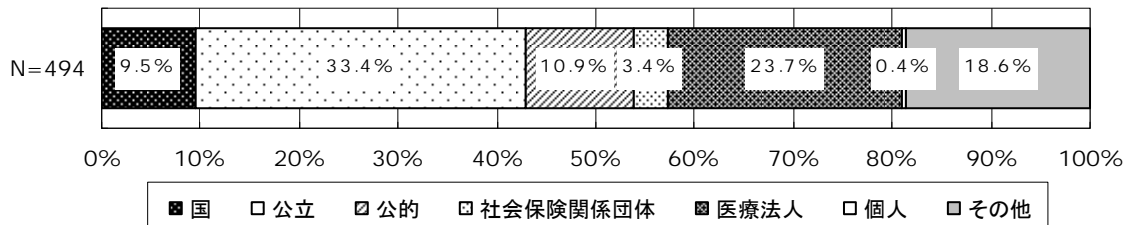
調査種別	発送数	有効回収数	回収率
救急病院票	1274 件	494 件	38.8%
退室患者票		2,074 件	
院内トリアージ票		341 件	
連携病院票	692 件	166 件	24.0%
有床診療所票	795 件	261 件	32.8%

4. 救急病院調査の結果概要

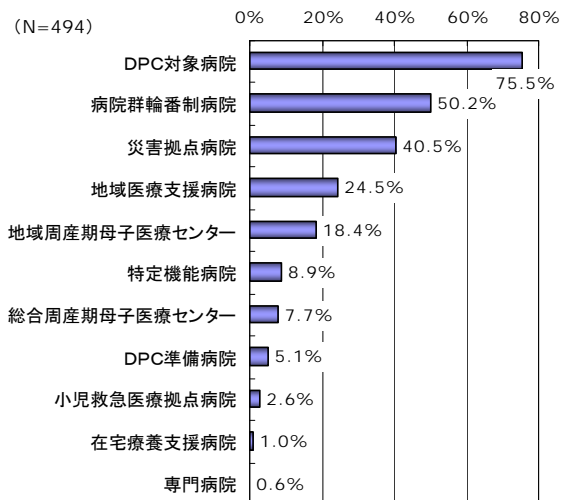
(1) 回答病院の概況

① 回答病院の概況

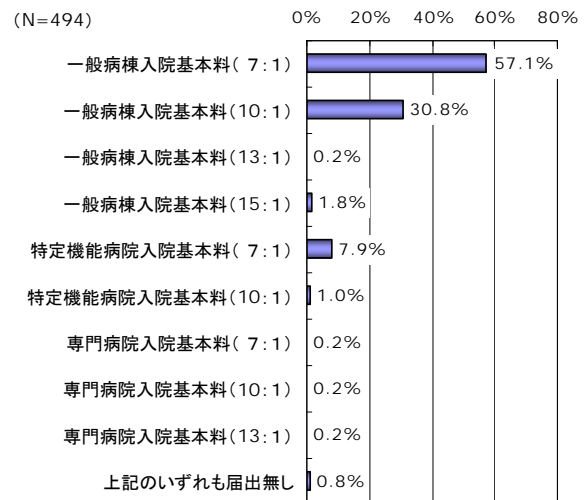
図表 4-1 設置主体



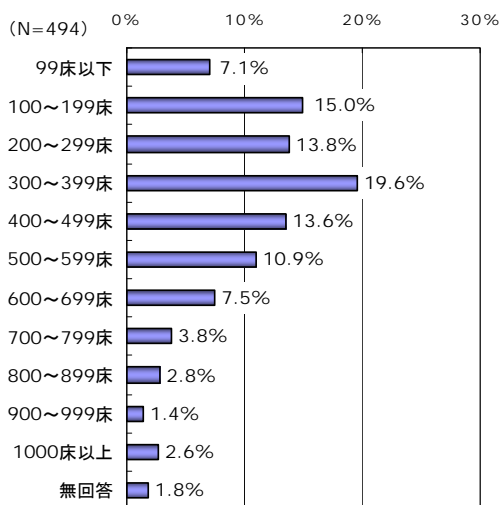
図表 4-2 承認等の状況 [複数回答]



図表 4-3 一般病棟の入院基本料



図表 4-4 病床規模



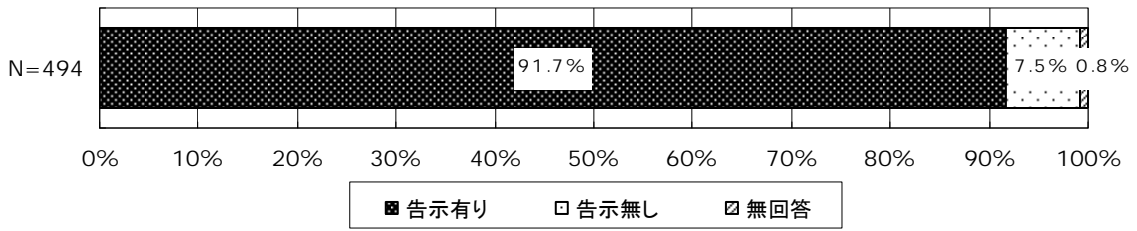
図表 4-5 1施設当たり病床数

	病床数	割合
一般病床	373.1床	93.4%
療養病床	6.8床	1.7%
精神病床	14.8床	3.7%
結核病床	3.4床	0.9%
感染症病床	1.1床	0.3%
合計	399.3床	100.0%

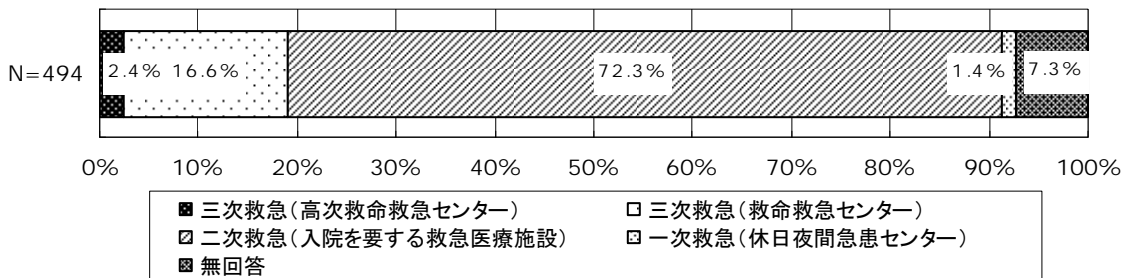
※有効回答 485 施設での集計

② 救急医療体制

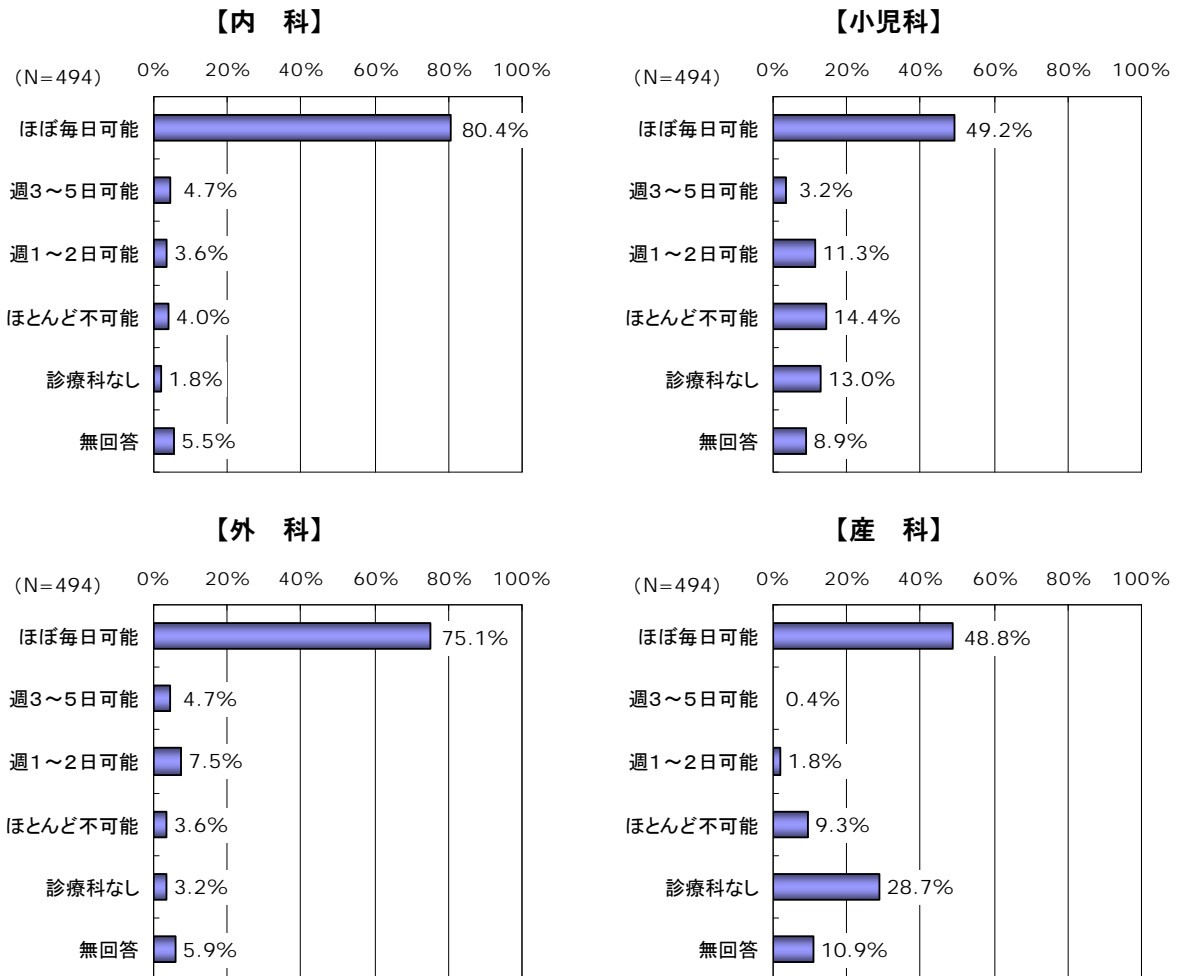
図表 4-6 救急告示の有無



図表 4-7 救急医療体制



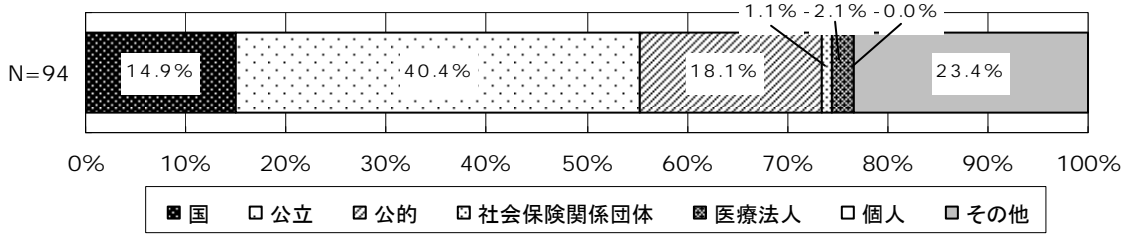
図表 4-8 夜間(深夜含む)の救急対応の可否



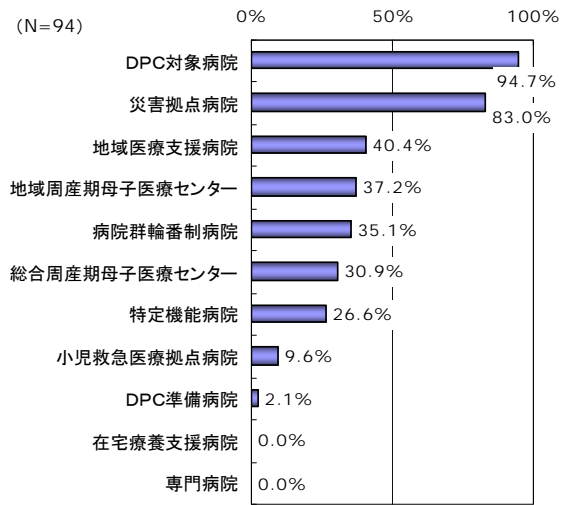
③ 救急医療体制別にみた回答病院の概況

《三次救急医療機関》

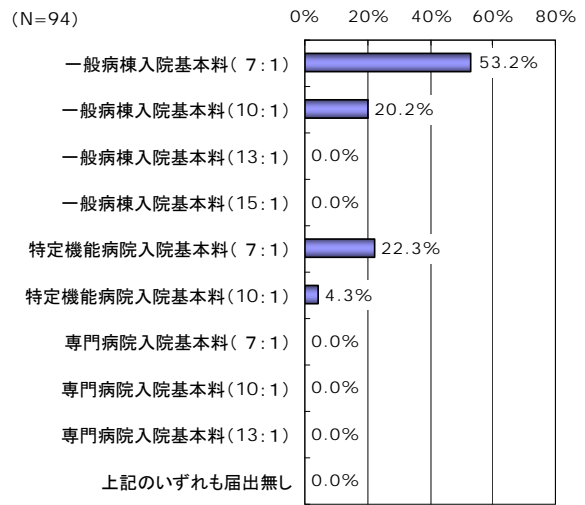
図表 4-9 設置主体



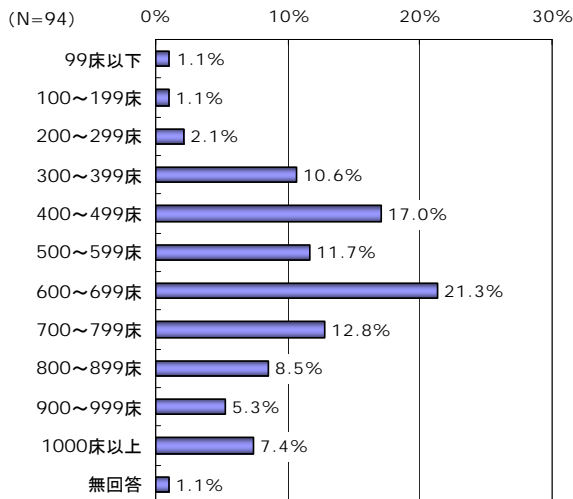
図表 4-10 承認等の状況 [複数回答]



図表 4-11 一般病棟の入院基本料



図表 4-12 病床規模



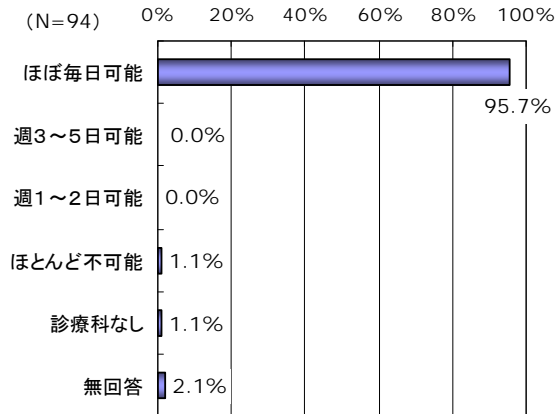
図表 4-13 1施設当たり病床数

	病床数	割合
一般病床	587.0床	93.5%
療養病床	1.5床	0.2%
精神病床	31.8床	5.1%
結核病床	4.7床	0.7%
感染症病床	2.6床	0.4%
合計	627.5床	100.0%

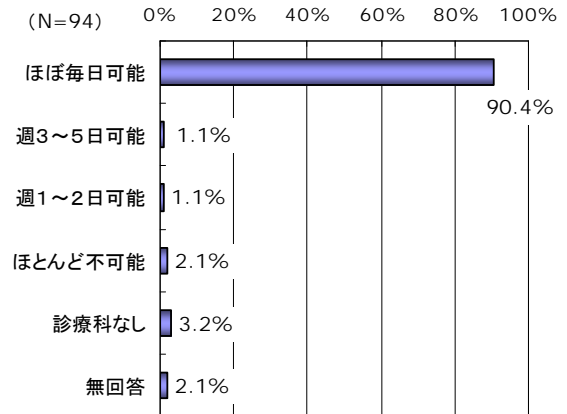
※有効回答 93 施設での集計

図表 4-14 夜間（深夜含む）の救急対応の可否

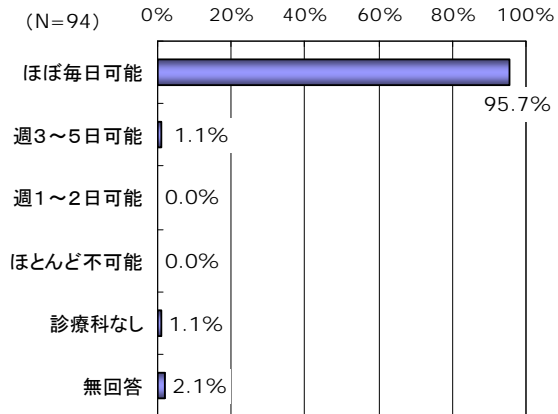
【内科】



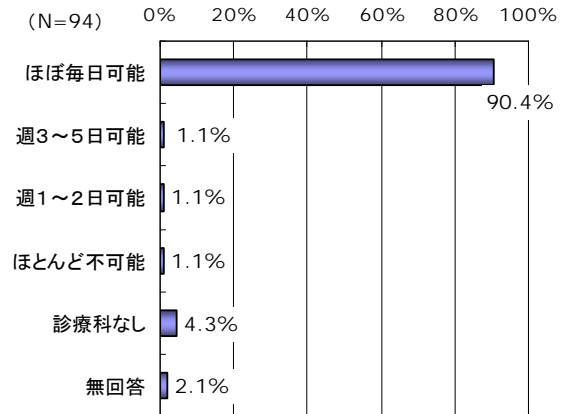
【小児科】



【外科】

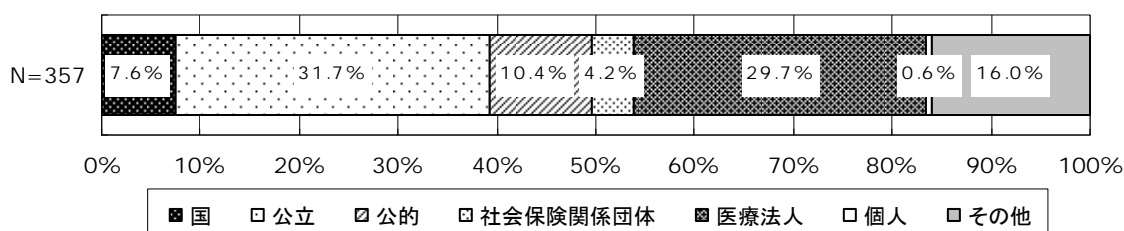


【産科】

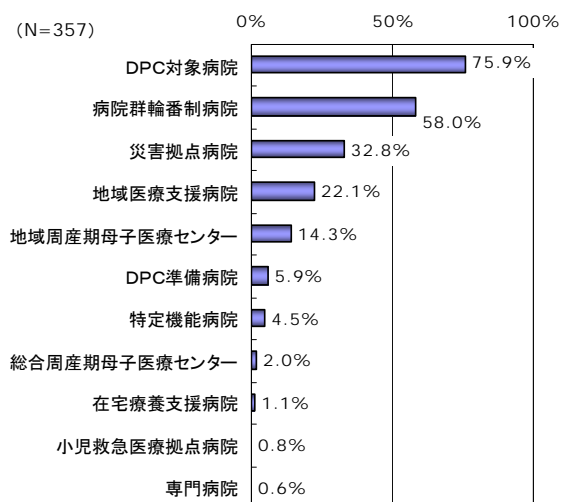


《二次救急医療機関》

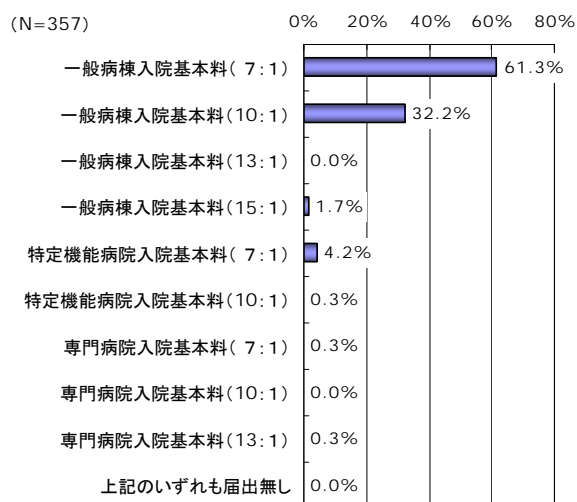
図表 4-15 設置主体



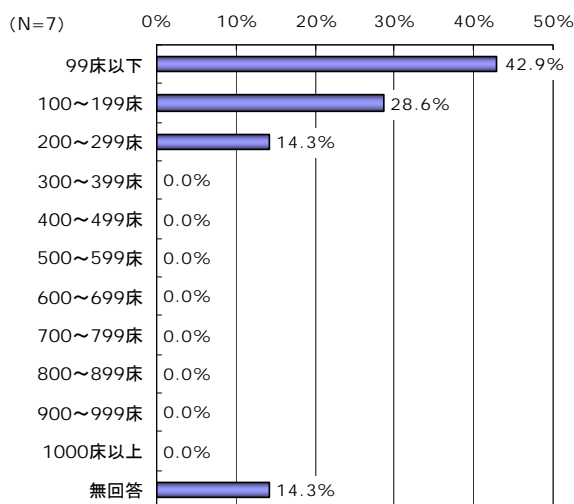
図表 4-16 承認等の状況 [複数回答]



図表 4-17 一般病棟の入院基本料



図表 4-18 病床規模



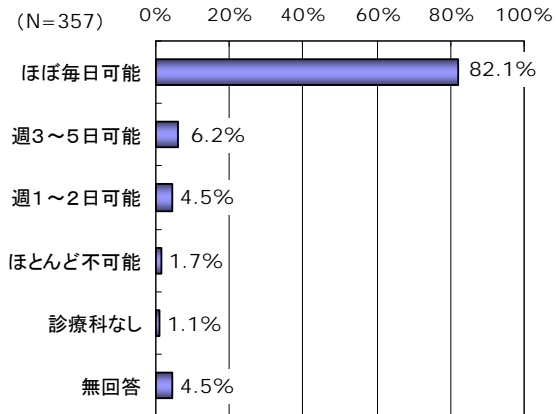
図表 4-19 1施設当たり病床数

	病床数	割合
一般病床	337.3床	93.9%
療養病床	7.9床	2.2%
精神病床	10.2床	2.8%
結核病床	2.8床	0.8%
感染症病床	0.9床	0.2%
合計	359.0床	100.0%

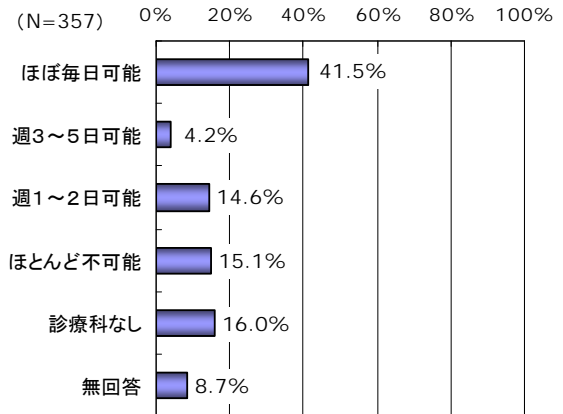
※有効回答 349 施設での集計

図表 4-20 夜間（深夜含む）の救急対応の可否

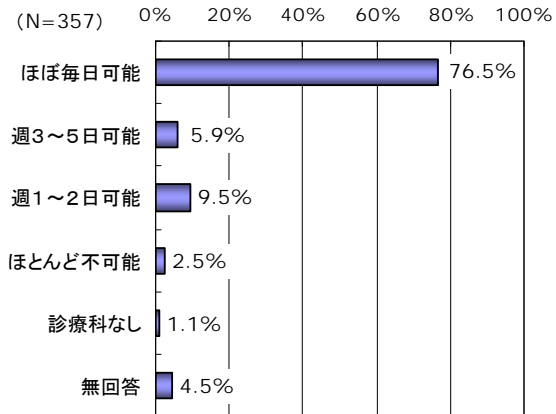
【内科】



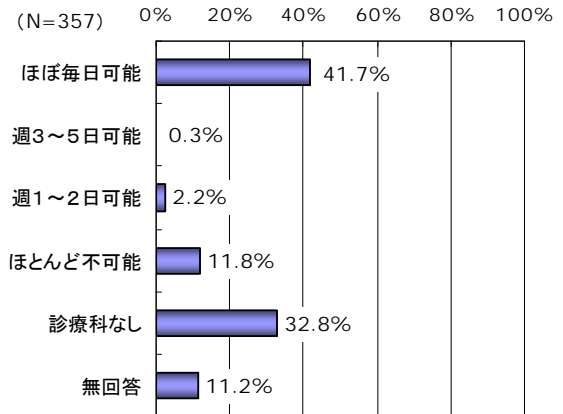
【小児科】



【外科】

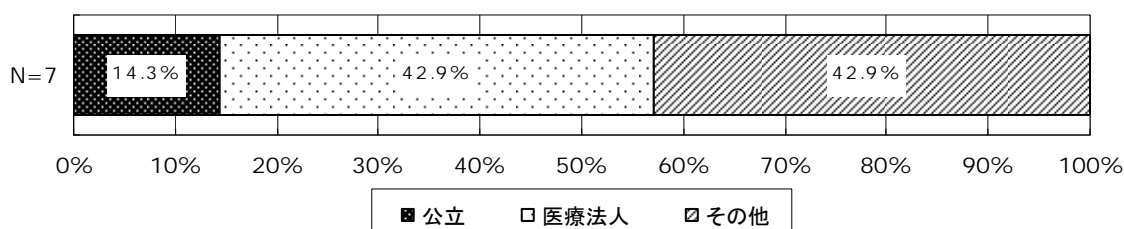


【産科】

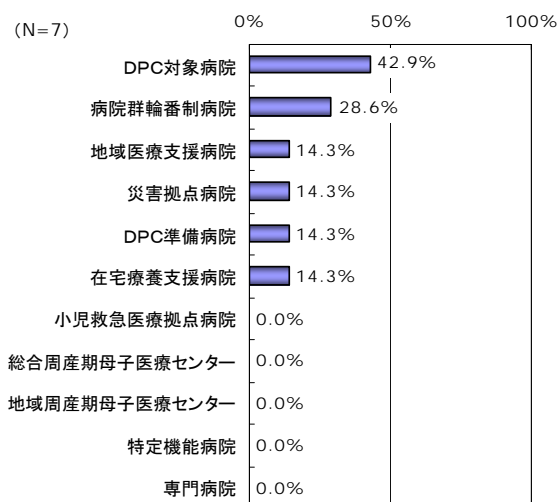


《一次救急医療機関》

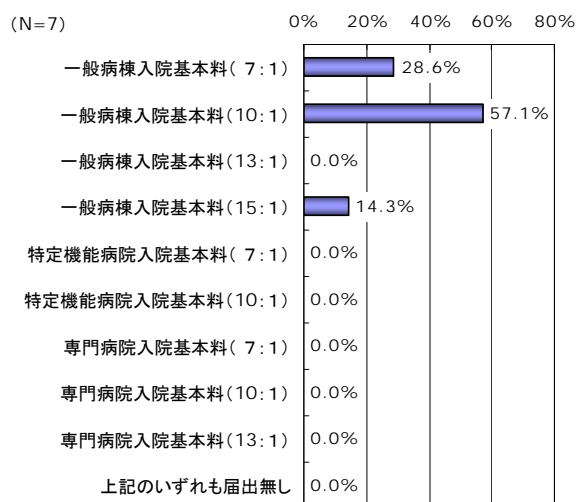
図表 4-21 設置主体



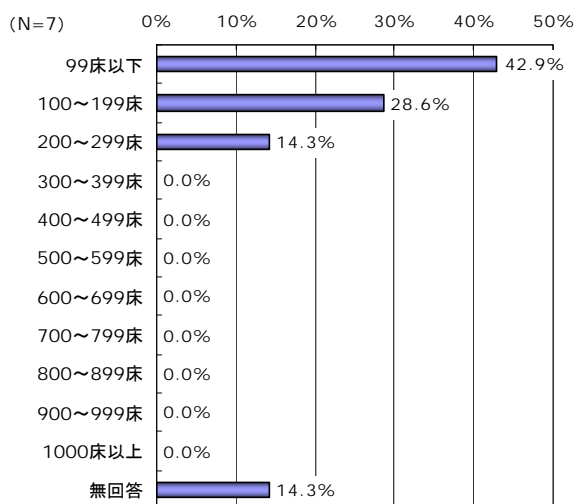
図表 4-22 承認等の状況 [複数回答]



図表 4-23 一般病棟の入院基本料



図表 4-24 病床規模



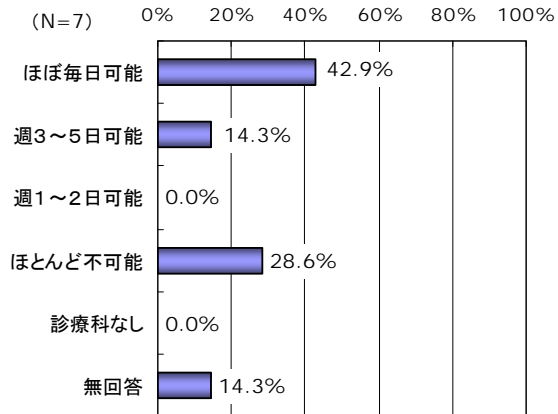
図表 4-25 1施設当たり病床数

	病床数	割合
一般病床	111.7床	82.9%
療養病床	23.0床	17.1%
精神病床	0.0床	0.0%
結核病床	0.0床	0.0%
感染症病床	0.0床	0.0%
合計	134.7床	100.0%

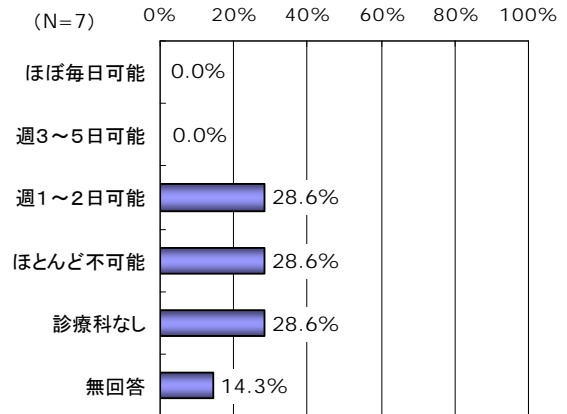
※有効回答 6 施設での集計

図表 4-26 夜間（深夜含む）の救急対応の可否

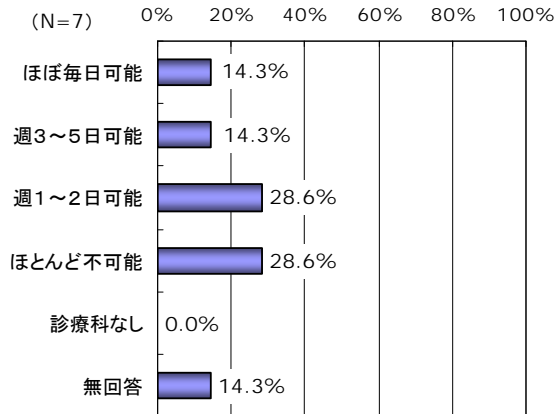
【内科】



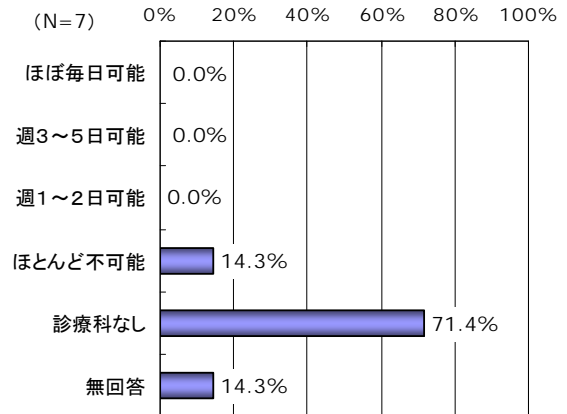
【小児科】



【外科】



【産科】



(2) 救急医療の実施状況

① 救急医療に関連する特定入院基本料別にみた病床利用率、平均在院日数等の変化

図表 4-27 許可病床数、病床利用率、平均在院日数の変化

	施設数	平成 21 年 10 月			平成 22 年 10 月		
		許可病床数	病床利用率	平均在院日数	許可病床数	病床利用率	平均在院日数
救命救急入院料	62 件	29.0 床	72.5%	6.8 日	28.8 床	73.5%	6.7 日
特定集中治療室管理料	190 件	9.7 床	74.9%	11.2 日	9.8 床	76.8%	11.4 日
ハイケアユニット入院医療管理料	23 件	10.9 床	82.8%	12.6 日	10.7 床	84.1%	11.9 日
新生児特定集中治療室管理料	54 件	7.1 床	88.4%	27.3 日	7.6 床	84.6%	25.8 日
母体・胎児集中治療室管理料	21 件	8.5 床	79.6%	16.6 日	8.5 床	80.3%	14.2 日
新生児集中治療室管理料	14 件	18.6 床	86.7%	37.3 日	18.3 床	87.7%	37.2 日
新生児治療回復室入院医療管理料	13 件	13.7 床	77.2%	26.8 日	15.8 床	70.0%	26.1 日

※各特定入院料ごとに、平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしている施設のうち、有効回答のあった施設について集計

※平成 21 年 10 月の平日は 21 日間、平成 22 年 10 月の平日は 20 日間である。

② 施設基準の届出状況、算定件数の変化

■ 初診料、再診料・外来診療料の乳幼児加算

図表 4-28 救急医療体制別にみた乳幼児加算の 1 施設当たり算定件数・割合

【初診料の乳幼児加算】

		平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
		算定件数	割合	算定件数	割合
全体	初診料	2,102.3 件	100.0%	1,827.6 件	100.0%
	乳幼児加算	162.7 件	7.7%	148.9 件	8.1%
三次	初診料	2,997.7 件	100.0%	2,603.1 件	100.0%
	乳幼児加算	262.4 件	8.8%	232.0 件	8.9%
二次	初診料	1,863.0 件	100.0%	1,623.1 件	100.0%
	乳幼児加算	135.0 件	7.2%	126.3 件	7.8%
一次	初診料	1,284.6 件	100.0%	997.6 件	100.0%
	乳幼児加算	115.3 件	9.0%	92.0 件	9.2%

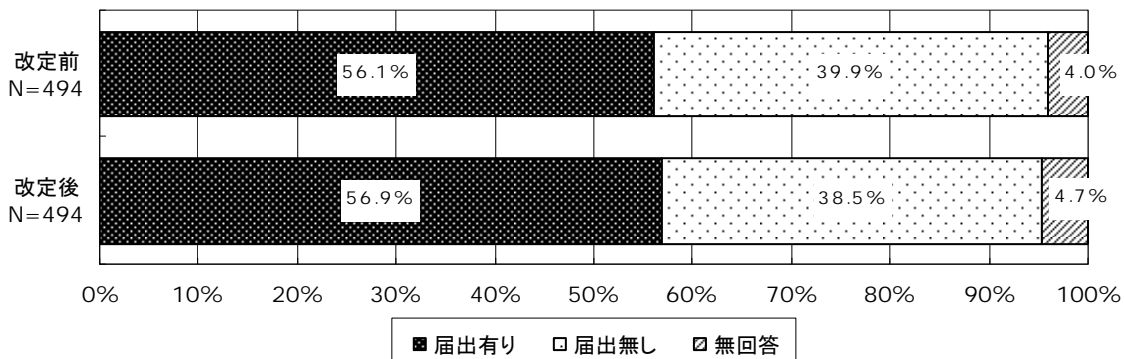
【再診料・外来診療料の乳幼児加算】

		平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
		算定件数	割合	算定件数	割合
全体	再診料・外来診療料	14,267.0 件	100.0%	14,042.6 件	100.0%
	乳幼児加算	479.3 件	3.4%	481.9 件	3.4%
三次	再診料・外来診療料	23,134.6 件	100.0%	22,966.5 件	100.0%
	乳幼児加算	851.4 件	3.7%	829.4 件	3.6%
二次	再診料・外来診療料	11,865.8 件	100.0%	11,628.8 件	100.0%
	乳幼児加算	378.5 件	3.2%	388.0 件	3.3%
一次	再診料・外来診療料	7,518.4 件	100.0%	7,129.6 件	100.0%
	乳幼児加算	18.4 件	2.6%	204.4 件	2.9%

※いずれも有効回答 405 施設（三次救急 89 施設、二次救急 309 施設、一次救急 7 施設）での集計

■ 妊産婦緊急搬送入院加算

図表 4-29 妊産婦緊急搬送入院加算
【届出の有無】



- ・ 改定前の届出施設のうち、改定後に届出をしていない施設 5 施設（全体の 1.0%）
- ・ 改定後の届出施設のうち、改定前に届出をしていない施設 8 施設（全体の 1.6%）

【救急医療体制別にみた 1 施設当たり算定件数】

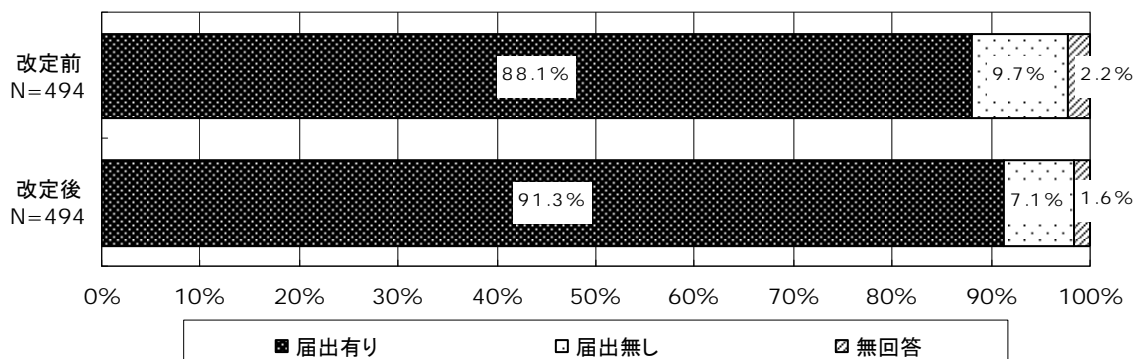
	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	2.8 件	3.0 件
三次救急医療機関	4.3 件	4.9 件
二次救急医療機関	2.1 件	2.2 件
一次救急医療機関	0.0 件	0.0 件

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 252 施設（三次救急 84 施設、二次救急 167 施設、一次救急 1 施設）での集計

■ 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算

図表 4-30 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算

【届出の有無】



- ・ 改定前の届出施設のうち、改定後に届出をしていない施設 3 施設 (全体の 0.6%)
- ・ 改定後の届出施設のうち、改定前に届出をしていない施設 16 施設 (全体の 3.2%)

【救急医療体制別にみた 1 施設当たり算定件数】

－救急医療管理加算－

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	746.6 件	819.8 件
三次救急	1,008.2 件	1,061.1 件
二次救急	682.2 件	762.8 件
一次救急	221.5 件	150.8 件

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 412 施設 (三次救急 87 施設、二次救急 321 施設、一次救急 4 施設) での集計

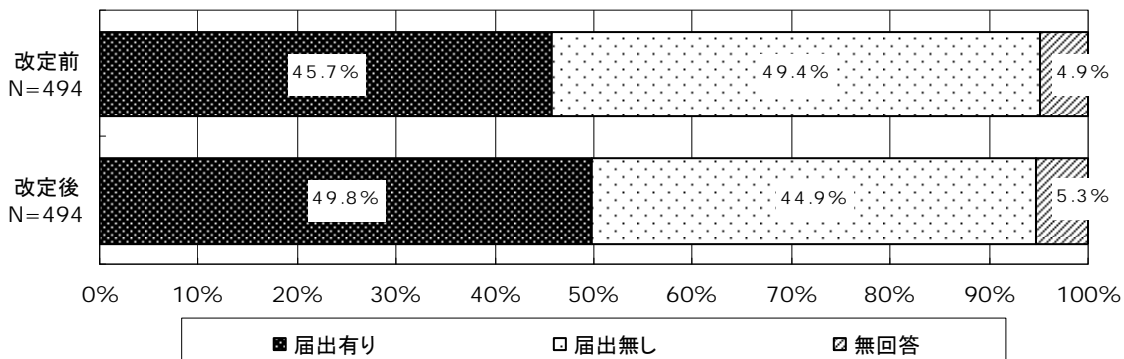
－乳幼児救急医療管理加算－

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	20.8 件	19.3 件
三次救急	28.5 件	19.6 件
二次救急	19.0 件	19.4 件
一次救急	0.3 件	0.0 件

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 412 施設 (三次救急 87 施設、二次救急 321 施設、一次救急 4 施設) での集計

■ ハイリスク分娩管理加算

図表 4-31 ハイリスク分娩管理加算
【届出の有無】



- ・ 改定前の届出施設のうち、改定後に届出をしていない施設 5 施設 (全体の 1.0%)
- ・ 改定後の届出施設のうち、改定前に届出をしていない施設 26 施設 (全体の 5.3%)

【救急医療体制別にみた 1 施設当たり算定件数】

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	21.9 件	34.3 件
三次救急医療機関	30.2 件	46.3 件
二次救急医療機関	17.1 件	27.6 件
一次救急医療機関	2.0 件	0.0 件

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 204 施設 (三次救急 75 施設、二次救急 128 施設、一次救急 1 施設) での集計

■ 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算

図表 4-32 救急医療体制別にみた超重症児（者）入院診療加算等の1施設当たり算定件数・割合

【超重症児（者）入院診療加算】

		平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	超重症児（者）入院診療加算	47.7 件	62.8 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.6 件
三次	超重症児（者）入院診療加算	60.0 件	83.3 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.9 件
二次	超重症児（者）入院診療加算	44.1 件	56.5 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.5 件
一次	超重症児（者）入院診療加算	15.5 件	25.8 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.0 件

※有効回答 293 施設（三次救急 76 施設、二次救急 211 施設、一次救急 6 施設）での集計

・改定前の算定施設 102 施設 ⇒ 改定後の算定施設 135 施設

【準超重症児（者）入院診療加算】

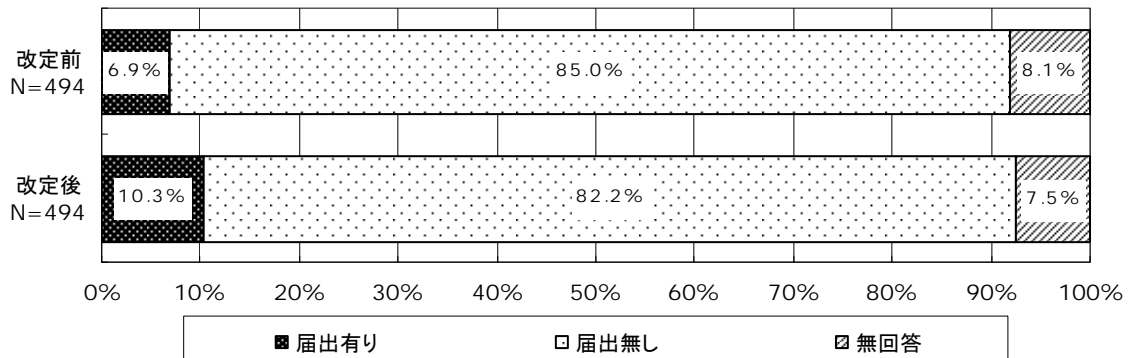
		平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	超重症児（者）入院診療加算	52.0 件	72.9 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.9 件
三次	超重症児（者）入院診療加算	40.9 件	54.7 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.7 件
二次	超重症児（者）入院診療加算	56.2 件	80.5 件
	在宅重症児（者）受入加算		1.0 件
一次	超重症児（者）入院診療加算	45.7 件	32.3 件
	在宅重症児（者）受入加算		0.0 件

※有効回答 293 施設（三次救急 76 施設、二次救急 211 施設、一次救急 6 施設）での集計

・改定前の算定施設 84 施設 ⇒ 改定後の算定施設 127 施設

■ 新生児入院医療管理加算・新生児治療回復室入院医療管理料

図表 4-33 新生児入院医療管理加算・新生児治療回復室入院医療管理料
【届出の有無】



※改定前は新生児入院医療管理加算の施設基準の届出の有無、改定後は新生児治療回復室入院医療管理料の届出の有無である。

- ・改定前の届出施設のうち、改定後に届出をしていない施設 13 施設（全体の 2.6%）
- ・改定後の届出施設のうち、改定前に届出をしていない施設 26 施設（全体の 5.3%）

【救急医療体制別にみた 1 施設当たり算定件数】

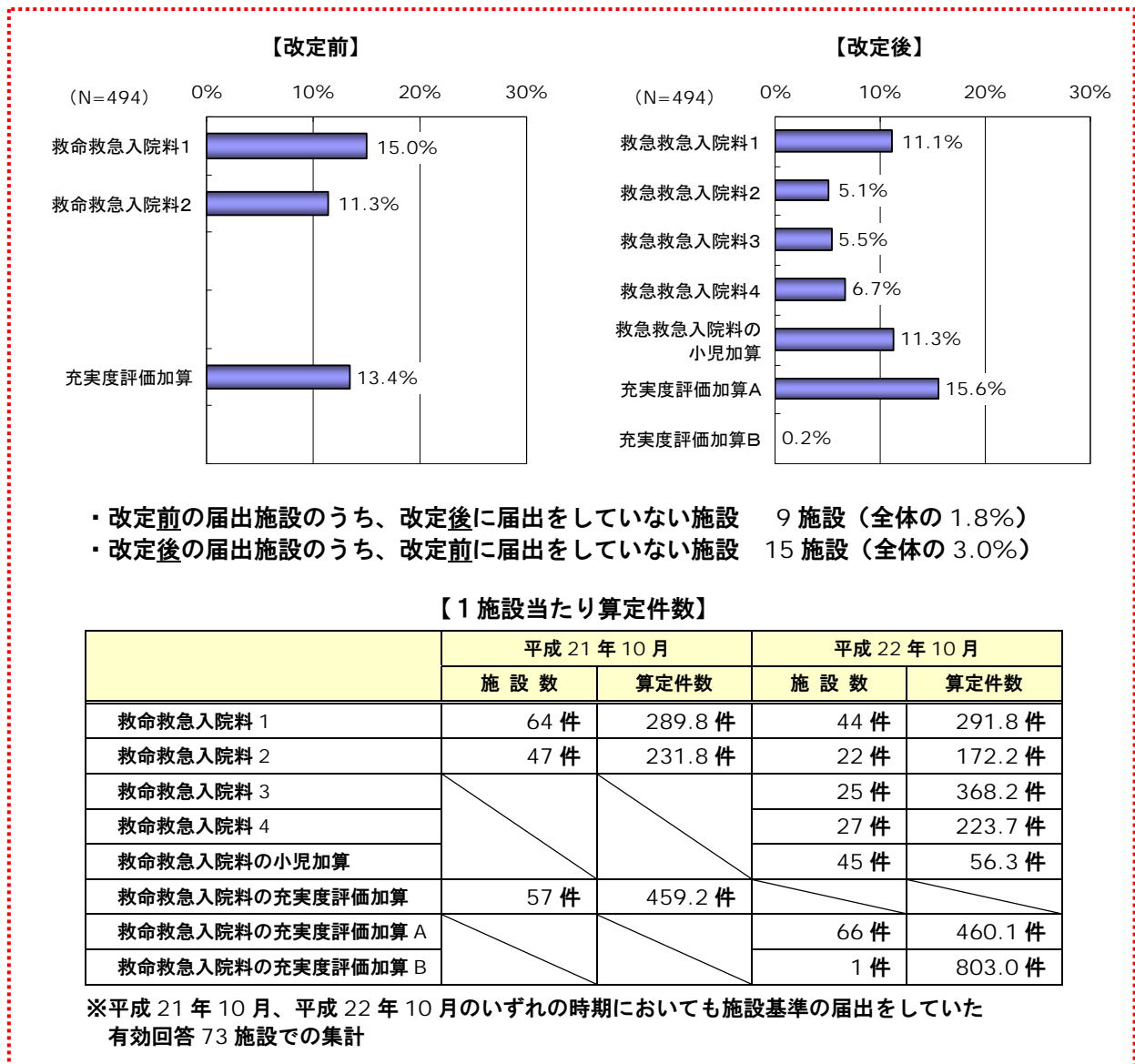
	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
全体	171.3 件	241.0 件
三次救急医療機関	151.7 件	233.8 件
二次救急医療機関	210.7 件	255.3 件
一次救急医療機関	—	—

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 18 施設（三次救急 12 施設、二次救急 6 施設、一次救急 0 施設）での集計

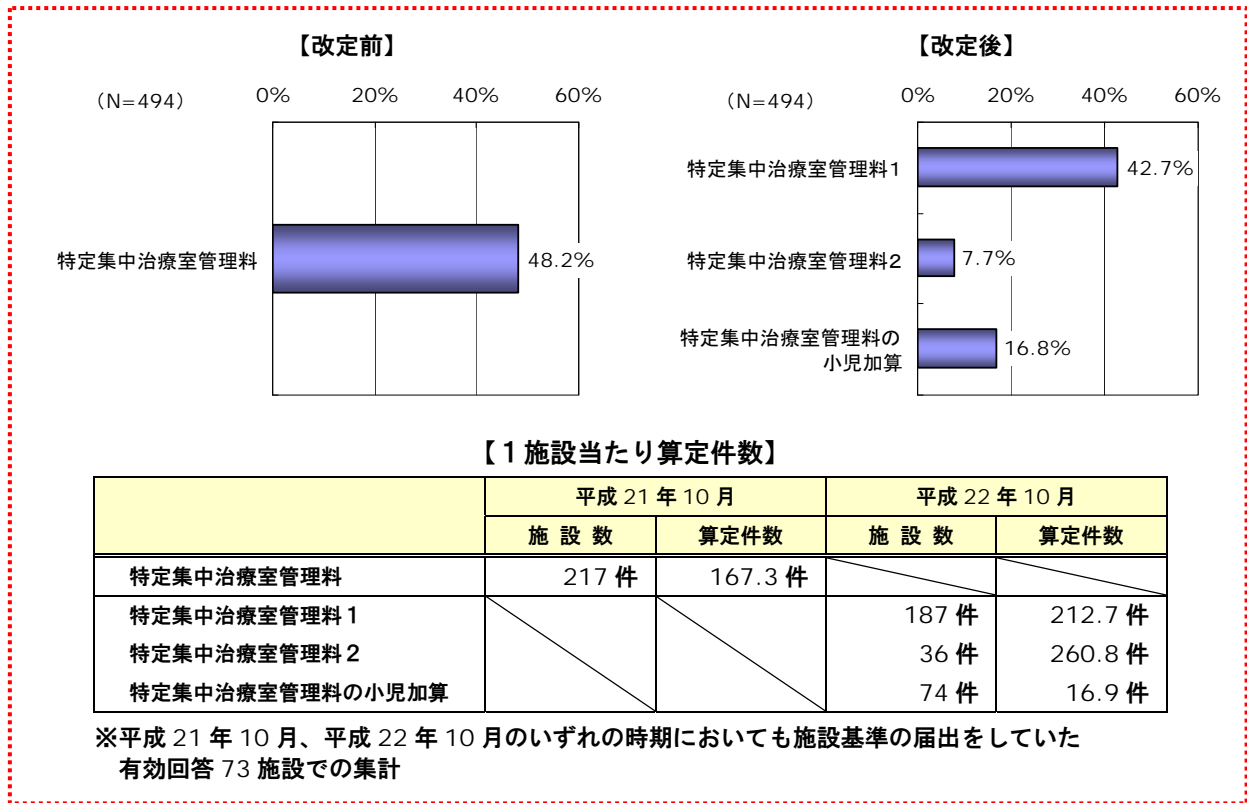
※平成 21 年 10 月は新生児入院医療管理加算の施設基準の算定件数、平成 22 年 10 月は新生児治療回復室入院医療管理料の算定件数である。

■ 救命救急入院料・特定集中治療室管理料・広範囲熱傷特定集中治療室管理料

図表 4-34 救命救急入院料の届出状況

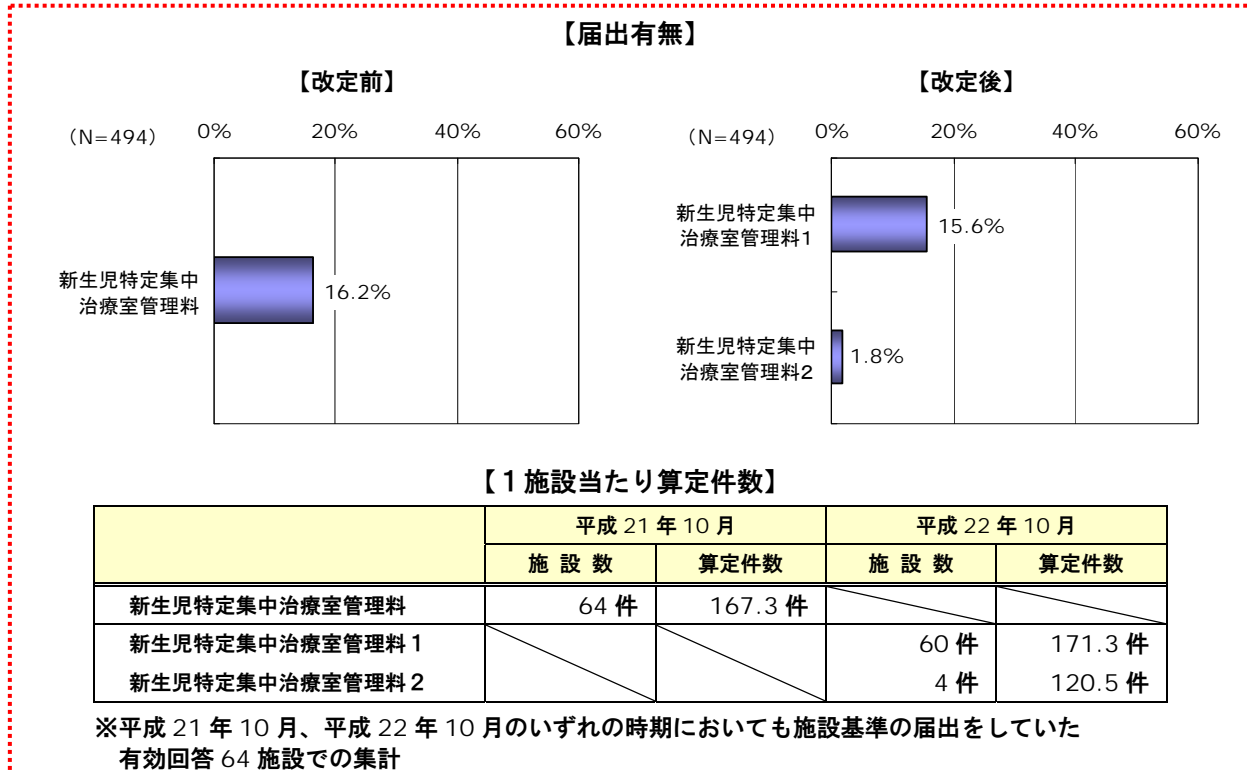


図表 4-35 特定集中治療室管理料の届出状況



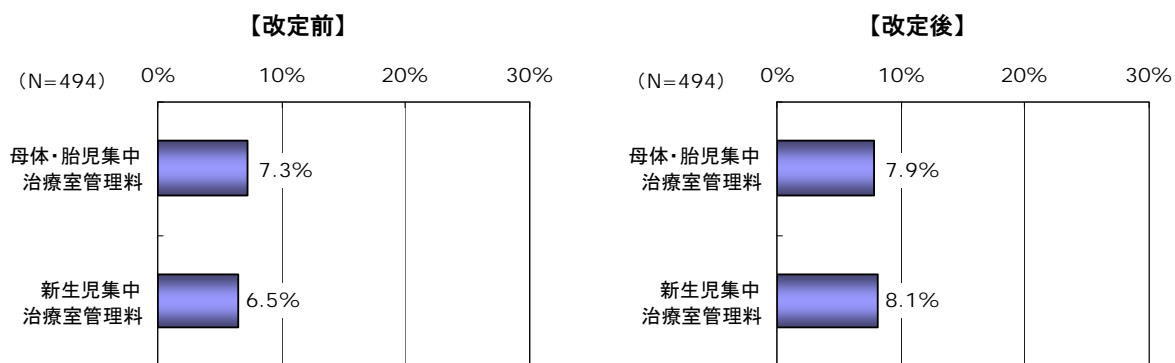
■ 新生児特定集中治療室管理料・総合周産期特定集中治療室管理料

図表 4-36 新生児特定集中治療室管理料



図表 4-37 総合周産期特定集中治療室管理料

【届出有無】



【1施設当たり算定件数】

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
母体・胎児集中治療室管理料	120.5 件	147.3 件

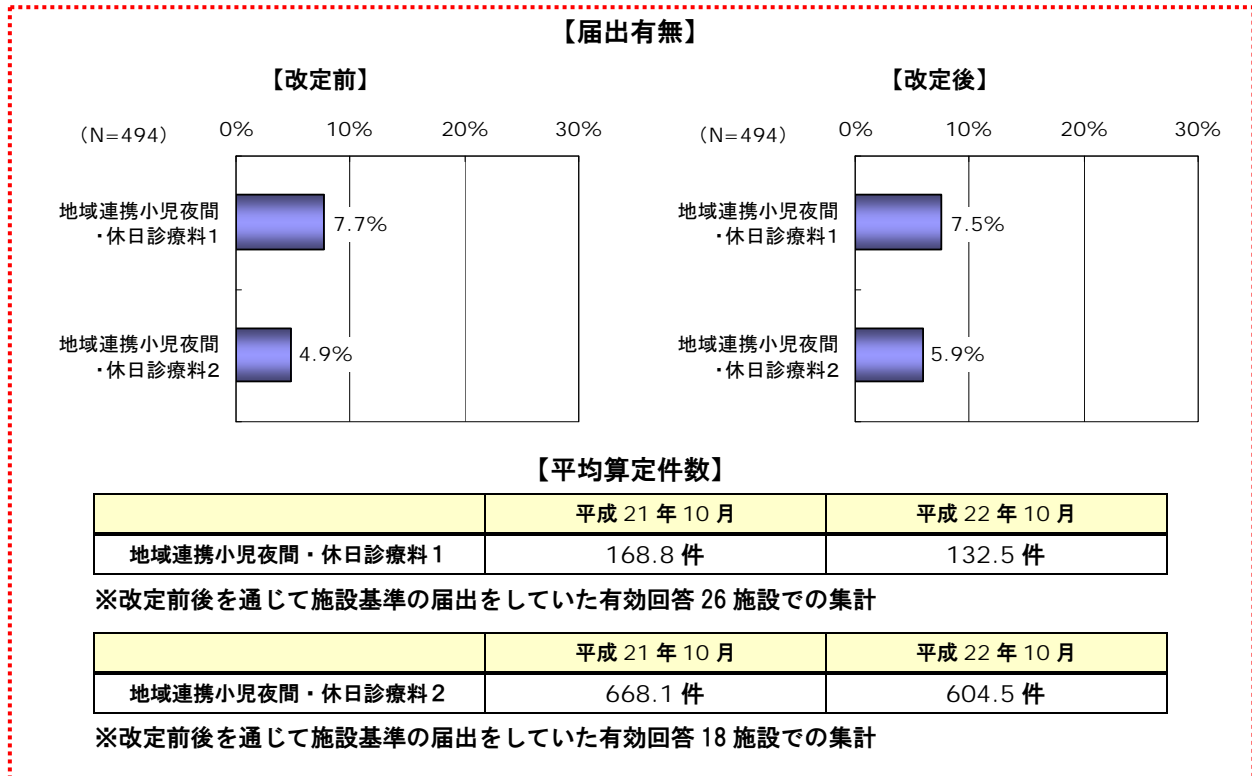
※改定前後を通じて施設基準の届出をしていた有効回答 25 施設での集計

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
新生児集中治療室管理料	329.6 件	301.0 件

※平成 21 年 10 月、平成 22 年 10 月のいずれの時期においても施設基準の届出をしていた有効回答 21 施設での集計

■ 地域連携小児夜間・休日診療料

図表 4-38 地域連携小児夜間・休日診療料



■ 救急搬送診療料

図表 4-39 救急搬送診療料の平均算定件数の変化

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
救急搬送診療料	2.3 件	2.3 件
新生児加算	0.3 件	0.3 件
乳幼児加算	0.3 件	0.1 件

※有効回答 310 施設での集計

③ 救急医療に従事する医師数・看護職員数の変化

図表 4-40 平成 22 年 6 月の施設基準の届出別にみた救急医療に従事する 1 施設当たり医師数

【救命救急センター外来】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
救命救急入院料 1	45 件	3.1 人	29.4 人	3.4 人	31.1 人
救命救急入院料 2	22 件	4.0 人	33.4 人	4.2 人	35.8 人
救命救急入院料 3	23 件	3.6 人	10.5 人	3.7 人	11.8 人
救命救急入院料 4	25 件	4.1 人	26.7 人	4.5 人	31.2 人
充実度評価加算 A	67 件	2.9 人	28.1 人	3.1 人	31.1 人
充実度評価加算 B	0 件	—	—	—	—
充実度評価加算無し	4 件	4.8 人	19.5 人	5.0 人	20.3 人

【救命救急センター入院】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
救命救急入院料 1	40 件	2.9 人	26.6 人	3.1 人	28.0 人
救命救急入院料 2	22 件	2.5 人	25.0 人	2.5 人	25.7 人
救命救急入院料 3	24 件	2.8 人	17.3 人	2.8 人	18.9 人
救命救急入院料 4	24 件	4.2 人	23.5 人	4.6 人	25.1 人
充実度評価加算 A	63 件	2.6 人	24.2 人	2.7 人	25.7 人
充実度評価加算 B	0 件	—	—	—	—
充実度評価加算無し	3 件	8.0 人	6.7 人	8.3 人	7.0 人

【特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
特定集中治療室管理料 1	179 件	2.6 人	9.7 人	2.6 人	10.4 人
特定集中治療室管理料 2	30 件	7.9 人	16.3 人	7.8 人	20.0 人

【ハイケアユニット】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
ハイケアユニット入院医療管理料	25 件	1.4 人	14.6 人	1.6 人	15.7 人

【新生児特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
新生児特定集中治療室管理料 1	66 件	2.0 人	6.0 人	2.1 人	6.2 人
新生児特定集中治療室管理料 2	7 件	0.6	7.0	0.1	8.0

【総合周産期特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
母体・胎児集中治療室管理料	30 件	3.5 人	9.2 人	3.4 人	8.4 人
新生児集中治療室管理料	29 件	3.1 人	8.9 人	3.4 人	8.2 人

【新生児治療回復室入院医療管理料】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
新生児治療回復室入院医療管理料	22 件	1.9 人	7.5 人	2.0 人	9.6 人

図表 4-41 平成 22 年 6 月の施設基準の届出別にみた救急医療に従事する 1 施設当たり看護師数

【救命救急センター外来】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
救命救急入院料 1	43 件	10.9 人	11.2 人	11.3 人	11.5 人
救命救急入院料 2	19 件	8.0 人	21.1 人	8.6 人	21.6 人
救命救急入院料 3	21 件	7.9 人	9.0 人	8.2 人	9.1 人
救命救急入院料 4	24 件	13.3 人	6.2 人	13.6 人	6.5 人
充実度評価加算 A	64 件	10.4 人	11.7 人	10.6 人	12.0 人
充実度評価加算 B	0 件	—	—	—	—
充実度評価加算無し	3 件	10.0 人	12.9 人	10.7 人	13.7 人

【救命救急センター入院】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
救命救急入院料 1	39 件	33.2 人	11.7 人	34.8 人	12.3 人
救命救急入院料 2	18 件	28.1 人	18.6 人	28.3 人	18.7 人
救命救急入院料 3	20 件	33.3 人	9.9 人	33.5 人	10.1 人
救命救急入院料 4	21 件	41.5 人	4.0 人	42.2 人	4.1 人
充実度評価加算 A	58 件	33.5 人	12.1 人	34.7 人	12.6 人
充実度評価加算 B	0 件	—	—	—	—
充実度評価加算無し	3 件	36.0 人	6.3 人	37.0 人	6.3 人

【特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
		専 従	専 任	専 従	専 任
特定集中治療室管理料 1	189 件	24.2 人	2.8 人	24.9 人	2.8 人
特定集中治療室管理料 2	34 件	34.3 人	4.3 人	35.7 人	4.8 人

【ハイケアユニット】

	施設数	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
		専 従	専 任	専 従	専 任
ハイケアユニット入院医療管理料	27 件	17.5 人	3.5 人	18.0 人	3.7 人

【新生児特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
		専 従	専 任	専 従	専 任
新生児特定集中治療室管理料 1	59 件	16.9 人	1.1 人	16.8 人	1.1 人
新生児特定集中治療室管理料 2	4 件	15.5 人	0.8 人	15.5 人	0.8 人

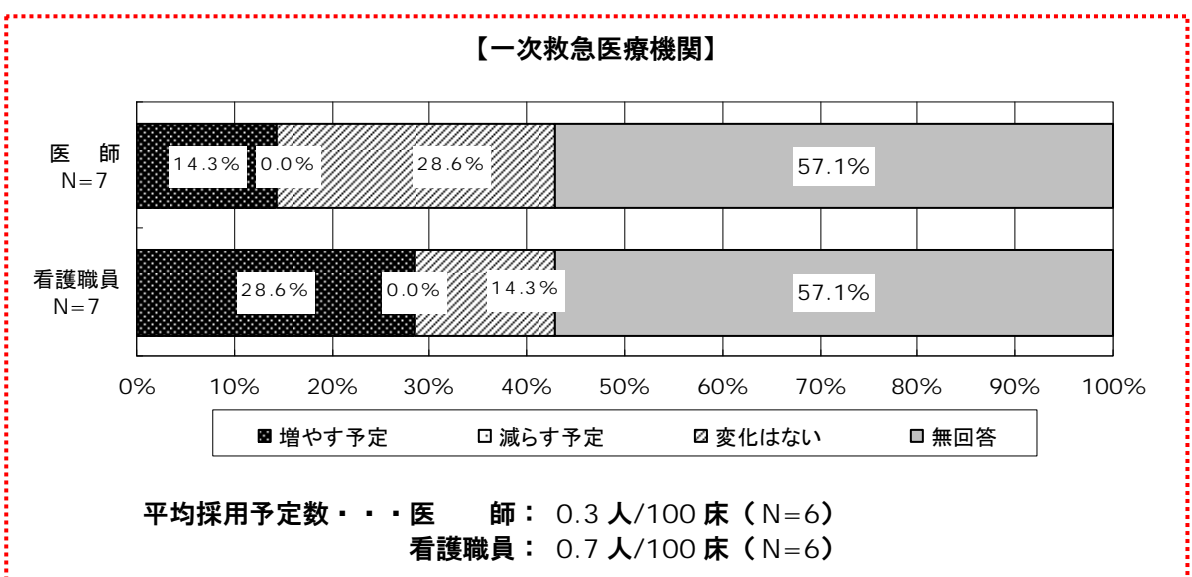
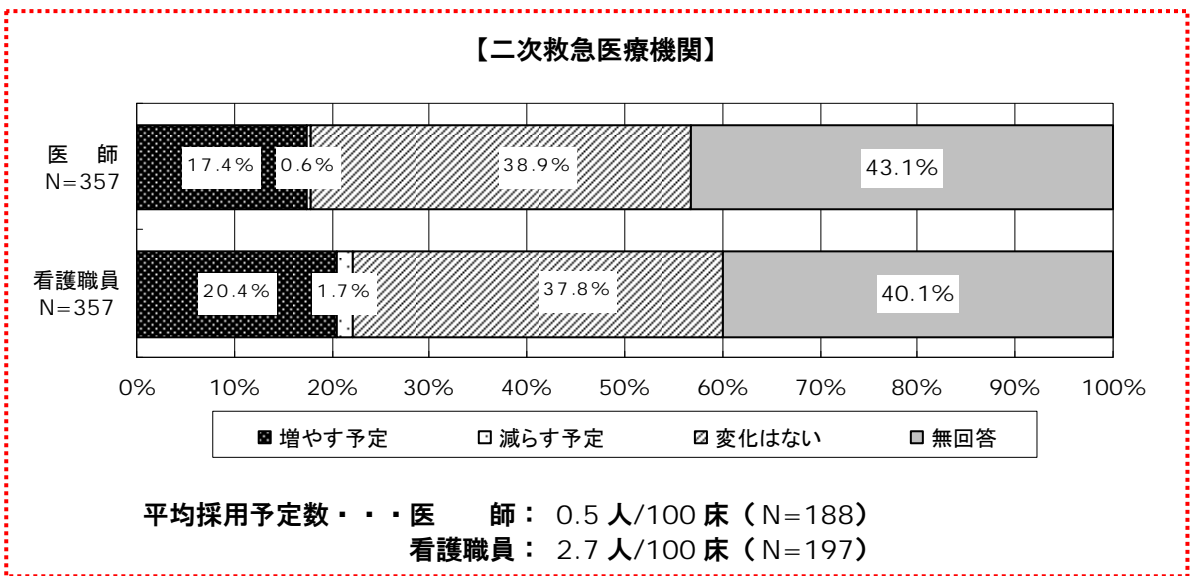
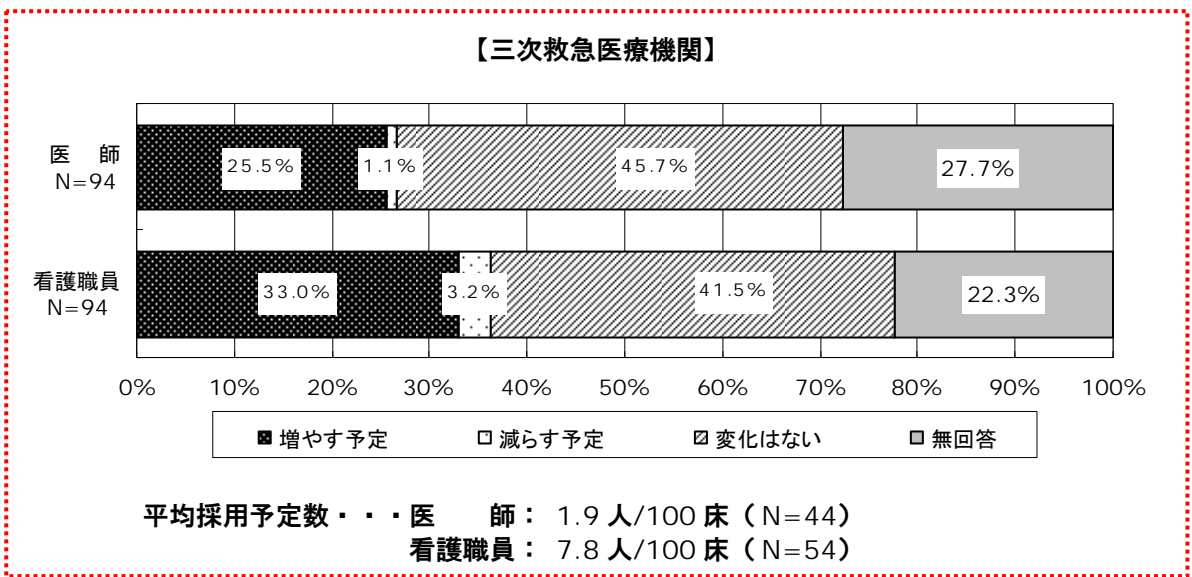
【総合周産期特定集中治療室】

	施設数	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
		専 従	専 任	専 従	専 任
母体・胎児集中治療室管理料	25 件	19.2 人	4.0 人	19.5 人	3.0 人
新生児集中治療室管理料	24 件	19.9 人	3.8 人	20.2 人	2.7 人

【新生児治療回復室入院医療管理料】

	施設数	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
		専 従	専 任	専 従	専 任
新生児治療回復室入院医療管理料	23 件	12.1 人	6.1 人	13.1 人	6.7 人

図表 4-42 救急医療に従事する医師・看護職員の平成 23 年度の採用予定・採用予定数



④ 救急医療に従事する医師数・看護職員数（平日・土曜日・日曜日）

図表 4-43 医師の平日・土曜日・日曜日の従事状況

【救命救急室】

－救命救急入院料 1－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	48 件	5.0 人	5.0 人	5.2 人	4.9 人	5.3 人	5.1 人
土 曜 日		4.9 人	4.7 人	4.7 人	4.1 人	4.1 人	3.9 人
日 曜 日		4.7 人	4.5 人	4.4 人	4.1 人	4.0 人	3.8 人
平 日	48 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		98.3%	93.4%	91.5%	85.4%	78.6%	75.2%
日 曜 日		93.4%	90.0%	84.7%	83.7%	76.2%	74.4%

－救命救急入院料 2－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	22 件	4.1 人	4.4 人	4.9 人	4.4 人	4.8 人	4.9 人
土 曜 日		4.4 人	4.2 人	4.5 人	3.9 人	3.7 人	3.5 人
日 曜 日		4.0 人	4.0 人	3.9 人	3.6 人	3.9 人	3.8 人
平 日	22 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		106.7%	95.9%	92.6%	88.5%	76.4%	70.4%
日 曜 日		97.8%	91.8%	78.7%	83.3%	80.2%	76.9%

－救命救急入院料 3－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	23 件	6.3 人	6.0 人	6.0 人	5.7 人	5.8 人	4.5 人
土 曜 日		4.6 人	4.3 人	3.9 人	3.9 人	4.3 人	3.7 人
日 曜 日		4.0 人	3.9 人	3.8 人	3.5 人	4.2 人	3.7 人
平 日	23 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		71.9%	72.5%	65.0%	68.5%	73.7%	80.8%
日 曜 日		63.0%	64.5%	63.5%	62.3%	72.2%	81.7%

－救命救急入院料 4－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	30 件	7.4 人	6.8 人	6.8 人	6.5 人	6.5 人	5.4 人
土 曜 日		5.8 人	5.4 人	5.0 人	4.8 人	5.3 人	4.3 人
日 曜 日		5.1 人	4.8 人	4.6 人	4.2 人	4.7 人	4.1 人
平 日	30 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		78.8%	80.3%	73.9%	74.7%	81.0%	79.5%
日 曜 日		68.9%	70.4%	67.5%	64.4%	72.3%	75.8%

【特定集中治療室】

－特定集中治療室管理料1－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	182 件	3.5 人	3.0 人	2.7 人	2.9 人	2.8 人	2.1 人
土 曜 日		2.5 人	2.3 人	2.0 人	1.8 人	1.8 人	1.5 人
日 曜 日		2.0 人	2.1 人	1.9 人	1.7 人	1.7 人	1.4 人
平 日	182 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		71.9%	79.1%	74.5%	62.9%	63.9%	72.8%
日 曜 日		58.5%	69.6%	68.1%	58.7%	59.9%	66.5%

－特定集中治療室管理料2－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	29 件	4.1 人	3.7 人	3.7 人	3.6 人	3.4 人	2.3 人
土 曜 日		3.2 人	3.3 人	2.9 人	2.5 人	2.3 人	2.2 人
日 曜 日		2.7 人	2.8 人	2.4 人	2.1 人	2.1 人	2.0 人
平 日	29 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		77.5%	91.5%	79.4%	70.2%	66.7%	92.6%
日 曜 日		65.0%	76.4%	64.5%	58.7%	61.6%	85.3%

【ハイケアユニット】

－ハイケアユニット入院医療管理料－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	58 件	2.5 人	2.2 人	2.1 人	2.2 人	2.3 人	1.5 人
土 曜 日		2.2 人	2.0 人	1.8 人	1.7 人	1.7 人	1.1 人
日 曜 日		1.9 人	1.7 人	1.6 人	1.6 人	1.8 人	1.0 人
平 日	58 件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		86.2%	90.6%	87.7%	78.7%	76.5%	73.6%
日 曜 日		75.9%	78.1%	77.0%	73.2%	77.3%	66.7%

【新生児特定集中治療室】

－新生児特定集中治療室管理料1－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	60件	3.5人	3.5人	3.3人	3.1人	3.0人	1.7人
土 曜 日		1.7人	1.6人	1.5人	1.2人	1.3人	1.1人
日 曜 日		1.4人	1.4人	1.3人	1.1人	1.1人	1.1人
平 日	60件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		46.9%	46.2%	44.5%	39.6%	42.9%	67.3%
日 曜 日		40.3%	39.9%	39.0%	36.4%	37.4%	67.3%

－新生児特定集中治療室管理料2－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	4件	2.3人	2.0人	1.0人	1.0人	2.8人	1.0人
土 曜 日		1.5人	1.3人	1.0人	0.8人	0.8人	1.0人
日 曜 日		1.5人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人
平 日	4件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		66.7%	62.5%	100.0%	75.0%	27.3%	100.0%
日 曜 日		66.7%	37.5%	75.0%	75.0%	27.3%	75.0%

【母体・胎児集中治療室】

－母体・胎児集中治療室管理料1－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	21件	4.0人	3.4人	3.8人	3.5人	3.6人	3.1人
土 曜 日		2.5人	2.4人	2.3人	1.9人	1.9人	1.8人
日 曜 日		1.6人	1.5人	1.4人	1.4人	1.3人	1.4人
平 日	21件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		63.9%	70.4%	62.0%	52.7%	52.6%	56.9%
日 曜 日		41.0%	45.1%	36.7%	39.2%	36.8%	44.6%

【新生児治療回復室】

－新生児治療回復室入院医療管理料1－

	施設数	午 前			午 後		
		9時	10時	11時	4時	5時	6時
平 日	26件	3.9人	3.8人	3.8人	3.5人	3.3人	1.7人
土 曜 日		1.2人	1.2人	1.3人	0.8人	0.8人	0.9人
日 曜 日		1.3人	1.3人	1.1人	0.8人	0.8人	0.8人
平 日	26件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		29.4%	32.3%	35.7%	23.3%	25.3%	52.3%
日 曜 日		32.4%	33.3%	28.6%	22.2%	24.1%	47.7%

図表 4-44 看護職員の平日・土曜日・日曜日の従事状況

【救命救急室】

－救命救急入院料 1－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	49 件	12.7 人	7.1 人	6.4 人
土 曜 日		10.4 人	7.3 人	6.4 人
日 曜 日		10.0 人	7.1 人	6.3 人
平 日	49 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		81.5%	102.0%	99.7%
日 曜 日		78.7%	98.9%	98.4%

－救命救急入院料 2－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	23 件	14.1 人	8.3 人	7.0 人
土 曜 日		10.5 人	7.9 人	6.9 人
日 曜 日		10.1 人	7.5 人	6.7 人
平 日	23 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		74.4%	95.3%	98.8%
日 曜 日		71.9%	90.5%	96.3%

－救命救急入院料 3－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	25 件	15.1 人	8.6 人	8.0 人
土 曜 日		12.0 人	8.4 人	7.9 人
日 曜 日		12.4 人	8.7 人	8.1 人
平 日	25 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		79.8%	97.2%	99.5%
日 曜 日		82.2%	101.4%	102.0%

－救命救急入院料 4－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	31 件	14.5 人	8.8 人	8.0 人
土 曜 日		12.4 人	8.5 人	7.8 人
日 曜 日		11.7 人	8.6 人	8.0 人
平 日	31 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		85.7%	96.7%	97.6%
日 曜 日		81.3%	97.4%	100.0%

【特定集中治療室】

－特定集中治療室管理料1－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	200 件	8.7 人	4.9 人	4.5 人
土 曜 日		6.9 人	4.6 人	4.3 人
日 曜 日		6.1 人	4.5 人	4.2 人
平 日	200 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		79.4%	94.1%	96.3%
日 曜 日		70.1%	90.4%	93.2%

－特定集中治療室管理料2－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	33 件	13.8 人	7.2 人	6.5 人
土 曜 日		11.4 人	7.0 人	6.6 人
日 曜 日		10.1 人	6.6 人	6.3 人
平 日	33 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		82.7%	96.6%	100.9%
日 曜 日		72.8%	91.6%	96.3%

【ハイケアユニット】

－ハイケアユニット入院医療管理料－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	64 件	4.9 人	2.6 人	2.3 人
土 曜 日		4.2 人	2.5 人	2.3 人
日 曜 日		3.7 人	2.5 人	2.2 人
平 日	64 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		85.7%	96.4%	96.7%
日 曜 日		74.9%	96.4%	95.3%

【新生児特定集中治療室】

－新生児特定集中治療室管理料1－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	67 件	5.6 人	2.8 人	2.7 人
土 曜 日		4.4 人	2.9 人	2.7 人
日 曜 日		4.4 人	2.8 人	2.6 人
平 日	67 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		79.7%	101.1%	100.6%
日 曜 日		78.3%	100.0%	97.2%

－新生児特定集中治療室管理料2－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	4 件	5.0 人	1.8 人	1.8 人
土 曜 日		3.8 人	1.8 人	1.8 人
日 曜 日		3.8 人	2.0 人	2.0 人
平 日	4 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		75.0%	100.0%	100.0%
日 曜 日		75.0%	114.3%	114.3%

【母体・胎児集中治療室】

－母体・胎児集中治療室管理料1－

	施設数	午 前	午 後	
		10時	6時	10時
平 日	27 件	5.6 人	3.4 人	2.8 人
土 曜 日		4.9 人	3.1 人	3.0 人
日 曜 日		4.1 人	3.1 人	2.8 人
平 日	27 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		87.3%	91.3%	109.3%
日 曜 日		73.3%	91.3%	100.0%

【新生児治療回復室】

－新生児治療回復室入院医療管理料1－

	施設数	午 後	午 前	
		10時	6時	10時
平 日	14 件	5.4	2.5	2.3
土 曜 日		4.9	2.9	2.4
日 曜 日		4.6	2.8	2.5
平 日	14 件	100.0%	100.0%	100.0%
土 曜 日		90.7%	117.1%	103.1%
日 曜 日		85.3%	111.4%	109.4%

⑤ 救急医療の実施状況

図表 4-45 時間外・休日・深夜加算の算定件数、緊急搬送された延べ患者数

【三次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
外来延べ患者数	27,953.7 人	100.0%	26,813.3 人	100.0%
時間外・休日・深夜加算の算定件数	1,305.0 件	4.7%	1,049.4 件	3.9%
緊急自動車等により搬送された延べ患者数	357.8 人	1.3%	344.0 人	1.3%

※有効回答 89 施設での集計

【二次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
外来延べ患者数	14,822.0 人	100.0%	14,216.0 人	100.0%
時間外・休日・深夜加算の算定件数	715.7 件	4.8%	575.9 件	4.1%
緊急自動車等により搬送された延べ患者数	172.5 人	1.2%	177.5 人	1.2%

※有効回答 337 施設での集計

図表 4-46 緊急入院した全ての患者の重症度等

【三次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	370.3 人	100.0%	361.0 人	100.0%
軽 症	44.7 人	12.1%	38.2 人	10.6%
中 等 症	207.3 人	56.0%	201.6 人	55.8%
重 症	76.8 人	20.7%	78.7 人	21.8%
重 篤	34.6 人	9.3%	35.3 人	9.8%
死 亡	6.9 人	1.9%	7.1 人	2.0%
緊急自動車等により搬送された患者数	162.5 人	43.9%	159.7 人	44.2%

※有効回答 59 施設での集計

【二次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	194.4 人	100.0%	191.5 人	100.0%
軽 症	11.2 人	5.8%	11.1 人	5.8%
中 等 症	138.0 人	71.0%	136.8 人	71.4%
重 症	32.4 人	16.7%	30.9 人	16.1%
重 篤	10.6 人	5.5%	10.6 人	5.5%
死 亡	2.1 人	1.1%	2.1 人	1.1%
緊急自動車等により搬送された患者数	75.6 人	38.9%	77.0 人	40.2%

※有効回答 178 施設での集計

■ 妊産婦の患者の状況

図表 4-47 緊急入院した妊産婦の患者の重症度等

【三次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	28.5 人	100.0%	26.8 人	100.0%
軽 症	0.3 人	1.1%	0.2 人	0.8%
中 等 症	23.5 人	82.7%	22.0 人	82.0%
重 症	3.8 人	13.4%	3.8 人	14.0%
重 篤	0.8 人	2.7%	0.9 人	3.2%
死 亡	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
合併症妊娠	1.2 人	4.3%	1.2 人	4.6%
妊娠高血圧症候群	1.5 人	5.1%	1.2 人	4.4%
多胎妊娠	0.4 人	1.5%	0.3 人	1.1%
胎盤位置異常	0.6 人	2.3%	0.7 人	2.6%
切迫流早産	5.1 人	18.0%	5.2 人	19.3%
胎児発育遅延や胎児奇形などの胎児異常を伴うもの	1.5 人	5.2%	1.3 人	4.9%
上記以外の状態	18.1 人	63.6%	16.9 人	63.1%
緊急自動車等により搬送された患者数	4.8 人	17.0%	5.3 人	19.6%
受診歴のある患者数	23.3 人	81.8%	21.0 人	78.3%

※有効回答 59 施設での集計

【二次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	18.7 人	100.0%	19.3 人	100.0%
軽 症	0.7 人	3.9%	0.6 人	3.2%
中 等 症	15.5 人	82.9%	16.4 人	84.8%
重 症	1.9 人	10.2%	2.0 人	10.2%
重 篤	0.6 人	3.0%	0.4 人	1.8%
死 亡	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
合併症妊娠	0.8 人	4.2%	0.8 人	4.2%
妊娠高血圧症候群	0.7 人	3.6%	0.6 人	3.0%
多胎妊娠	0.2 人	0.9%	0.2 人	1.1%
胎盤位置異常	0.4 人	2.0%	0.4 人	2.0%
切迫流早産	3.7 人	19.8%	4.2 人	21.7%
胎児発育遅延や胎児奇形などの胎児異常を伴うもの	0.5 人	2.7%	0.5 人	2.8%
上記以外の状態	11.9 人	64.0%	12.2 人	63.1%
緊急自動車等により搬送された患者数	2.3 人	12.1%	2.3 人	11.7%
受診歴のある患者数	15.2 人	81.5%	16.3 人	84.1%

※有効回答 87 施設での集計

■ 新生児（生後28日未満）の患者の状況

図表 4-48 緊急入院した新生児の患者の重症度等

【三次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	16.1 人	100.0%	19.7 人	100.0%
救命救急室	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.2%
特定集中治療室	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.2%
新生児特定集中治療室	8.6 人	53.2%	9.8 人	49.5%
新生児治療回復室	1.5 人	9.4%	2.7 人	13.5%
上記以外の一般病棟	4.6 人	28.7%	5.9 人	29.7%
上記以外の病棟	1.4 人	8.4%	1.3 人	6.8%
軽 症	0.4 人	2.6%	0.5 人	2.6%
中 等 症	8.6 人	53.3%	9.8 人	49.5%
重 症	5.0 人	30.9%	5.8 人	29.2%
重 篤	2.1 人	13.0%	3.6 人	18.4%
死 亡	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.2%
高度の先天奇形	0.5 人	3.2%	0.5 人	2.7%
低体温	0.1 人	0.4%	0.1 人	0.5%
重症黄疸	1.5 人	9.1%	1.8 人	9.2%
未熟児	6.2 人	38.5%	6.7 人	33.8%
意識障害又は昏睡	0.1 人	0.5%	0.0 人	0.2%
急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪	1.8 人	11.4%	3.1 人	15.7%
急性心不全（心筋梗塞を含む）	0.1 人	0.9%	0.2 人	0.8%
急性薬物中毒	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.1%
ショック	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
重篤な代謝障害	0.0 人	0.2%	0.1 人	0.3%
広範囲熱傷	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
大手術を必要とする状態	0.1 人	0.9%	0.1 人	0.4%
大手術後	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.2%
救急蘇生後	0.2 人	1.5%	0.3 人	1.5%
その他外傷、破傷風等で重篤な状態	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.1%
上記以外の状態	5.3 人	33.0%	6.6 人	33.4%
緊急自動車等により母体搬送された患者数	2.2 人	13.4%	2.7 人	13.8%
緊急自動車等により新生児搬送された患者数	2.8 人	17.5%	3.3 人	16.8%

※有効回答 50 施設での集計

【二次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月（改定前）		平成 22 年 10 月（改定後）	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	11.8 人	100.0%	12.5 人	100.0%
救命救急室	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
特定集中治療室	0.0 人	0.3%	0.0 人	0.1%
新生児特定集中治療室	4.2 人	35.9%	4.3 人	34.3%
新生児治療回復室	0.5 人	4.2%	0.4 人	3.5%
上記以外の一般病棟	6.6 人	56.0%	7.3 人	58.0%
上記以外の病棟	0.4 人	3.6%	0.5 人	4.1%
軽 症	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
中 等 症	6.8 人	57.7%	7.6 人	60.8%
重 症	3.1 人	26.3%	3.2 人	25.8%
重 篤	1.9 人	15.9%	1.7 人	13.4%
死 亡	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.1%
高度の先天奇形	0.3 人	2.4%	0.5 人	3.9%
低体温	0.2 人	1.9%	0.2 人	1.6%
重症黄疸	1.2 人	10.1%	1.2 人	9.5%
未熟児	2.3 人	19.6%	2.6 人	20.6%
意識障害又は昏睡	0.1 人	0.7%	0.0 人	0.3%
急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪	1.9 人	16.3%	2.0 人	15.6%
急性心不全（心筋梗塞を含む）	0.0 人	0.4%	0.1 人	0.5%
急性薬物中毒	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.0%
ショック	0.0 人	0.1%	0.0 人	0.1%
重篤な代謝障害	0.1 人	0.5%	0.0 人	0.3%
広範囲熱傷	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
大手術を必要とする状態	0.3 人	2.3%	0.3 人	2.6%
大手術後	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
救急蘇生後	0.3 人	2.4%	0.1 人	0.6%
その他外傷、破傷風等で重篤な状態	0.3 人	2.7%	0.3 人	2.3%
上記以外の状態	3.8 人	31.8%	4.3 人	34.8%
緊急自動車等により母体搬送された患者数	1.1 人	9.0%	1.3 人	10.1%
緊急自動車等により新生児搬送された患者数	1.1 人	9.4%	1.4 人	11.1%

※有効回答 64 施設での集計

■ 新生児を除く15歳未満の患者の状況

図表 4-49 緊急入院した新生児を除く15歳未満の患者の重症度等

【三次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	56.7 人	100.0%	48.3 人	100.0%
軽 症	4.8 人	8.5%	3.0 人	6.2%
中 等 症	41.5 人	73.2%	35.2 人	72.9%
重 症	8.2 人	14.5%	7.8 人	16.0%
重 篤	2.0 人	3.6%	2.2 人	4.5%
死 亡	0.1 人	0.2%	0.2 人	0.4%
緊急自動車等により搬送された患者数	10.7 人	18.9%	8.4 人	17.3%

※有効回答 53 施設での集計

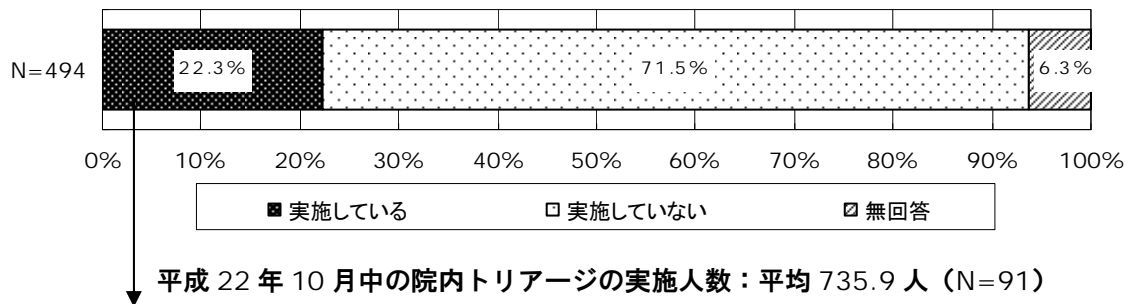
【二次救急医療機関】

	平成 21 年 10 月 (改定前)		平成 22 年 10 月 (改定後)	
	人 数	割 合	人 数	割 合
緊急入院した患者数	23.5 人	100.0%	23.5 人	100.0%
軽 症	0.3 人	1.4%	0.2 人	1.0%
中 等 症	21.8 人	92.4%	21.4 人	91.3%
重 症	1.4 人	6.0%	1.5 人	6.2%
重 篤	0.1 人	0.2%	0.4 人	1.5%
死 亡	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
緊急自動車等により搬送された患者数	2.4 人	10.4%	2.3 人	9.8%

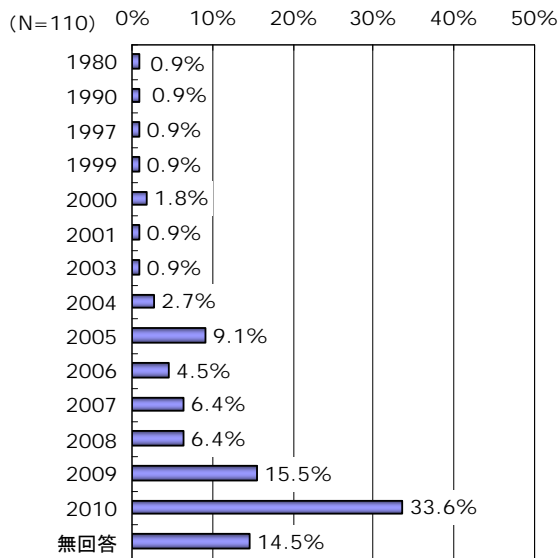
※有効回答 125 施設での集計

(3) 院内トリアージの実施状況

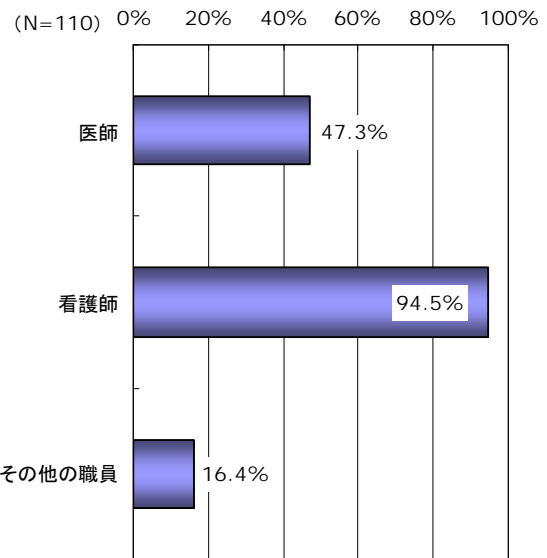
図表 4-50 院内トリアージの実施状況



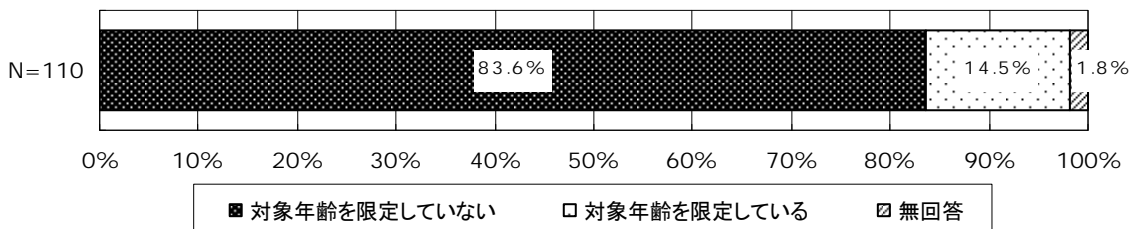
図表 4-51 院内トリアージの導入時期



図表 4-52 院内トリアージの担当職種 [複数回答]



図表 4-53 院内トリアージの対象年齢の設定状況



※対象年齢を限定している場合：平均 0.0～9.5 歳 (N=13)

図表 4-54 院内トリアージの周知方法 [複数回答]

	件数	割合
院内の見やすい場所への掲示	59 件	53.6%
受付の際に患者へ説明する	55 件	50.0%
診療の際に患者へ説明する	26 件	23.6%
広報等への掲載	15 件	13.6%
その他	11 件	10.0%
無回答	8 件	7.3%
総数	110 件	100.0%

■ 院内トリアージの効果

・重症患者への早期対応が可能になった

- ・緊急患者の早期対応が迅速になった。
- ・緊急性のある患者への迅速な対応ができる。
- ・より重篤な患者を優先的に診ることができる。
- ・重症患者の早期対応がスムーズとなった。
- ・重症患者の早期発見に寄与できた。
- ・重症患者への対応（症状に応じた）が早くなった。
- ・重症度の高い患者から優先的に診察できる。
- ・重傷度の高い救急患者の診断治療が優先される傾向にあります。
- ・当救命センター外来では、一次から三次までの患者が、多数来院するため、緊急重症を見逃さず診療につながることに役立っている。
- ・緊急性の高い疾患を早期に対応できるようになり、さらに看護師のフィジカルアセスメントに対する知識の向上につながった。
- ・優先的に診察・治療を開始しなければいけない患者を早く診察できるようになった。

・患者の状態像を適切に評価できるようになった

- ・小児、成人別の定形の間診票を使ってトリアージすることにより、事務、看護師、医師が統一した患者情報を得ることができるようになった。
- ・患者の状態が明確化できてよくなった。
- ・救急外来スタッフ（Dr、Ns）でのトリアージの検証会を行うことで、トリアージ時のフィジカルアセスメントの知識を深めることができた。
- ・救急と総合内科の診療を行うなかで、患者の重症度を見分ける判断力、知識が備わったと思う。ただ問診を行うのではなく、短時間で患者を見極めるため、診察の優先順位を考えながらトリアージを行うなど、質の向上につながった。
- ・トリアージを実施するようになって、看護師の（トリアージに対しての）意識が高まり、ウオークイン患者を含め、来院される患者すべてに目が向けられるようになった。また、重症の患者に対して、よりスピーディーな治療につなげることが可能となった。
- ・受診患者さんの状態を把握し、具合の悪い人を待たせないように配慮している。
- ・新患の受付時には看護師が症状などを聞き取り、適切な診療科を案内している。
- ・生命を脅かす病態にある患者さんを迅速に見分けることができ、病態悪化の危険性が減少する。適切な医療区域へ誘導することにより、救急診療の流れを合理化することができる。

・診療科の振り分けが円滑になった

- ・トリアージから診察までの時間がデータから5分短縮していることがわかった。
- ・専門医までのアクセス時間が短縮した。
- ・内科系・外科系・小児系…医師への振分けスムーズ。

(4) NICUにおける入退室等の状況

図表 4-55 NICUに入室した患者数・再入室した患者数（1施設当たり）

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
新生児特定集中治療室に入室した患者数	16.2 人	16.4 人
新生児特定集中治療室に再入室した患者数		0.3 人

※有効回答 62 施設での集計

図表 4-56 NICUから退室した患者の退院先別患者数（1施設当たり）

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
新生児特定集中治療室から退室した患者数	4.5 人	100.0%	4.3 人	100.0%
1年以上新生児特定集中治療室に入室した患者数	0.0 人	0.3%	0.0 人	0.0%
新生児集中治療室退院調整加算を算定した患者数	-	-	0.4 人	10.1%
自宅	1.0 人	21.4%	1.0 人	24.3%
自院の他の病棟等	3.2 人	72.6%	2.9 人	67.3%
新生児治療回復室	1.2 人	27.4%	1.2 人	28.1%
障害者施設	0.0 人	0.3%	0.0 人	0.0%
その他の一般病棟	1.3 人	29.8%	1.2 人	28.1%
その他の病棟	0.7 人	15.8%	0.5 人	12.3%
他の病院	0.1 人	1.8%	0.2 人	4.9%
新生児特定集中治療室	0.1 人	1.6%	0.2 人	4.1%
新生児治療回復室	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
障害者施設	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
有床診療所	0.1 人	2.4%	0.1 人	1.4%
上記以外の施設	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.3%
死亡	0.1 人	1.8%	0.1 人	1.9%

※有効回答 85 施設での集計

(5) GCUにおける退室の状況

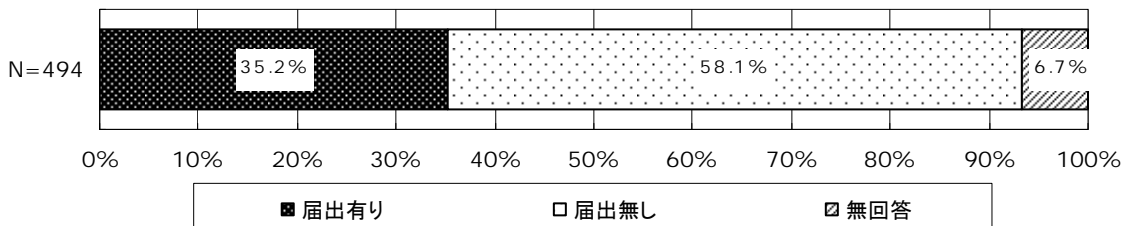
図表 4-57 GCUから退室した患者の退院先別患者数（1施設当たり）

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
新生児治療回復室から退室した患者数	3.3 人	100.0%	3.5 人	100.0%
1年以上新生児治療回復室に入室した患者数	0.0 人	0.4%	0.0 人	0.8%
自宅	2.6 人	79.5%	2.5 人	70.7%
自院の他の病棟等	0.6 人	18.9%	0.9 人	26.6%
新生児特定集中治療室	0.1 人	2.9%	0.3 人	9.3%
障害者施設	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
その他の一般病棟	0.5 人	14.3%	0.5 人	15.4%
その他の病棟	0.1 人	1.6%	0.1 人	1.9%
他の病院	0.0 人	1.2%	0.0 人	0.4%
新生児特定集中治療室	0.0 人	0.4%	0.0 人	0.4%
新生児治療回復室	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
障害者施設	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%
有床診療所	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.8%
上記以外の施設	0.0 人	0.0%	0.0 人	1.2%
死亡	0.0 人	0.4%	0.0 人	0.4%

※有効回答 74 施設での集計

(6) 救急搬送患者地域連携紹介加算の届出状況

図表 4-58 救急搬送患者地域連携紹介加算の届出状況



図表 4-59 1施設当たり連携医療機関数

	件数	割合
病院	10.0件	93.2%
7対1入院基本料（一般病棟）の届出施設	1.9件	17.6%
10対1入院基本料（一般病棟）の届出施設	4.3件	40.1%
13対1入院基本料（一般病棟）の届出施設	1.4件	12.8%
15対1入院基本料（一般病棟）の届出施設	1.8件	16.8%
療養病棟入院基本料の届出施設	2.7件	25.0%
障害者施設等入院基本料の届出施設	0.7件	6.6%
有床診療所	0.7件	6.8%
有床診療所一般病床初期加算の届出施設	0.5件	4.4%
救急・在宅支援療養病床初期加算の届出施設	0.1件	0.6%
合計	10.7件	100.0%

※有効回答 66 施設での集計

図表 4-60 1施設当たり算定患者数

	平成21年10月	平成22年10月
他の病院への転院患者	8.7人	8.4人
救急搬送患者地域連携紹介加算の算定患者		0.2人
有床診療所への転院患者	0.3人	0.4人
救急搬送患者地域連携紹介加算の算定患者		0.0人

※有効回答 272 施設での集計

(7) 急性期病棟等退院調整加算等の算定状況

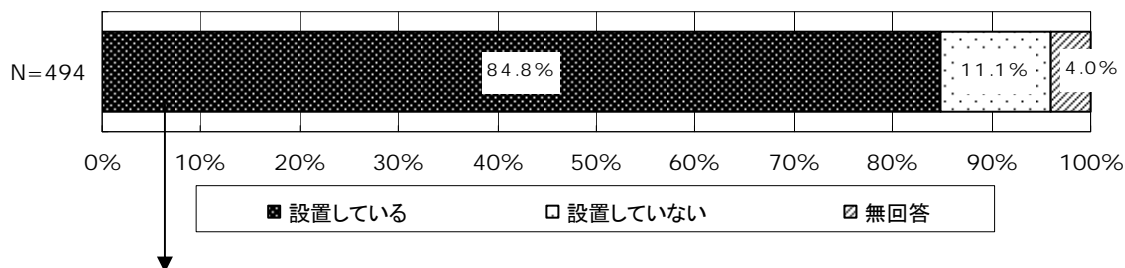
図表 4-61 急性期病棟等退院調整加算等の算定状況（1施設当たり）

	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月
在宅への退院患者	403.9 人	414.5 人
後期高齢者退院調整加算の算定患者	4.1 人	
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者		9.5 人
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者のうち 75 歳以上の患者		6.3 人
他の病院への転院患者	34.2 人	35.3 人
後期高齢者退院調整加算の算定患者	3.1 人	
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者		5.6 人
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者のうち 75 歳以上の患者		4.0 人
有床診療所への転院患者	3.3 人	3.4 人
後期高齢者退院調整加算の算定患者	0.1 人	
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者		0.3 人
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者のうち 75 歳以上の患者		0.3 人
介護施設等の転院患者	8.5 人	8.4 人
後期高齢者退院調整加算の算定患者	1.3 人	
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者		1.4 人
急性期病棟等退院調整加算 1 又は 2 の算定患者のうち 75 歳以上の患者		1.3 人

※有効回答 208 施設での集計

(8) 退院支援の担当部署

図表 4-62 退院支援をもつぱら担当する部署の設置状況



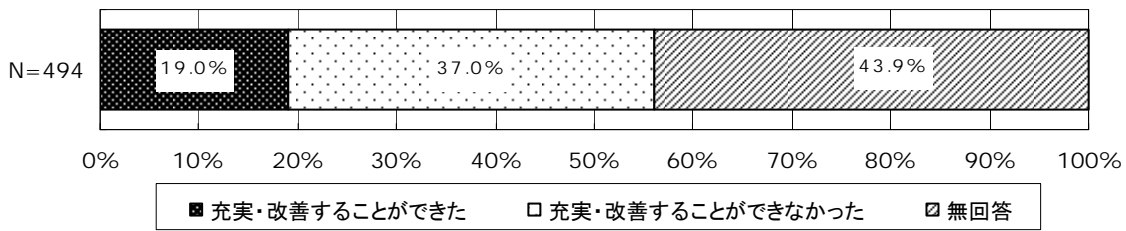
図表 4-63 退院支援をもつぱら担当する部署に従事する職員数（実人数）

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	0.1 人	0.4 人	0.1 人	0.4 人
看護師	0.9 人	0.5 人	1.2 人	0.6 人
准看護師	0.1 人	0.0 人	0.1 人	0.0 人
ソーシャルワーカー	2.2 人	0.6 人	2.4 人	0.6 人
社会福祉士の資格保有者	1.9 人	0.5 人	2.0 人	0.5 人
その他	0.7 人	0.2 人	0.8 人	0.2 人
合計	4.0 人	1.7 人	4.5 人	1.8 人

※有効回答 156 施設での集計

(9) 平成22年度診療報酬改定による救急医療の充実状況

図表 4-64 平成22年度診療報酬改定による救急医療の充実状況



■ 充実・改善することができた理由

・ 診療報酬の新設、評価の引き上げ

- ・ 特定集中治療室管理料の点数引き上げ（重症者割合 90%以上の加算として算定可能だった点数分の引き上げ）。
- ・ 救急医療に係る点数（ハイケアユニット入院医療管理料、新生児特定集中治療室管理料、妊産婦緊急搬送入院加算など）が引き上げられたこと。
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料の施設基準を取得できたことにより、重症患者の受け入れを充実させることができた。
- ・ 救急医療・手術への配慮が加算されたことから、二次救急の当院においても診療報酬請求点数が微増ではあるが増加となった。
- ・ 退院調整、地域連携診療計画、介護支援指導料の拡充によって、後方病床、在宅医療との連携が促進され、急性期患者の受入拡大につながった。
- ・ 救急医療管理加算の増点とハイケアユニットの要件緩和があり、診療報酬改定の内容は一定の評価ができるものであった。
- ・ 救急医療管理加算の点数増などにより、収益への一定の貢献があったと考える。
- ・ 救急搬送患者地域連携紹介、受入加算が新設されたことにより、従来から救急患者の転院先として協力を得ていた医療機関との間で転院のルールについて改めて協議を行い、再確認することで早期に連携できるようになった。
- ・ 救急搬送患者地域連携紹介加算の新設に伴い、一定状態の安定した患者の転院がスムーズに行えることになった。
- ・ 救命救急入院料充実度加算や新生児集中治療室管理料などの改定が増収をもたらしており、今後とも救命救急の充実に取り組んでいただきたい。
- ・ 救命救急入院料の充実度評価加算および小児入院医療管理料、新生児特定集中治療室管理料などの点数の引き上げがあげられます。
- ・ 今回の診療報酬改定に伴って、救命救急入院料1・4、同小児加算、充実度A、救急医療管理加算などの点数がアップされたことは当院にとって追い風となっております。

■ 充実・改善することができなかった理由

・医療スタッフの不足

- ・救急医療の充実については、診療報酬はもちろんです、医師数が充実していなくては実現できないものと考えています。現状において、救急医療を充実させるだけの医師を確保することは、なかなか困難な状況です。
- ・専任医師の確保・配置ができない。
- ・医療関係の中でのもっとも大きな課題としての、看護師などの人材不足の解消には至っていないのが現状である。
- ・救急医療の専任医師の確保が困難。
- ・医師、看護師の補充ができていない。
- ・今年度の診療報酬はプラス改定の影響もあり、前年度比5%以上の増加が見込めている。しかし、これが医師、看護師不足の改善には直接繋がっておらず、今回の改定により救急医療の充実・改善が図れたとは言いがたい。
- ・医師、看護師不足による。
- ・救急担当医師の招聘が困難（医師不足）。

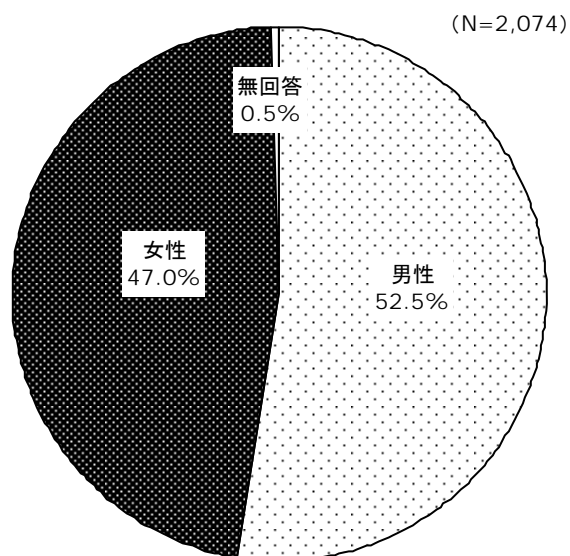
・診療報酬の評価の不足

- ・今回の改定で救急医療分野は、一定の評価を頂いたところでありますが、充実・改善が図れるほどのものではないのが現状です。
- ・改定幅が不十分。医師、看護師の充足に繋がらない。
- ・時間外、深夜加算などの点数が低い。
- ・救命救急医療センターでなくても救急専門医は数名配備されているのであるから、それなりの評価すべき点数を設けるべきである。
- ・診療報酬改定により、新設などされた点数（救急入院料その他）を取得できる施設体制がとれなかったため。
- ・診察報酬改定により、救急部門が経済的に潤ったとは全くいえない。
- ・一次・二次救急の区別なく様々な患者が来院し、又救急車で搬送されてくる。いつ急患が発生するか分からない状況で、それに見合うスタッフを常備するということは、中小病院にとって無理であり、それに見合う点数を設定しなければならないのでは。
- ・救急医療管理加算などの点数が上がったが、救急に関わるマンパワー不足により充実・改善するところまでいかなかった。

5. 退室患者調査

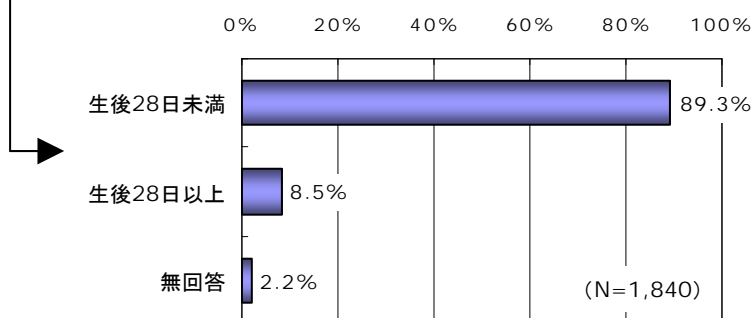
(1) 患者の概況

図表 5-1 患者の性別

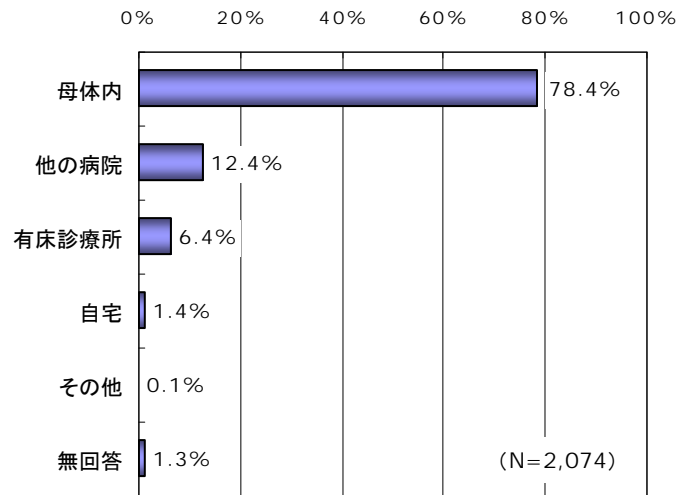


図表 5-2 患者の入院時の年齢

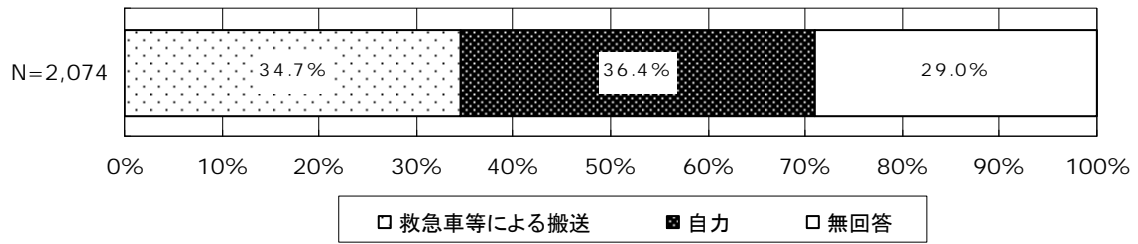
	人数	割合
0歳	1,840人	88.7%
無回答	234人	11.3%
合計	2,074人	100.0%



図表 5-3 患者の入院前の居場所

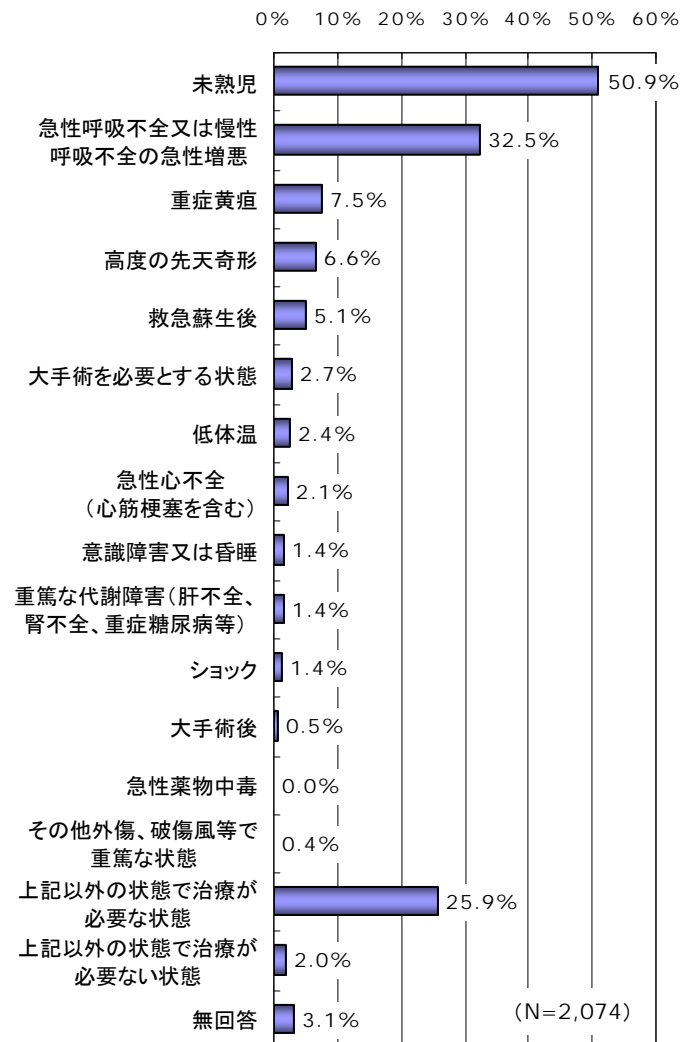


図表 5-4 患者の来院方法



(2) 患者の状態等

図表 5-5 新生児特定集中治療室または新生児治療回復室等に
最初に入室時の患者の状態 [複数回答]



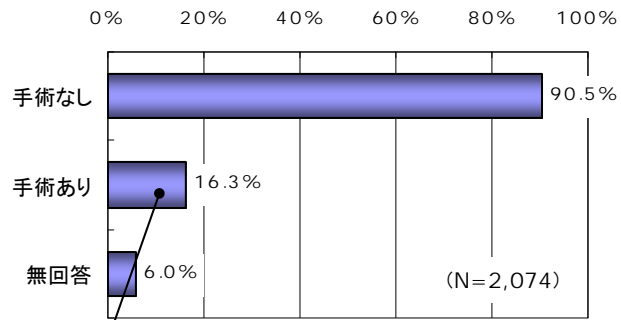
図表 5-6 患者の主傷病（上位 20 位）

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	911 人	43.9%
新生児一過性多呼吸	150 人	7.2%
新生児黄疸、詳細不明	83 人	4.0%
新生児の呼吸窮〈促〉迫	70 人	3.4%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	35 人	1.7%
帝切児症候群	34 人	1.6%
胎便吸引症候群	29 人	1.4%
新生児特発性呼吸窮迫症候群	28 人	1.4%
重症新生児仮死	25 人	1.2%
新生児溢乳	19 人	0.9%
出生時仮死	18 人	0.9%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	17 人	0.8%
新生児無呼吸発作	17 人	0.8%
新生児一過性低血糖症	17 人	0.8%
周産期に特異的なその他の感染症	16 人	0.8%
新生児仮死	14 人	0.7%
新生児敗血症	12 人	0.6%
心室中隔欠損（症）	11 人	0.5%
大動脈縮窄（症）	10 人	0.5%
新生児の細菌性敗血症	9 人	0.4%
新生児メレナ	9 人	0.4%
新生児の哺乳上の問題	9 人	0.4%
動脈管開存（症）	9 人	0.4%
無回答	110 人	5.3%
合 計	2,074 人	100.0%

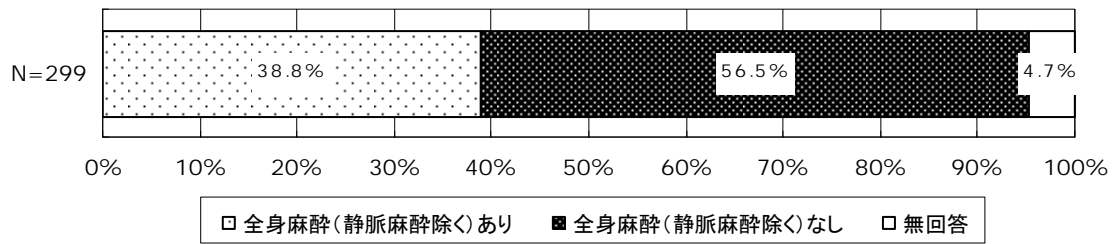
図表 5-7 患者の副傷病（上位 20 位）[3 つまで]

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	409 人	19.7%
新生児一過性多呼吸	191 人	9.2%
新生児特発性呼吸窮迫症候群	153 人	7.4%
新生児黄疸、詳細不明	146 人	7.0%
早産に関連する新生児黄疸	110 人	5.3%
新生児一過性低血糖症	99 人	4.8%
新生児の呼吸窮〈促〉迫	97 人	4.7%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	90 人	4.3%
新生児無呼吸発作	76 人	3.7%
動脈管開存（症）	70 人	3.4%
軽度新生児仮死	64 人	3.1%
未熟児貧血	60 人	2.9%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	58 人	2.8%
出生時仮死	56 人	2.7%
新生児仮死	42 人	2.0%
未熟児網膜症	34 人	1.6%
重症新生児仮死	26 人	1.3%
心室中隔欠損（症）	26 人	1.3%
胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	25 人	1.2%
新生児呼吸不全	22 人	1.1%
合 計	2,074 人	100.0%

図表 5-8 手術の実施状況

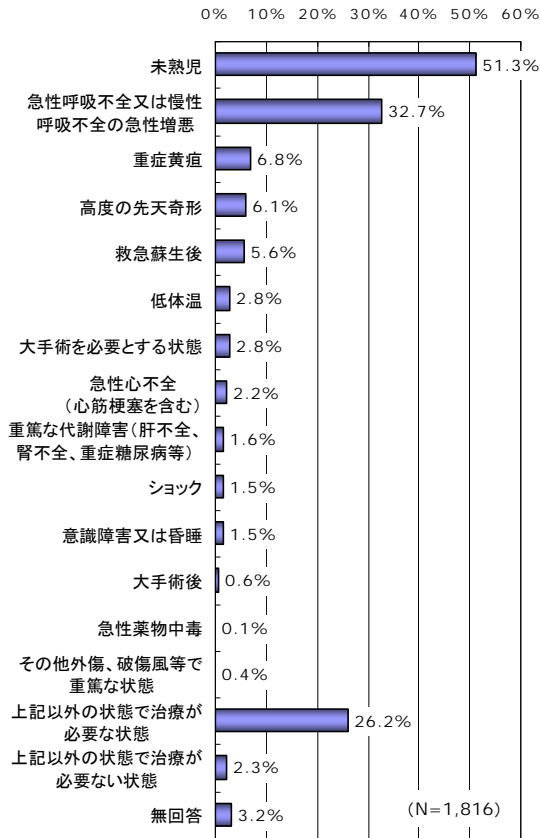


図表 5-9 全身麻酔（静脈麻酔を除く）の有無

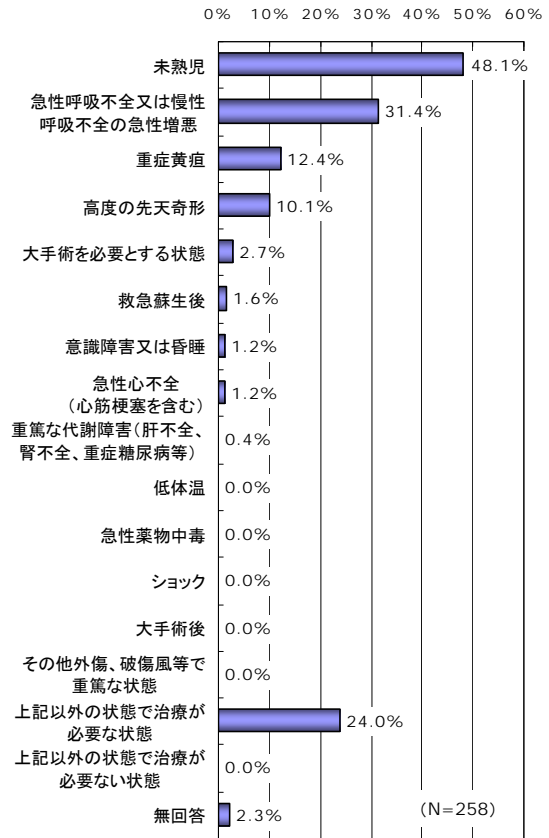


図表 5-10 入院先の病院における「救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算」算定件数の有無別の新生児特定集中治療室または新生児治療回復室等に最初に入室時の患者の状態
 [複数回答]

【加算算定件数有りの病院の入院患者】

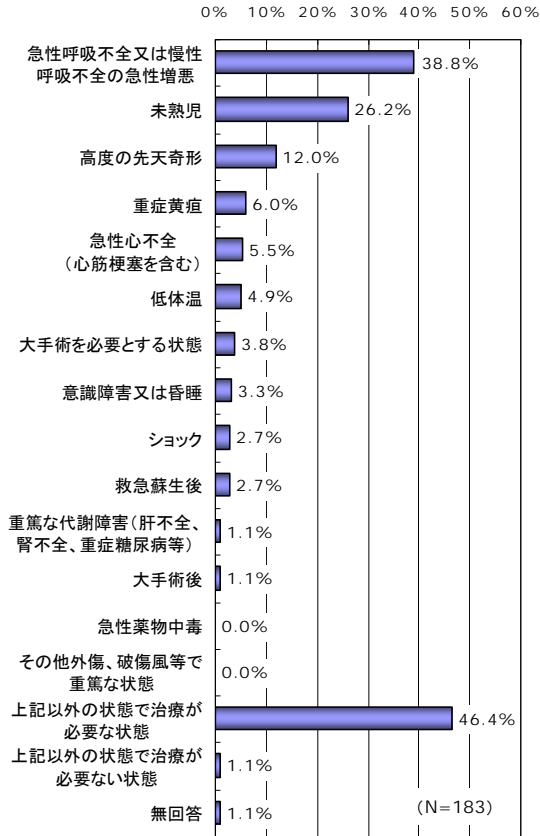


【加算算定件数無しの病院の入院患者】

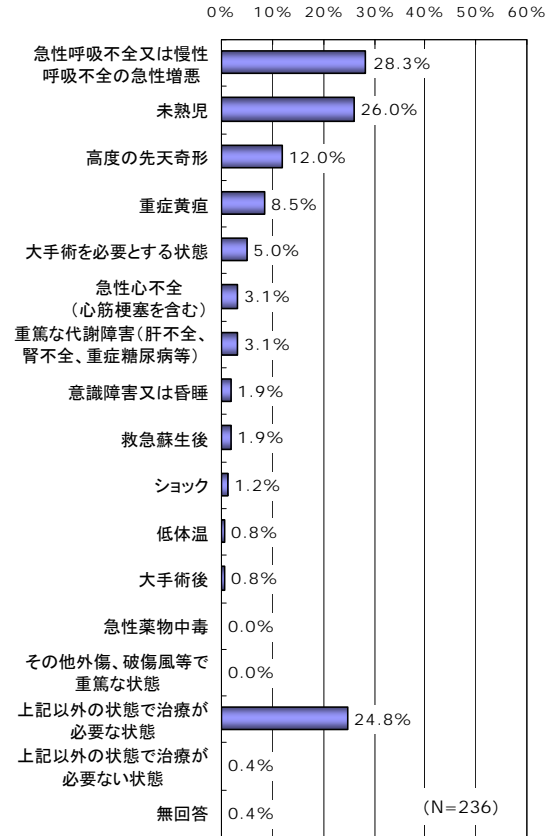


図表 5-11 入院先の病院における「乳幼児救急医療管理加算」算定件数の有無別の
 新生児特定集中治療室または新生児治療回復室等に最初入室時の患者の状態
 [複数回答]

【加算算定件数有りの病院の入院患者】



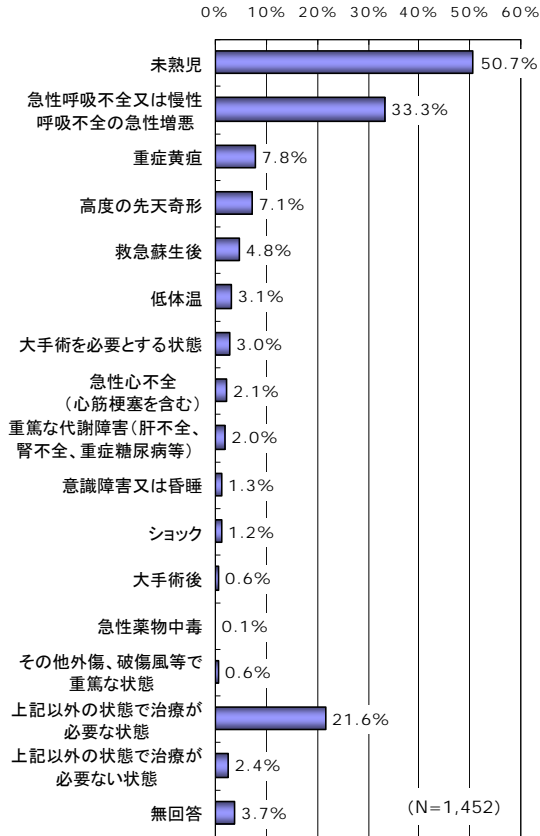
【加算算定件数無しの病院の入院患者】



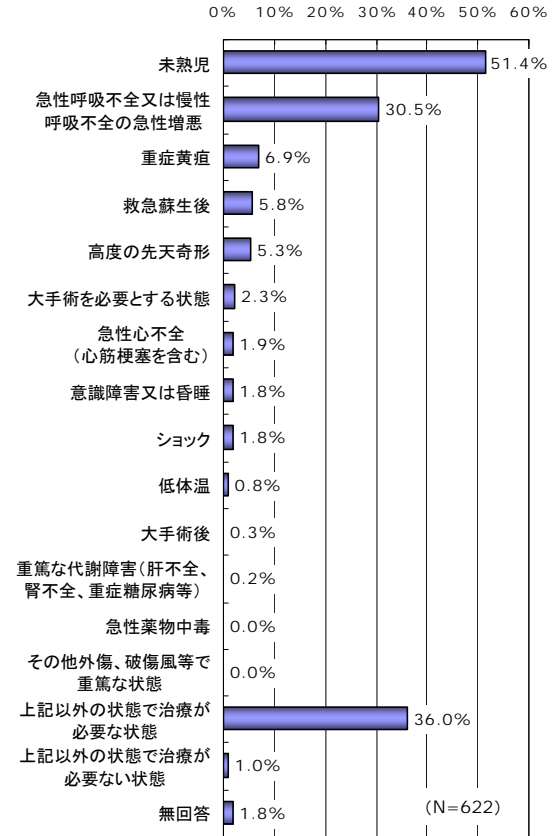
※患者の入院前の居場所が「自宅」、「他の病院」、「有床診療所」の患者のみで集計。

図表 5-12 入院先の病院における「超重症児（者）入院診療加算」又は「準超重症児（者）入院診療加算」算定件数の有無別の新生児特定集中治療室または新生児治療回復室等に最初入室時の患者の状態【複数回答】

【加算算定件数有りの病院の入院患者】

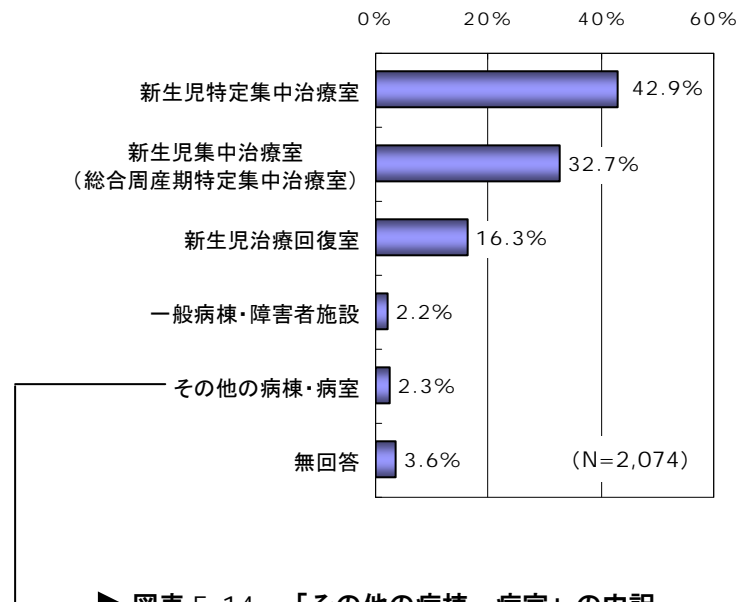


【加算算定件数無しの病院の入院患者】



(3) 患者の新生児特定集中治療室等を退室するまでの経緯

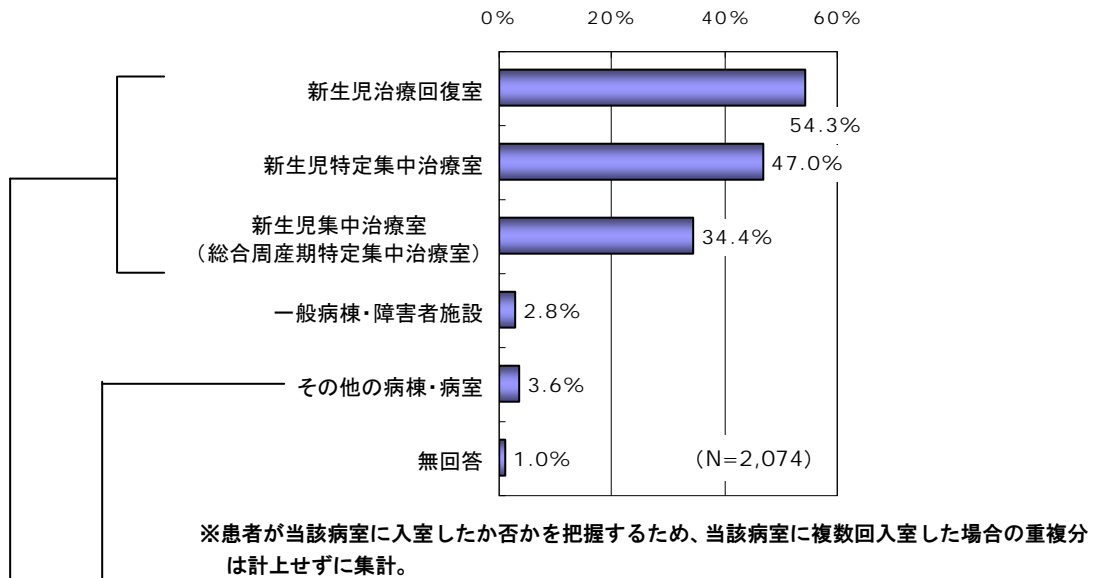
図表 5-13 患者が最初に入室した治療室



図表 5-14 「その他の病棟・病室」の内訳

	人数
新生児室	30人
産科病棟	9人
特定集中治療室 (ICU)	3人
小児入院医療管理料算定病棟	1人
新生児治療回復室 (届出なし)	1人
周産期病棟	1人
その他	3人
無回答	0人

図表 5-15 患者が最後に退室するまでに入室した治療室 [複数回答]

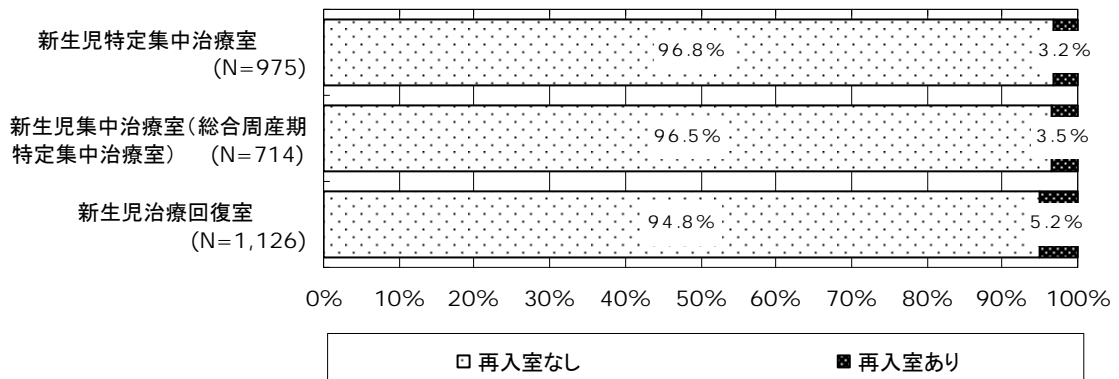


図表 5-16 「その他の病棟・病室」の内訳 [複数回答]

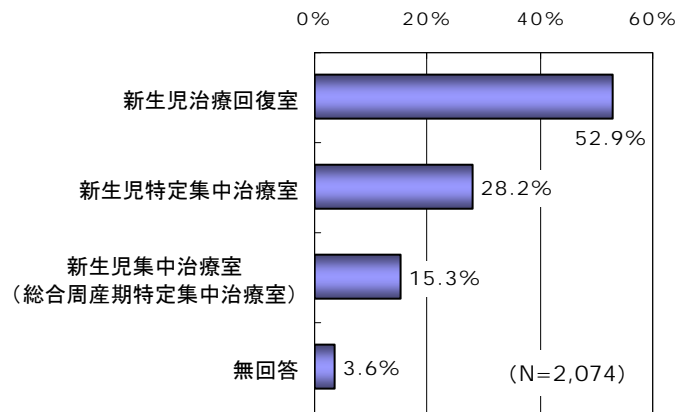
	人数
新生儿室	31人
特定集中治療室 (ICU)	14人
小児入院医療管理料算定病棟	14人
新生儿治療回復室 (届出なし)	5人
産科病棟	4人
新生儿特定集中治療室 (届出なし)	3人
小児科病棟	2人
周産期病棟	1人
その他	5人
無回答	2人

※患者が当該病室に入室したか否かを把握するため、当該病室に複数回入室した場合の重複分は計上せずに集計。

図表 5-17 患者の退室後の再入室の有無



図表 5-18 患者が最後に退室した治療室



図表 5-19 患者が入室した治療室の順番

1 回目の入室先	2 回目の入室先	3 回目の入室先	4 回目の入室先	5 回目の入室先	人 数	割 合		
新生児特定集中治療室	その他の入室なし				507 人	24.4%		
	新生児集中治療室	その他の入室なし				10 人	0.5%	
		新生児治療回復室	その他の入室なし				338 人	16.3%
	新生児特定集中治療室		その他の入室なし			3 人	0.1%	
			新生児治療回復室	その他の入室なし		12 人	0.6%	
			新生児特定集中治療室	新生児治療回復室		3 人	0.1%	
	その他、一般病棟等		新生児特定集中治療室	新生児特定集中治療室	新生児治療回復室		1 人	0.0%
		新生児治療回復室		その他の入室なし		2 人	0.1%	
	その他、一般病棟等	新生児特定集中治療室	その他の入室なし			9 人	0.4%	
			その他、一般病棟等	新生児特定集中治療室		1 人	0.0%	
新生児治療回復室		その他の入室なし			2 人	0.1%		
		新生児特定集中治療室	その他の入室なし		1 人	0.0%		
新生児集中治療室	その他の入室なし				275 人	13.3%		
	新生児特定集中治療室	その他の入室なし			2 人	0.1%		
		新生児集中治療室	その他の入室なし			1 人	0.0%	
	新生児治療回復室	その他の入室なし				371 人	17.9%	
		新生児集中治療室	その他の入室なし			4 人	0.2%	
			新生児治療回復室	その他の入室なし		7 人	0.3%	
			その他、一般病棟等	新生児集中治療室		1 人	0.0%	
		その他、一般病棟等	新生児集中治療室	新生児集中治療室	その他の入室なし		2 人	0.1%
	新生児治療回復室			その他の入室なし		4 人	0.2%	
			新生児集中治療室	新生児集中治療室		1 人	0.0%	
その他、一般病棟等	新生児集中治療室	その他の入室なし			7 人	0.3%		
		新生児治療回復室	その他の入室なし		2 人	0.1%		
	新生児治療回復室	その他の入室なし			1 人	0.0%		
新生児治療回復室	その他の入室なし				300 人	14.5%		
	新生児特定集中治療室	その他の入室なし			13 人	0.6%		
		新生児治療回復室	その他の入室なし		19 人	0.9%		
			新生児特定集中治療室	新生児治療回復室		1 人	0.0%	
	新生児集中治療室	新生児治療回復室	その他の入室なし			4 人	0.2%	
その他、一般病棟等	新生児治療回復室	その他の入室なし			1 人	0.0%		
合 計					2,074 人	100.0%		

※ 図表中の「新生児集中治療室」は「新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）」を指す。

図表 5-20 患者が入室した治療室の順番（つづき）

1 回目の入室先	2 回目の入室先	3 回目の入室先	4 回目の入室先	5 回目の入室先	人 数	割 合
その他、 一般病棟等	新生児特定 集中治療室	その他の入室なし			45 人	2.2%
		新生児治療 回復室	その他の入室なし		3 人	0.1%
	新生児集中 治療室	その他の入室なし			16 人	0.8%
		新生児治療 回復室	その他の入室なし		4 人	0.2%
		その他、 一般病棟等	新生児治療 回復室	その他の入室なし	1 人	0.0%
	新生児治療 回復室	その他の入室なし			22 人	1.1%
		新生児特定 集中治療室	新生児治療 回復室	その他の入室なし	2 人	0.1%
新生児集中 治療室		新生児治療 回復室	その他の入室なし	1 人	0.0%	
無回答					75 人	3.6%
合 計					2,074 人	100.0%

※ 図表中の「新生児集中治療室」は「新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）」を指す。

図表 5-21 最初に新生児特定集中治療室に入室した患者の主傷病（上位 20 位）

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	415 人	46.7%
新生児一過性多呼吸	74 人	8.3%
新生児の呼吸窮（促）迫	32 人	3.6%
新生児特異性呼吸窮迫症候群	17 人	1.9%
胎便吸引症候群	14 人	1.6%
新生児一過性低血糖症	13 人	1.5%
重症新生児仮死	11 人	1.2%
新生児仮死	10 人	1.1%
新生児敗血症	10 人	1.1%
出生時仮死	9 人	1.0%
新生児溢乳	9 人	1.0%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	7 人	0.8%
軽度新生児仮死	6 人	0.7%
周産期に特異的なその他の感染症	6 人	0.7%
心室中隔欠損（症）	6 人	0.7%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	5 人	0.6%
新生児黄疸、詳細不明	5 人	0.6%
帝王切開症候群	4 人	0.4%
新生児無呼吸発作	4 人	0.4%
新生児の細菌性敗血症	4 人	0.4%
胎児の羊水感染症	4 人	0.4%
新生児メレナ	4 人	0.4%
両大血管右室起始（症）	4 人	0.4%
無回答	43 人	4.8%
合 計	889 人	100.0%

図表 5-22 最初に新生児特定集中治療室に入室した患者の副傷病（上位 20 位）[3つまで]

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	218 人	24.5%
新生児一過性多呼吸	95 人	10.7%
新生児特異性呼吸窮迫症候群	64 人	7.2%
新生児の呼吸窮（促）迫	52 人	5.8%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	51 人	5.7%
新生児黄疸、詳細不明	47 人	5.3%
新生児一過性低血糖症	46 人	5.2%
早産に関連する新生児黄疸	38 人	4.3%
動脈管開存（症）	38 人	4.3%
新生児無呼吸発作	33 人	3.7%
未熟児貧血	33 人	3.7%
出生時仮死	28 人	3.1%
軽度新生児仮死	23 人	2.6%
新生児仮死	23 人	2.6%
未熟児網膜症	22 人	2.5%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	22 人	2.5%
新生児呼吸不全	20 人	2.2%
重症新生児仮死	16 人	1.8%
新生児ビタミンK欠乏症	13 人	1.5%
心房中隔欠損（症）	13 人	1.5%
合 計	889 人	100.0%

図表 5-23 最初に新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）に入室した患者の主傷病
（上位 20 位）

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	336 人	49.6%
新生児一過性多呼吸	46 人	6.8%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	20 人	2.9%
新生児の呼吸窮（促）迫	18 人	2.7%
重症新生児仮死	12 人	1.8%
新生児黄疸、詳細不明	12 人	1.8%
新生児特発性呼吸窮迫症候群	10 人	1.5%
胎便吸引症候群	9 人	1.3%
新生児無呼吸発作	7 人	1.0%
出生時仮死	6 人	0.9%
動脈管開存（症）	6 人	0.9%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	5 人	0.7%
妊娠 28 週未満で出生した児	4 人	0.6%
新生児気胸	4 人	0.6%
新生児の哺乳上の問題	4 人	0.6%
ファロー四徴（症）	4 人	0.6%
大動脈縮窄（症）	4 人	0.6%
先天性横隔膜ヘルニア	4 人	0.6%
糖尿病母体児	3 人	0.4%
新生児溢乳	3 人	0.4%
無回答	53 人	7.8%
合 計	678 人	100.0%

図表 5-24 最初に新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）に入室した患者の副傷病
（上位 20 位）[3 つまで]

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	126 人	18.6%
新生児特発性呼吸窮迫症候群	77 人	11.4%
新生児一過性多呼吸	69 人	10.2%
新生児黄疸、詳細不明	64 人	9.4%
早産に関連する新生児黄疸	61 人	9.0%
新生児一過性低血糖症	33 人	4.9%
新生児無呼吸発作	32 人	4.7%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	31 人	4.6%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	28 人	4.1%
新生児の呼吸窮（促）迫	27 人	4.0%
動脈管開存（症）	27 人	4.0%
未熟児貧血	24 人	3.5%
軽度新生児仮死	23 人	3.4%
新生児仮死	16 人	2.4%
新生児一過性高血糖症	16 人	2.4%
未熟児網膜症	11 人	1.6%
周産期に発生したその他の病態	11 人	1.6%
重症新生児仮死	10 人	1.5%
妊娠期間に比較して低体重・低身長	8 人	1.2%
出生時仮死	8 人	1.2%
周産期慢性呼吸器疾患	8 人	1.2%
新生児敗血症	8 人	1.2%
胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	8 人	1.2%
新生児脳室周囲白質軟化	8 人	1.2%
合 計	678 人	100.0%

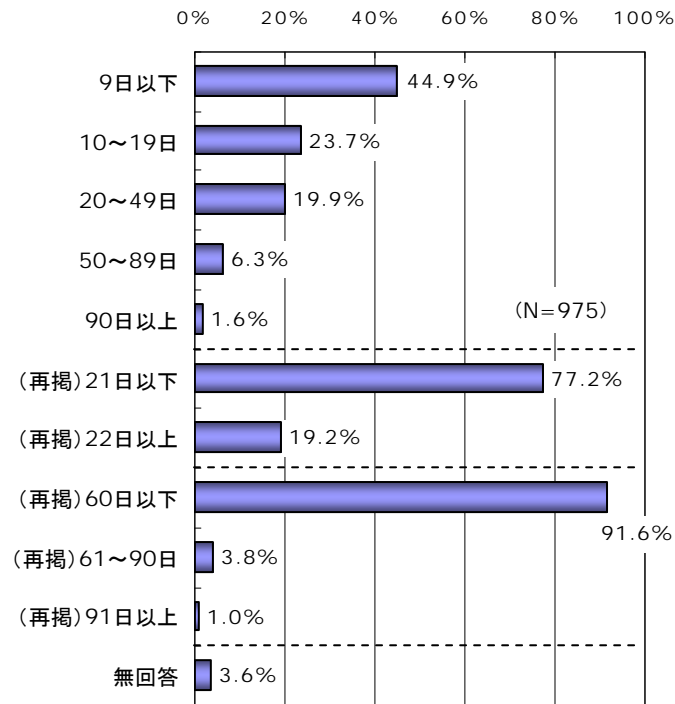
図表 5-25 最初に新生児治療回復室に入室した患者の主傷病（上位 20 位）

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	101 人	29.9%
新生児黄疸、詳細不明	43 人	12.7%
帝王切開症候群	28 人	8.3%
新生児一過性多呼吸	19 人	5.6%
新生児の呼吸窮（促）迫	18 人	5.3%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	6 人	1.8%
その他の明示された原因による新生児黄疸	6 人	1.8%
胎便吸引症候群	5 人	1.5%
周産期に特異的なその他の感染症	5 人	1.5%
胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	5 人	1.5%
新生児溢乳	5 人	1.5%
心室中隔欠損（症）	4 人	1.2%
胎児発育遅延（成長遅滞）および胎児栄養失調（症）	3 人	0.9%
周産期に発生したその他の呼吸器病態	3 人	0.9%
新生児無呼吸発作	3 人	0.9%
大動脈縮窄（症）	3 人	0.9%
ダウン症候群	3 人	0.9%
その他の分娩合併症により影響を受けた胎児および新生児	2 人	0.6%
出生時仮死	2 人	0.6%
新生児仮死	2 人	0.6%
先天性肺炎	2 人	0.6%
新生児の細菌性敗血症	2 人	0.6%
胎児の羊水感染症	2 人	0.6%
新生児メレナ	2 人	0.6%
糖尿病母体児	2 人	0.6%
新生児一過性低血糖症	2 人	0.6%
胎児および新生児に特異的な外皮のその他の病態	2 人	0.6%
新生児の哺乳上の問題	2 人	0.6%
大腸の先天（性）欠損、閉鎖および狭窄	2 人	0.6%
ダウン（Down）症候群	2 人	0.6%
アセトン血症	2 人	0.6%
無回答	10 人	3.0%
合 計	338 人	100.0%

図表 5-26 最初に新生児治療回復室に入室した患者の副傷病（上位 20 位）〔3 つまで〕

	人 数	割 合
妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	38 人	11.2%
出生時仮死	19 人	5.6%
新生児黄疸、詳細不明	18 人	5.3%
新生児の呼吸窮（促）迫	16 人	4.7%
新生児一過性多呼吸	16 人	4.7%
早産に関連する新生児黄疸	11 人	3.3%
母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児	9 人	2.7%
新生児一過性低血糖症	7 人	2.1%
新生児特発性呼吸窮迫症候群	6 人	1.8%
新生児無呼吸発作	6 人	1.8%
心室中隔欠損（症）	6 人	1.8%
胎児の羊水感染症	5 人	1.5%
胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	5 人	1.5%
カルシウムおよびマグネシウム代謝の一過性新生児障害	5 人	1.5%
胎児発育遅延（成長遅滞）および胎児栄養失調（症）	4 人	1.2%
動脈管開存（症）	4 人	1.2%
妊娠期間に比較して低体重・低身長	3 人	0.9%
新生児仮死	3 人	0.9%
周産期に特異的なその他の感染症	3 人	0.9%
糖尿病母体児	3 人	0.9%
周産期に発生したその他の病態	3 人	0.9%
ダウン（Down）症候群	3 人	0.9%
合 計	338 人	100.0%

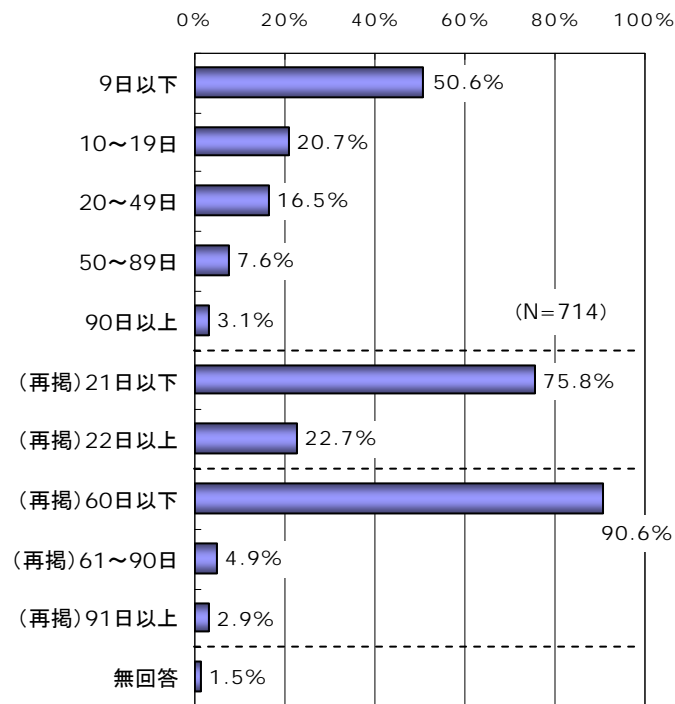
図表 5-27 新生児特定集中治療室における通算の在室日数



※ 平均の通算在室日数：17.9日

※ 平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.6日

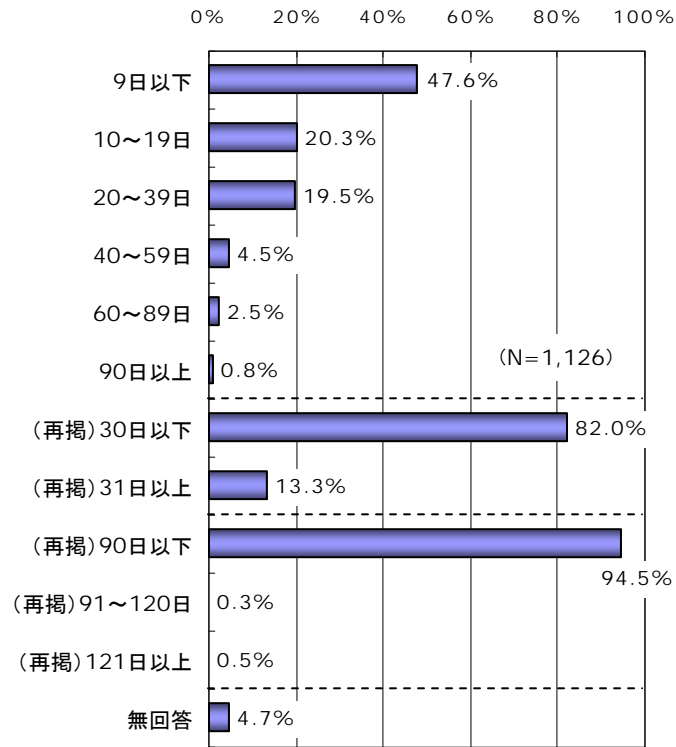
図表 5-28 新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）における通算の在室日数



※ 平均の通算在室日数：19.3日

※ 平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.1日

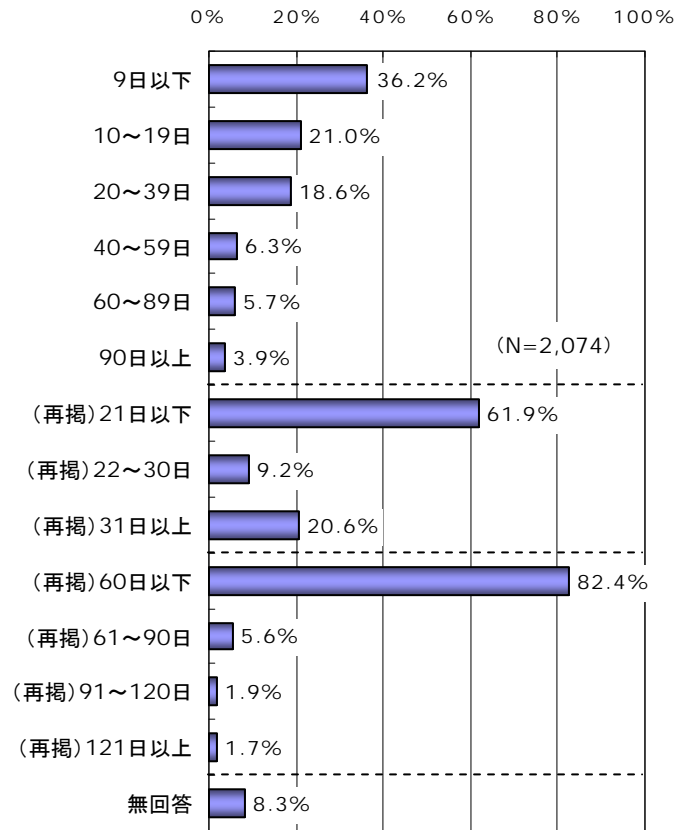
図表 5-29 新生児治療回復室における通算の在室日数



※ 平均の通算在室日数：16.2日

※ 平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.3日

図表 5-30 新生児特定集中治療室、新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）、
新生児治療回復室における通算の在室日数

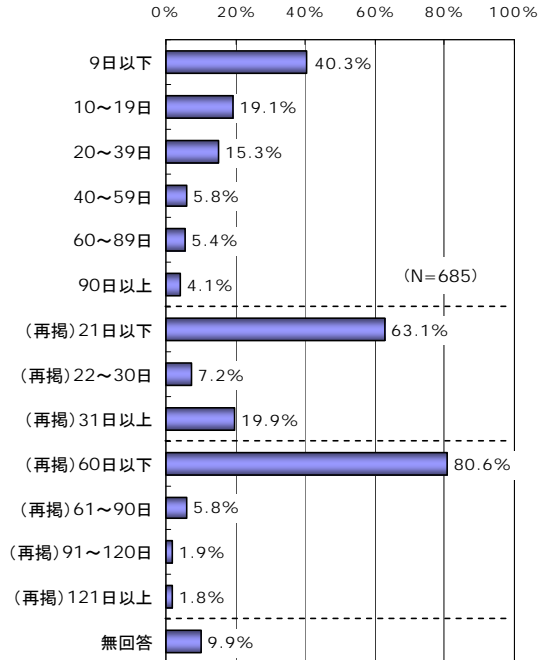


※ 平均の通算在室日数：24.3 日

※ 平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.5 日

図表 5-31 入院先の病院における「新生児特定集中治療室退院調整加算」算定件数の有無別の
 新生児特定集中治療室、新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）、新生児治療回復室
 における通算の在室日数

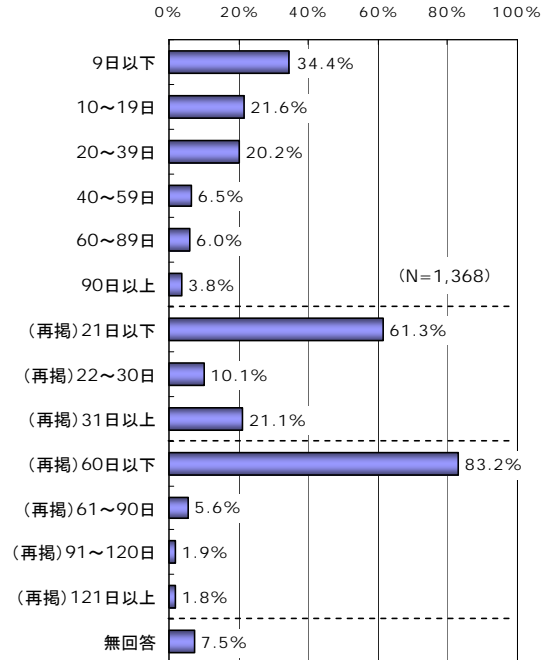
【加算算定件数有りの病院の入院患者】



※平均の通算在室日数：23.9日

※平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.4日

【加算算定件数無しの病院の入院患者】

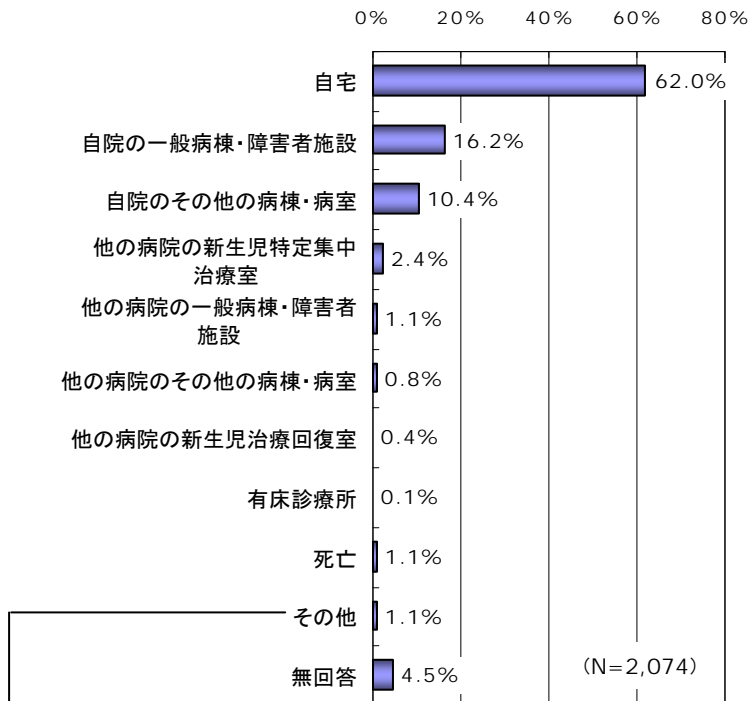


※平均の通算在室日数：24.6日

※平均の転棟・転院・退院までの待機日数：0.6日

(4) 退室時の状況

図表 5-32 退室後の居場所



図表 5-33 退室後の居場所「その他」の内訳 [複数回答]

	人数	割合
自院（病棟種別は不明）	11人	0.5%
乳児院	6人	0.3%
他院（病棟種別は不明）	3人	0.1%
無回答	2人	0.1%
全 体	2,074人	100.0%

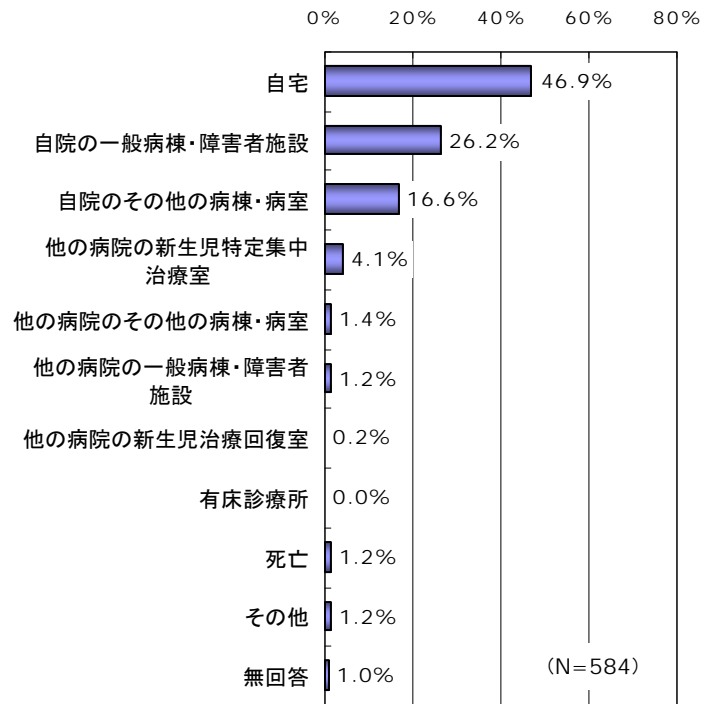
図表 5-34 退室決定の状況

	人 数	割 合
特に問題なく、予定通りに退室できた	1,494 人	72.0%
病状悪化等の理由により、退室が延びていた	134 人	6.5%
予定よりも早く退室できた	76 人	3.7%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退室が延びていた	21 人	1.0%
入院・入所する施設の都合で、退室が延びていた	12 人	0.6%
在宅に戻る予定だったが、在宅サービスの利用開始待ちのため、退室が延びていた	1 人	0.0%
その他	115 人	5.5%
無回答	221 人	10.7%
全 体	2,074 人	

▶ 図表 5-35 退室決定の状況「その他」の内訳

	人 数	割 合
他の医療機関での治療のため、転院となった	28 人	1.4%
治療のため、転棟となった	23 人	1.1%
死亡	11 人	0.5%
体重増加待ちのため、転棟となった	9 人	0.4%
母親の病態が悪く、退室が延びていた	4 人	0.2%
無回答	40 人	1.9%
全 体	2,074 人	

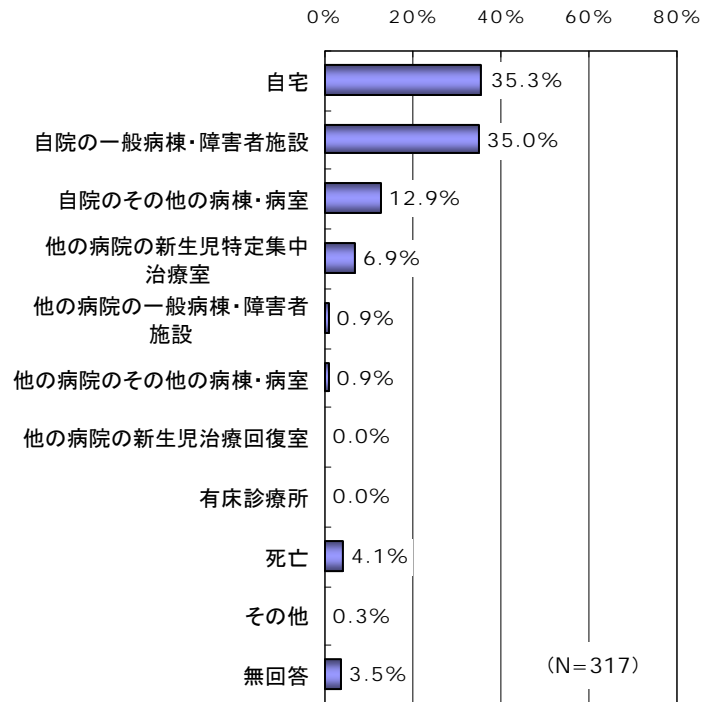
図表 5-36 最後に新生児特定集中治療室から退室した患者の退室後の居場所



図表 5-37 最後に新生児特定集中治療室から退室した患者の退室決定の状況

	人 数	割 合
特に問題なく、予定通りに退室できた	432 人	74.0%
病状悪化等の理由により、退室が延びていた	29 人	5.0%
予定よりも早く退室できた	25 人	4.3%
入院・入所する施設の都合で、退室が延びていた	6 人	1.0%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退室が延びていた	2 人	0.3%
在宅に戻る予定だったが、在宅サービスの利用開始待ちのため、退室が延びていた	0 人	0.0%
その他	34 人	5.8%
無回答	56 人	9.6%
全 体	584 人	

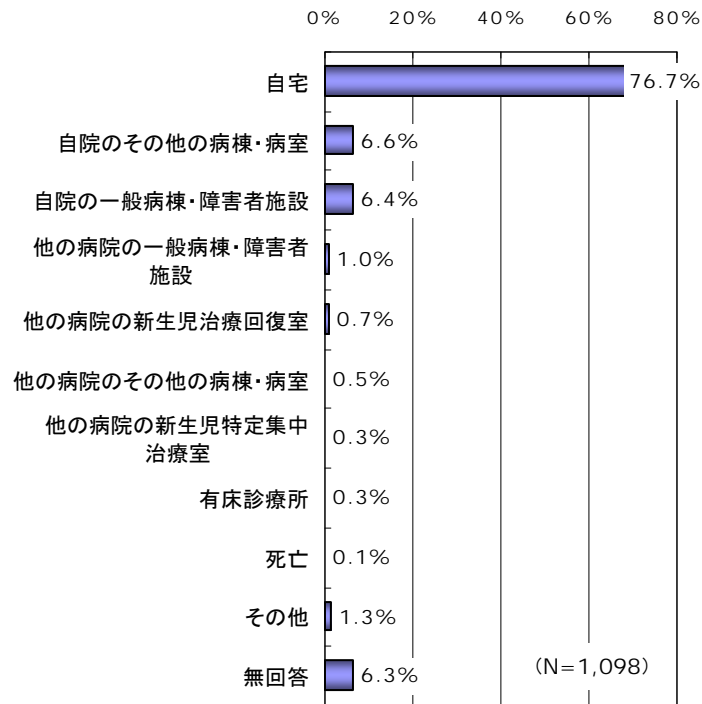
図表 5-38 最後に新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）から退室した患者の退室後の居場所



図表 5-39 最後に新生児集中治療室（総合周産期特定集中治療室）から退室した患者の退室決定の状況

	人 数	割 合
特に問題なく、予定通りに退室できた	199 人	62.8%
病状悪化等の理由により、退室が延びていた	44 人	13.9%
予定よりも早く退室できた	8 人	2.5%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退室が延びていた	3 人	0.9%
入院・入所する施設の都合で、退室が延びていた	1 人	0.3%
在宅に戻る予定だったが、在宅サービスの利用開始待ちのため、退室が延びていた	0 人	0.0%
その他	41 人	12.9%
無回答	21 人	6.6%
全 体	317 人	

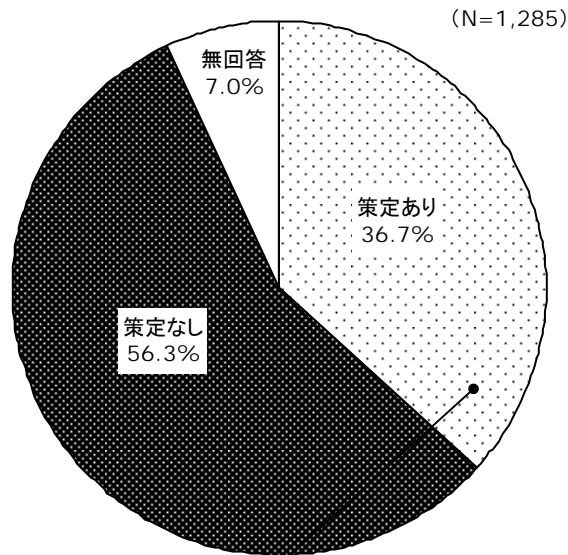
図表 5-40 最後に新生児治療回復室から退室した患者の退室後の居場所



図表 5-41 最後に新生児治療回復室から退室した患者の退室決定の状況

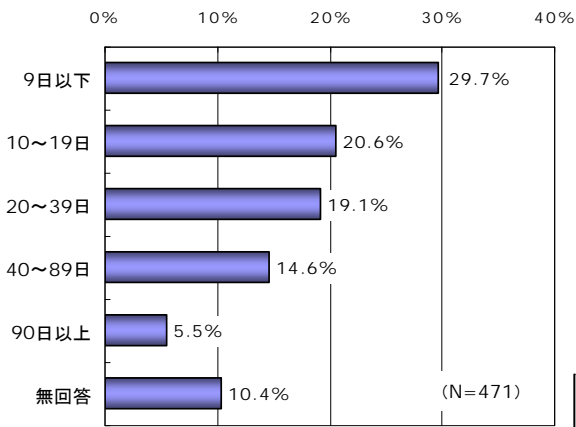
	人 数	割 合
特に問題なく、予定通りに退室できた	813 人	74.0%
病状悪化等の理由により、退室が延びていた	57 人	5.2%
予定よりも早く退室できた	39 人	3.6%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退室が延びていた	16 人	1.5%
入院・入所する施設の都合で、退室が延びていた	4 人	0.4%
在宅に戻る予定だったが、在宅サービスの利用開始待ちのため、退室が延びていた	1 人	0.1%
その他	38 人	3.5%
無回答	130 人	11.8%
全 体	1,098 人	

図表 5-42 退室後の居場所が自宅だった場合の退院支援計画書の策定の有無



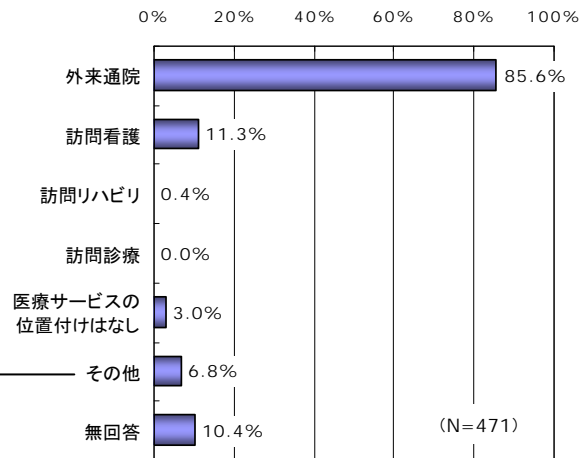
図表 5-43 退院支援計画書の策定状況

【退院支援計画書の策定までの期間】



※ 平均の策定日数：29.0 日目

【退院支援計画書における医療サービスの位置付けの有無】



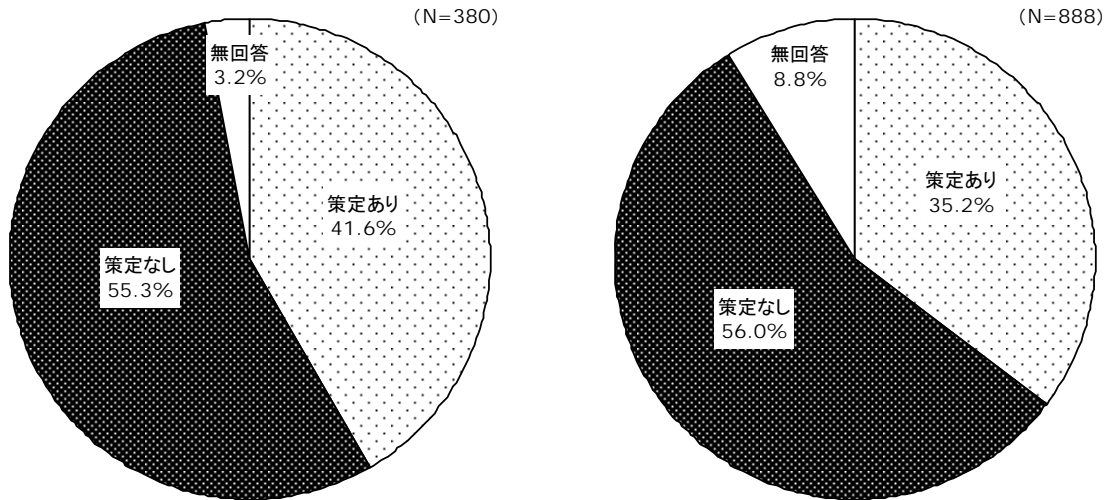
図表 5-44 「その他」の内訳【複数回答】

	人数	割合
保健師の関与	26人	5.5%
他の医療機関への紹介	3人	0.6%
看護師による電話相談	2人	0.4%
地域のサービスへの紹介	2人	0.4%
無回答	0人	0.0%
全 体	471人	100.0%

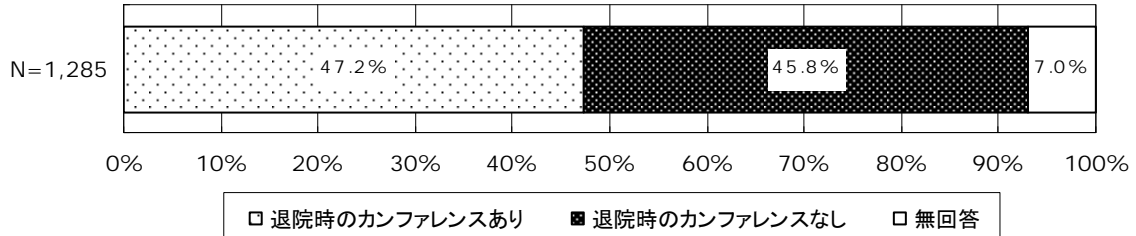
図表 5-45 入院先の病院における「新生児特定集中治療室退院調整加算」算定件数の有無別の退室後の居場所が自宅だった場合の退院支援計画書の策定の有無

【加算算定件数有りの病院の入院患者】

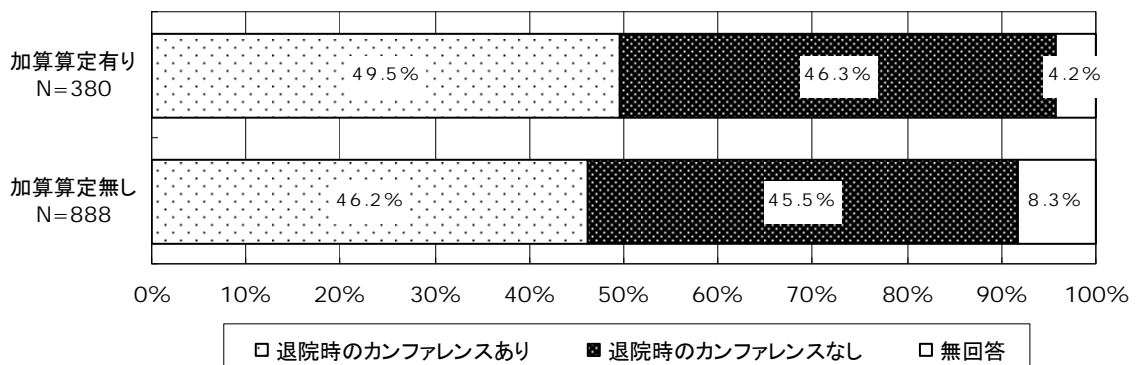
【加算算定件数無しの病院の入院患者】



図表 5-46 退室後の居場所が自宅だった場合の退院時のカンファレンスの開催の有無



図表 5-47 入院先の病院における「新生児特定集中治療室退院調整加算」算定件数の有無別の退室後の居場所が自宅だった場合の退院時のカンファレンスの開催の有無

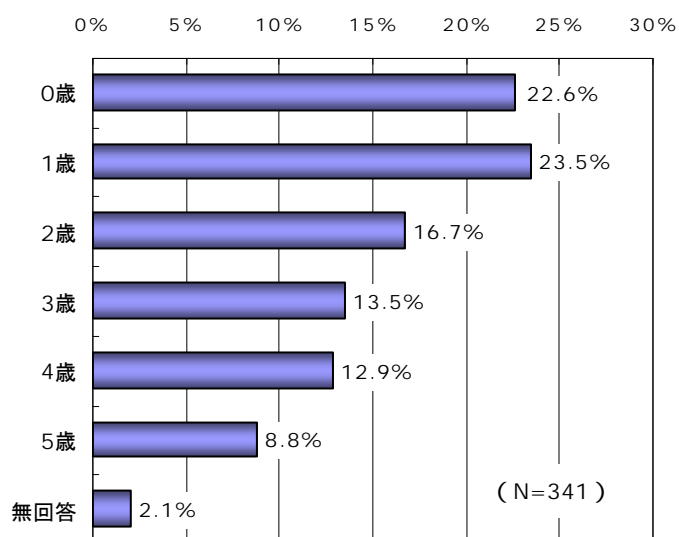


6 院内トリアージの評価に関する調査

(1) 患者本人・保護者の概況

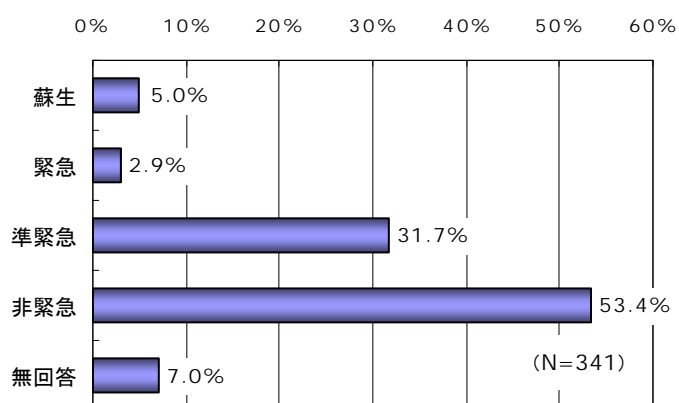
① 患者本人の概況

図表 6-1 患者本人の年齢
[記入者 保護者]



※ 平均年齢：2.0 歳

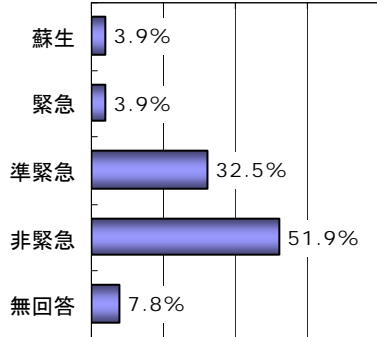
図表 6-2 患者本人のトリアージ区分
[記入者 医療機関]



図表 6-3 患者本人の年齢階級別のトリアージ区分
 [記入者 患者本人の年齢：保護者、トリアージ区分：医療機関]

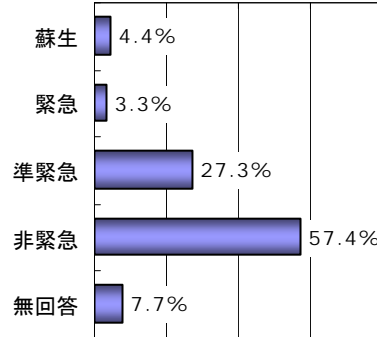
【0歳】

(N=77) 0% 20% 40% 60% 80%



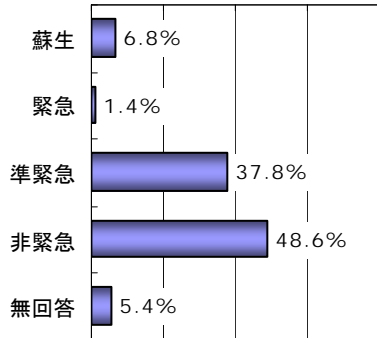
【1～3歳】

(N=183) 0% 20% 40% 60% 80%



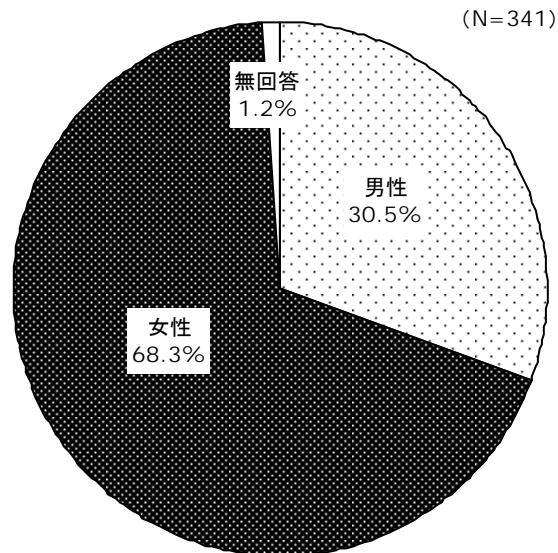
【4～5歳】

(N=74) 0% 20% 40% 60% 80%

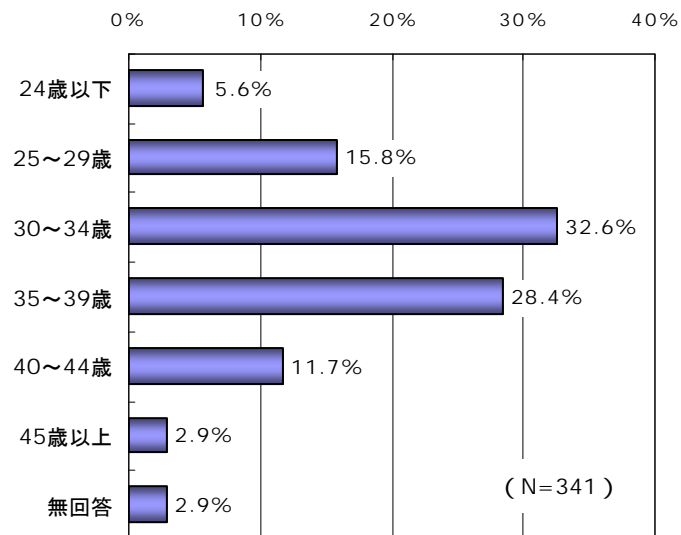


② 保護者の概況

図表 6-4 患者本人の性別
[記入者 保護者]



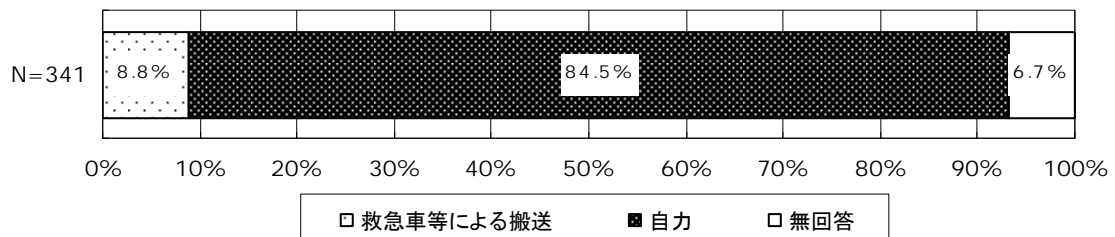
図表 6-5 保護者の年齢
[記入者 保護者]



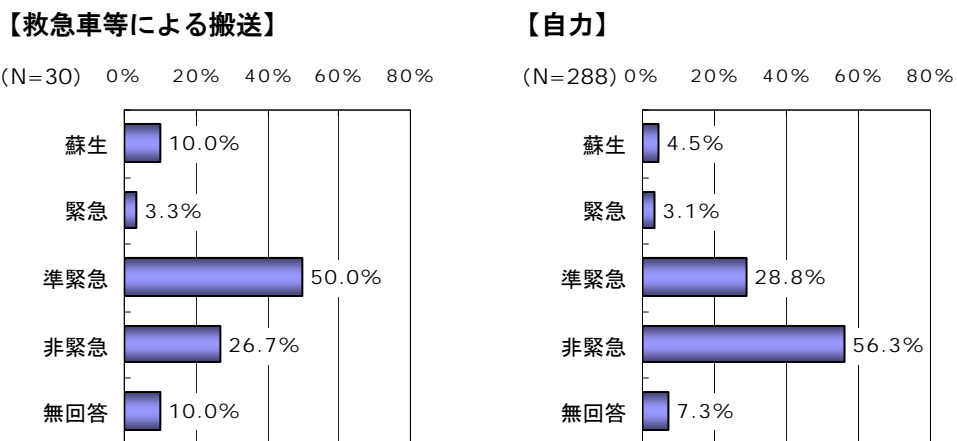
※ 平均年齢：33.7 歳

(2) 時間外の救急外来の受診状況

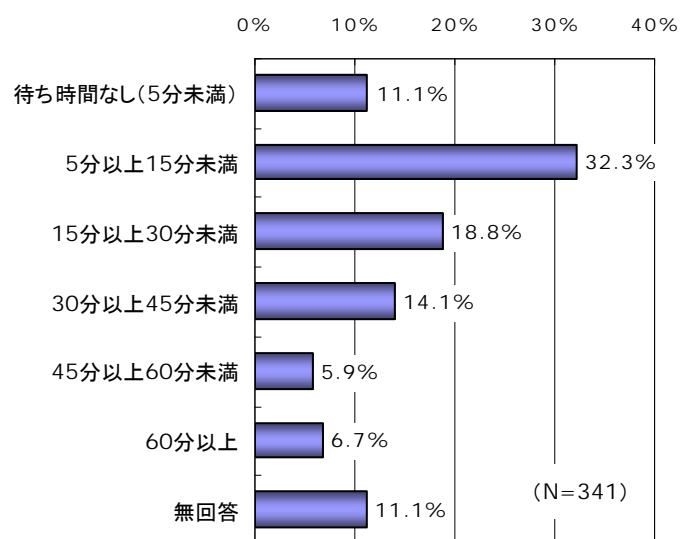
図表 6-6 保護者の救急の来院方法
[記入者 保護者]



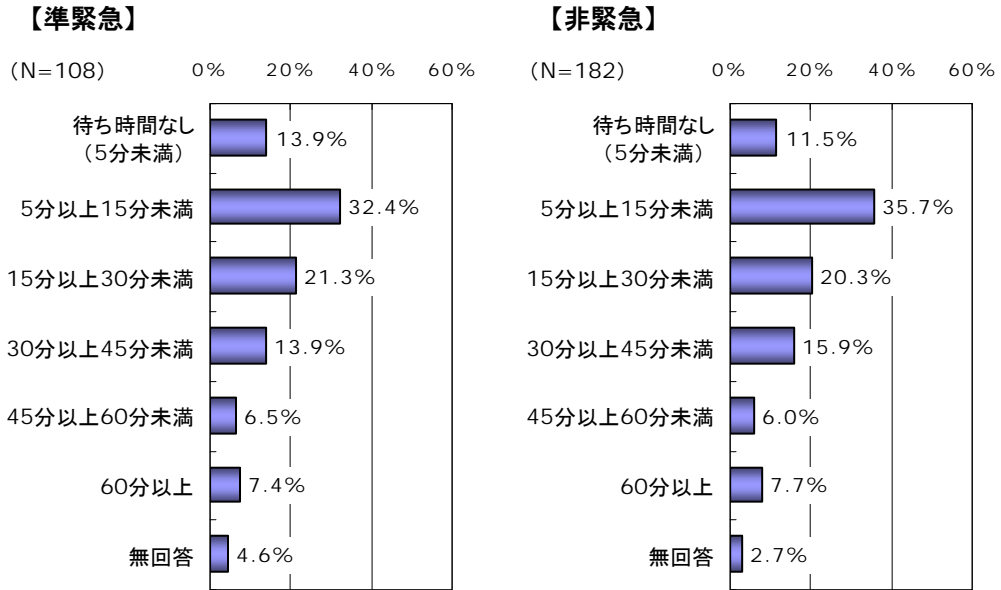
図表 6-7 保護者の救急の来院方法別の患者本人のトリアージ区分
[記入者 保護者の救急の来院方法：保護者、トリアージ区分：医療機関]



図表 6-8 救急外来における待ち時間
[記入者 保護者]



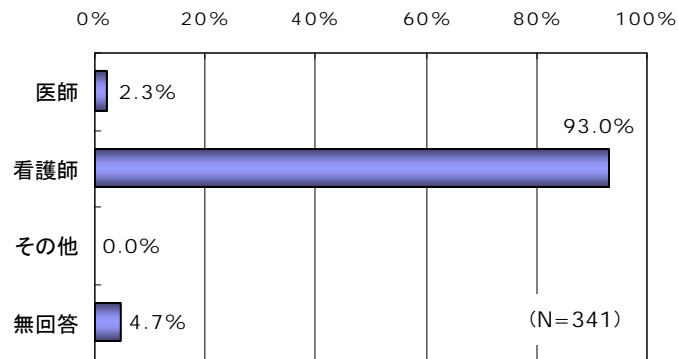
図表 6-9 患者本人のトリアージ区分が「準緊急」、「非緊急」の場合の待ち時間
 [記入者 患者本人のトリアージ区分：医療機関、待ち時間：保護者]



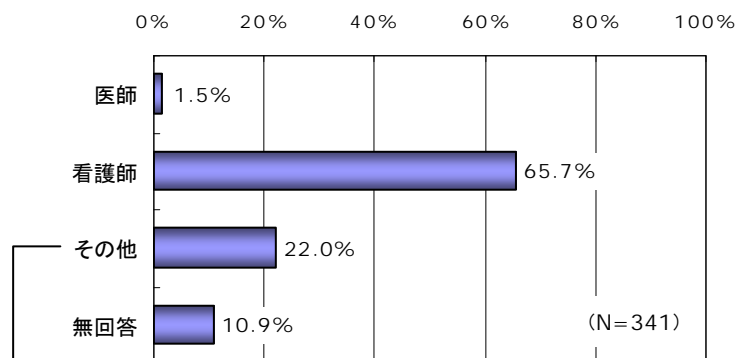
(3) 院内トリアージの実施状況

① 院内トリアージの実施状況

図表 6-10 トリアージの実施者
[記入者 医療機関]



図表 6-11 トリアージの趣旨の説明者
[記入者 医療機関]

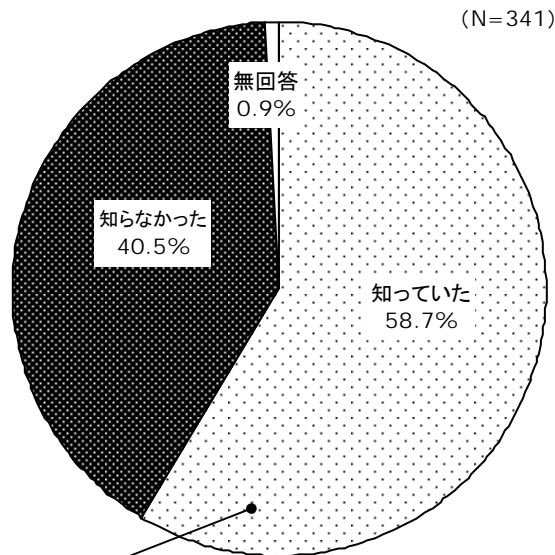


図表 6-12 トリアージの趣旨の説明者「その他」の内訳

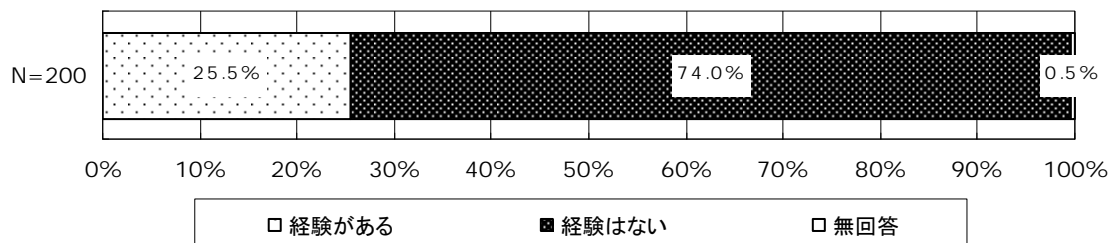
	人数	割合
院内掲示・配布資料	29人	8.5%
事務職	11人	3.2%
無回答	35人	10.3%
全体	341人	

② トリアージの仕組みの認知状況

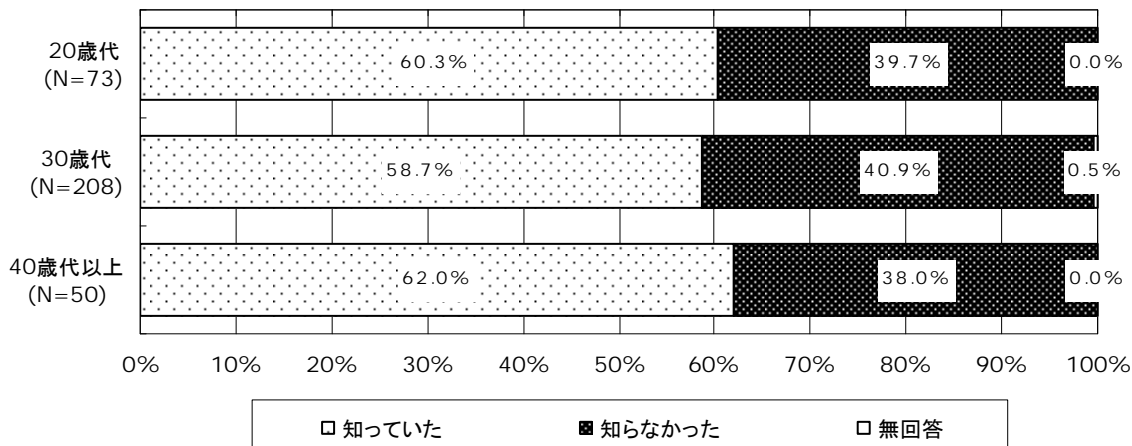
図表 6-13 トリアージの仕組みの認知の有無
[記入者 保護者]



図表 6-14 患者本人・保護者等におけるトリアージを受けた経験の有無
[記入者 保護者]

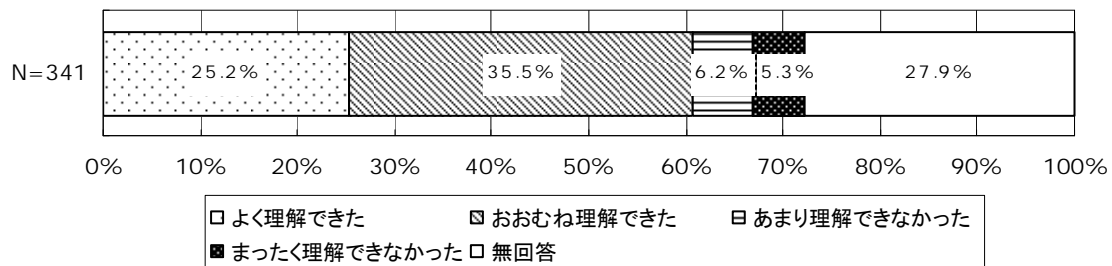


図表 6-15 保護者の年齢階級別のトリアージの仕組みの認知の有無
[記入者 保護者の年齢：保護者、トリアージの仕組みの認知：保護者]

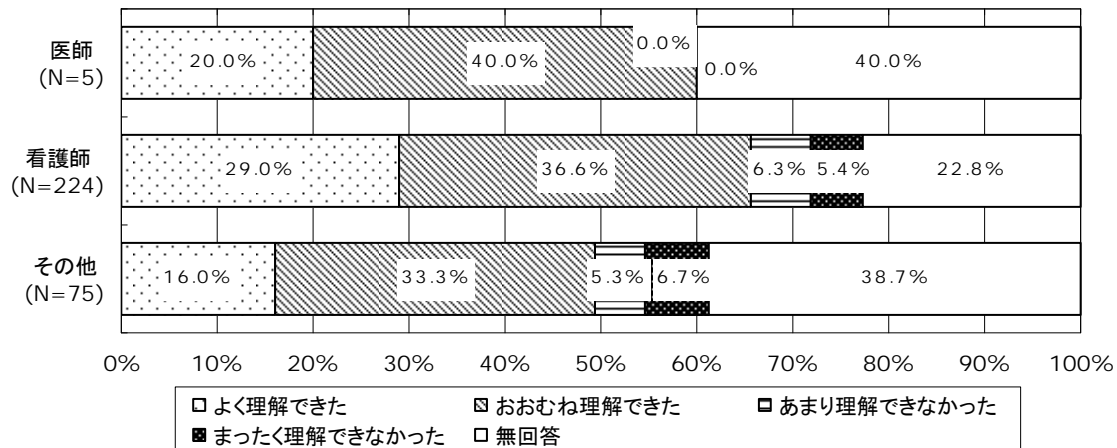


③ トリアージの趣旨の説明に対する理解状況

図表 6-16 トリアージを受けた際の趣旨についての説明に対する理解度
[記入者 保護者]

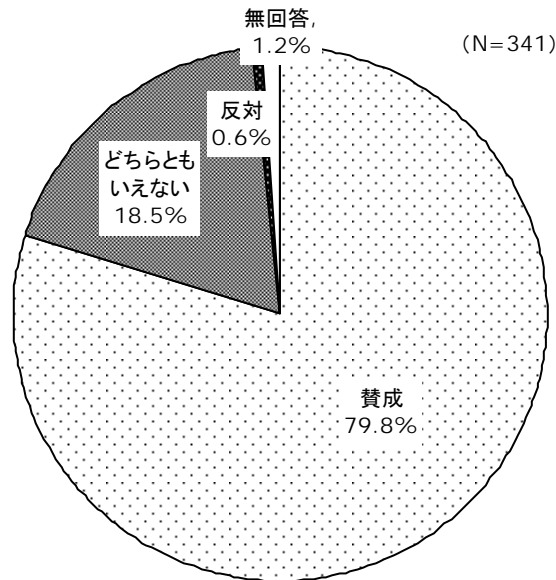


図表 6-17 トリアージの趣旨の説明者別の理解度
[記入者 トリアージの趣旨の説明者：医療機関、説明に対する理解度：保護者]



④ トリアージに対する賛否

図表 6-18 トリアージに対する賛否
[記入者 保護者]



図表 6-19 トリアージに賛成する理由 [複数回答]
[記入者 保護者]

	人数	割合
緊急度が高い場合にすぐに診療してもらえるため	252人	92.6%
診療前に医師・看護師と話せることで安心感があるため	120人	44.1%
患者の病状を判断する上で、保護者・同行者の知識・教育に役立つため	53人	19.5%
その他	7人	2.6%
無回答	1人	0.4%
全 体	272人	

図表 6-20 トリアージに賛成する理由「その他」の内訳

<p>《緊急度が高い場合に優先してもらえる安心感があるため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもが緊急だったら、是非してもらいたいと思うから。 ・緊急度が高い患者を医師や看護師の判断で先に診療するのは良い仕組みであるため。 ・緊急度の高い方を優先するのは当たり前だと思うため。 ・緊急の電話をした時の状況が現場に伝わっていないため。普通に待たされるが、その後看護師が気づいて、すぐ診てもらえた。その時入院したので、本当に助かったと思った。 <p>《緊急度が低い患者の救急利用が減少するため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急度の低い患者の救急利用が減るかもしれないと思うため。 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しかし、緊急度が低いとされた時、どれくらい待ち時間が発生するのか不安になる。

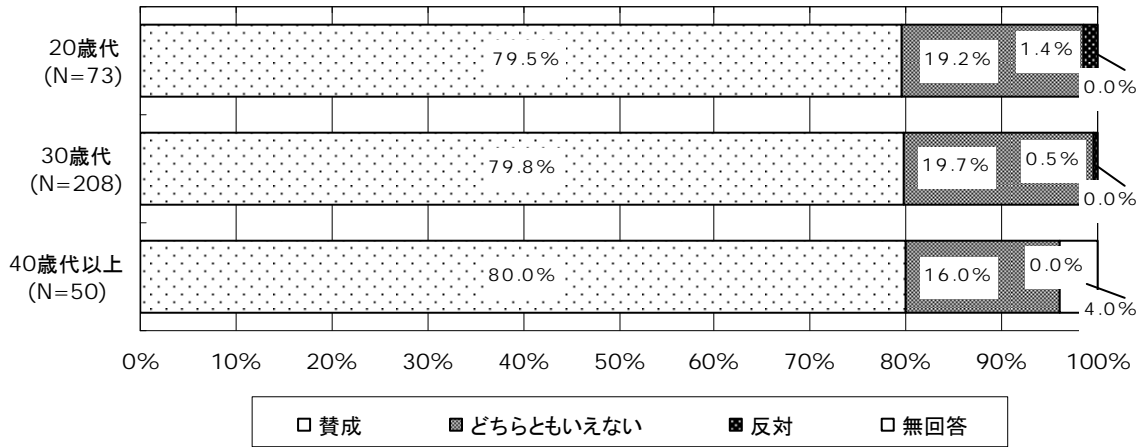
図表 6-21 トリアージにどちらともいえない、あるいは反対する理由 [複数回答]
[記入者 保護者]

	人 数	割 合
トリアージの判断が適切になされるのか不安であるため	41 人	63.1%
患者の緊急度以外にも患者・同行者の事情を考慮する必要があるため	23 人	35.4%
緊急度が低い場合に順番を抜かされると不快であるため	17 人	26.2%
その他	10 人	15.4%
無回答	0 人	0.0%
全 体	65 人	

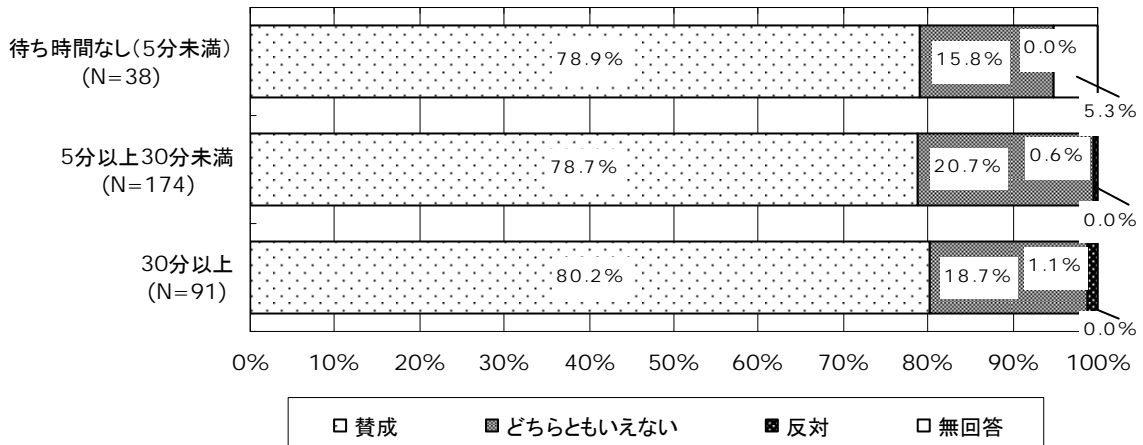
▶ 図表 6-22 トリアージにどちらともいえない、あるいは反対する理由「その他」の内訳

<p>《トリアージを受ける側の理解が必要である》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待っている人にちゃんと説明できるのか。どうして順番が変わるのかということについて、周囲の理解は必要だと思う。 ・ 緊急度に応じて対応してもらえるのは患者にとって良いことだと思うが、同時にトリアージを受ける側もある程度知識が必要だと感じたため。 ・ 事前に説明があれば良い。 ・ 救急車を呼ぶほどのものでもなくても呼んで救急車で来た者が優先されることがあった場合、重症であって自力で来た者にとっては不快である。 <p>《待ち時間の対応に不安を感じる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待っている時に急変したらどうするのか。しかし、緊急度が高いと思われる人がすぐ診てもらえるのは良いことだと思う。 ・ 緊急度が低いと判断された後、急変した場合に不安を感じる。 ・ 緊急度の高い患者が集中した場合、いつになったら診療してもらえるのか。そうした場合のルールはどうなっているのか疑問である。 ・ 高熱でぐったりしている子どもを2時間 30分も抱き続けて親も体調を崩した。トリアージを設けてもせめて2時間で診てもらいたい。 ・ 待ち時間に不安が生じるため。 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 流行性のものの場合、周りにうつしてしまうのではないかと、またはうつされてしまうのではないかと心配になる。
--

図表 6-23 保護者の年齢階級別のトリアージに対する賛否
 [記入者 保護者の年齢：保護者、トリアージに対する賛否：保護者]

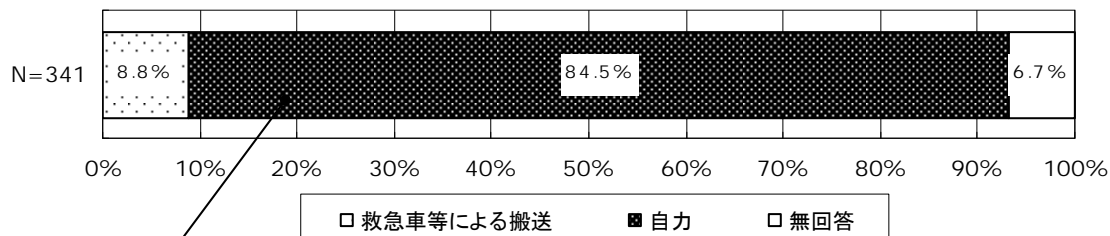


図表 6-24 待ち時間別のトリアージに対する賛否
 [記入者 待ち時間：保護者、トリアージに対する賛否：保護者]

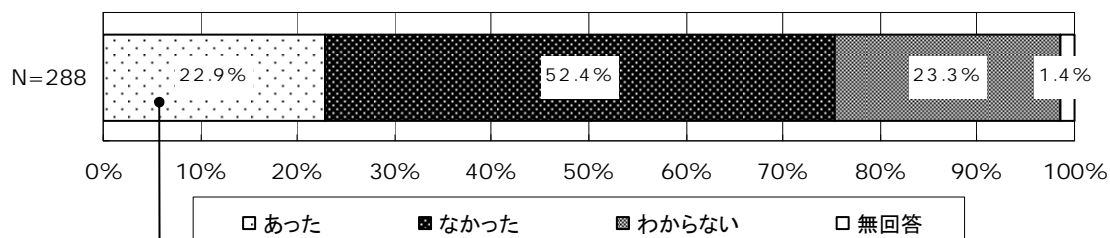


(4) 時間外の救急外来の受診に係る意見

図表 6-25 救急の来院方法[再掲]
[記入者 保護者]



図表 6-26 自力で受診した場合の今回受診した時間帯に近隣にあり医療機関の有無
[記入者 保護者]



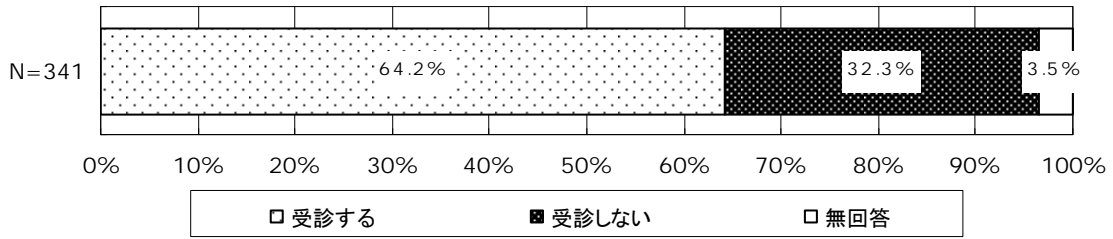
図表 6-27 時間外の救急外来を受診した医療機関を選んだ理由 [複数回答]
[記入者 保護者]

	人数	割合
休日または夜間診療をしていたから	29人	43.9%
大病院だから	18人	27.3%
最も近かったから	14人	21.2%
日ごろ診てもらっている先生がいるから	14人	21.2%
診てもらいたい診療科があったから	13人	19.7%
診てもらいたい時間にあいていたから	8人	12.1%
自分の病状に合う医療機関が他になかったから	4人	6.1%
その他	18人	27.3%
無回答	0人	0.0%
全 体	66人	

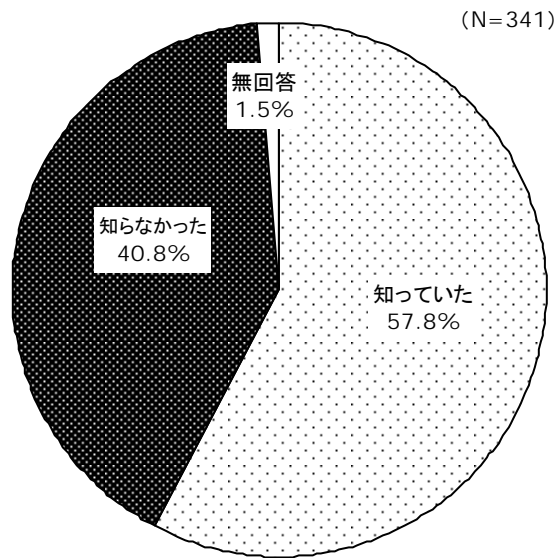
図表 6-28 時間外の救急外来を受診した医療機関を選んだ理由「その他」の内訳

	人数	割合
他の医療機関からの紹介・指示があったため	5人	7.6%
近隣の医療機関で受け入れてもらえなかったから	3人	4.5%
以前に受診したことがあったから	3人	4.5%
近隣の医療機関の待ち時間が長いから	1人	1.5%
検査ができるから	1人	1.5%
安心できる病院だから	1人	1.5%
ホームページで見つけたから	1人	1.5%
無回答	3人	4.5%
全 体	66人	

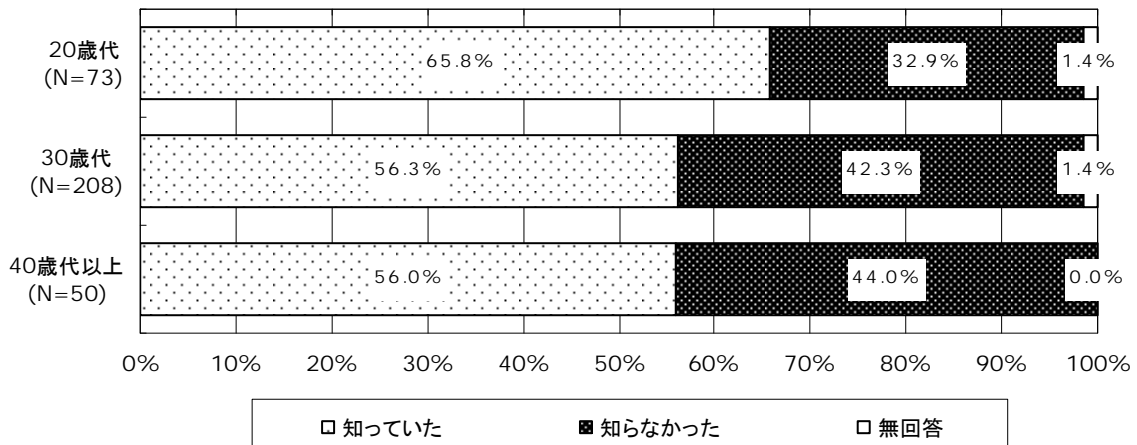
図表 6-29 今回の時間外の救急外来を受診した医療機関以外で休日・夜間にあいている診療所があった場合の受診意向
 [記入者 保護者]



図表 6-30 小児救急電話相談（#8000）の認知の有無
 [記入者 保護者]



図表 6-31 保護者の年齢階級別の小児救急電話相談（#8000）の認知の有無
 [記入者 保護者の年齢：保護者、小児救急電話相談（#8000）の認知：保護者]



図表 6-32 トリアージに対する意見、医療機関を受診するに当たって意識していること
 [複数回答]

[記入者 保護者]

	人 数	割 合
緊急度に応じて診療を優先してもらえるトリアージは良い仕組みである。	49 人	45.8%
トリアージを実施する上で丁寧な説明が必要である。	16 人	15.0%
トリアージで順序が後回しになった患者への配慮が必要である（待ち時間や、待っている間の症状に対する対処法の説明など）	13 人	12.1%
近隣で夜間・休日に空いている医療機関がなく困っている。	13 人	12.1%
トリアージの仕組みに関する周知が必要である。	9 人	8.4%
トリアージがうまくなされているのか、不安を感じる。	9 人	8.4%
電話相談の活用・充実（利用時間の拡大等）が必要である。	9 人	8.4%
近隣で小児科が少なく困っている。	8 人	7.5%
待ち時間の早い段階で医療スタッフと話すことができるため、安心感が得られる。	7 人	6.5%
緊急度が高くなくとも子どもの病状が不安で救急外来を受診してしまうため、順番を後回しにされても納得できる。	5 人	4.7%
子供は急変しやすかったり、泣いたりするため、大人よりも優先して診療してもらいたい。	4 人	3.7%
トリアージは混雑時のみでもよいのではないか。	3 人	2.8%
トリアージ後の急変時の対応に不安がある。	2 人	1.9%
その他	8 人	7.5%
全 体	107 人	

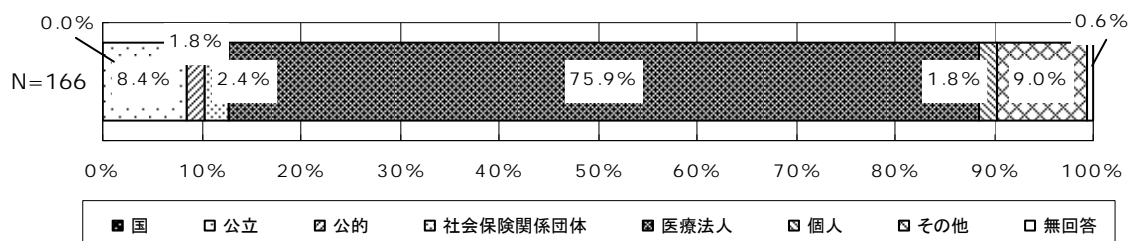
※トリアージに対する意見、医療機関を受診するに当たって意識していることについて回答のあった 107 人の自由回答をカテゴリ化した上での集計

7. 連携病院票の結果概要

(1) 回答病院の概況

① 開設者

図表 7-1 開設者



② 病床の状況

図表 7-2 1施設当たりの病床の状況

	施設数	平成 21 年 10 月			平成 22 年 10 月		
		許可病床数	病床利用率	平均在院日数	許可病床数	病床利用率	平均在院日数
一般病床	149 件	79.6 床	81.7%	45.9	79.5 床	82.2%	35.7
医療療養病床	154 件	58.7 床	88.5%	333.7	59.7 床	89.5%	296.0
介護療養病床	44 件	41.9 床	93.1%	461.1	41.0 床	89.4%	491.5
その他	30 件	80.7 床			79.4 床		

※有効回答のあった施設について集計

(2) 救急病院との連携状況

① 他院から転院してきた患者の受け入れ先、加算算定の状況

図表 7-3 他院から転院してきた患者の受け入れ先、加算算定の状況

		平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
		人数	割合	人数	割合
転院してきた患者数（他院で緊急入院していた者に限る）		1098 人	100.0%	1160 人	100.0%
受け入れた病棟等	① 新生児特定集中治療室	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	② 新生児治療回復室 ^注	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	③ 障害児施設	1 人	0.1%	5 人	0.4%
	④ ハイケアユニット	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	⑤ ①～④以外の一般病棟	825 人	75.1%	865 人	74.6%
	⑥ 療養病棟	107 人	9.7%	138 人	11.9%
	⑦ ①～⑥以外の病棟	165 人	15.0%	152 人	13.1%
加算	① 超重症児（者）入院診療加算	11 人	1.0%	12 人	1.0%
	② 準超重症児（者）入院診療加算	3 人	0.3%	7 人	0.6%
	③ 重症児（者）受入連携加算			3 人	0.3%
	④ 救急・在宅等支援療養病床初期加算			103 人	8.9%

※有効回答のあった 129 施設について集計

② 療養病棟に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

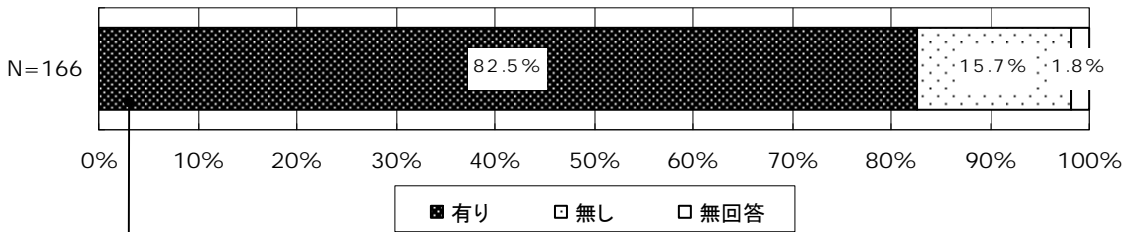
図表 7-4 療養病棟に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

		平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
		人数	割合	人数	割合
入院・転院してきた患者数		766 人	100.0%	802 人	100.0%
直前の居場所	① 自宅	360 人	47.0%	352 人	43.9%
	② 他の医療機関の新生児特定集中治療室	11 人	1.4%	0 人	0.0%
	③ 他の医療機関の新生児治療回復室	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	④ 他の医療機関のその他の一般病棟	250 人	32.6%	296 人	36.9%
	⑤ 他の医療機関の療養病棟	10 人	1.3%	14 人	1.7%
	⑥ 他の医療機関のその他の病棟	3 人	0.4%	7 人	0.9%
	⑦ 特別養護老人ホーム	33 人	4.3%	30 人	3.7%
	⑧ 老人保健施設	73 人	9.5%	55 人	6.9%
	⑨ その他の施設	26 人	3.4%	48 人	6.0%
うち、救急・在宅等支援療養病床初期加算の算定患者数				131 人	16.3%

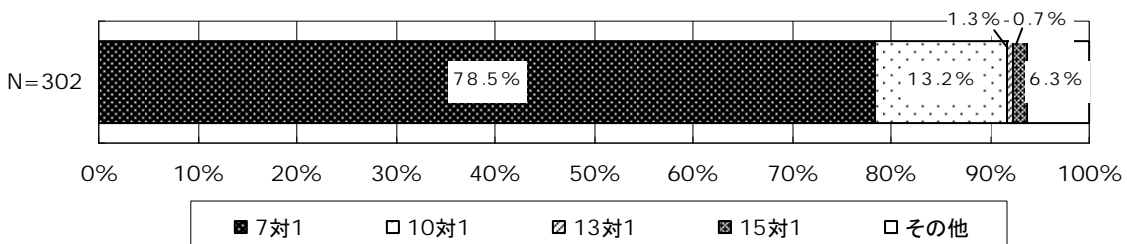
※有効回答のあった 88 施設について集計

(3) 救急搬送患者地域連携受入加算の届け出状況

図表 7-5 施設基準の届け出の有無



図表 7-6 連携医療機関の入院基本料の状況



※施設基準の届け出をしている施設 137 施設のうち有効回答のあった 130 施設（連携先医療機関数 302 施設）について集計

(4) 慢性期病棟等退院調整加算の算定状況

図表 7-7 慢性期病棟等退院調整加算の算定状況

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
① 在宅への退院患者	2512 人	100.0%	2591 人	100.0%
【再掲】退院調整加算の算定患者	158 人	6.3%		
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 1 の算定患者			34 人	1.3%
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 2 の算定患者			16 人	0.6%

※有効回答のあった 115 施設について集計

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
② 他の病院への転院患者	300 人	100.0%	312 人	100.0%
【再掲】退院調整加算の算定患者	17 人	5.7%		
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 1 の算定患者			5 人	1.6%
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 2 の算定患者			8 人	2.6%

※有効回答のあった 105 施設について集計

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
③ 有床診療所への転院患者	52 人	100.0%	55 人	100.0%
【再掲】退院調整加算の算定患者	11 人	21.2%		
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 1 の算定患者			1 人	1.8%
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 2 の算定患者			0 人	0.0%

※有効回答のあった 98 施設について集計

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
④ 介護施設等の転院患者	417 人	100.0%	396 人	100.0%
【再掲】退院調整加算の算定患者	78 人	18.7%		
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 1 の算定患者			27 人	6.8%
【再掲】慢性期病棟等退院調整加算 2 の算定患者			12 人	3.0%

※有効回答のあった 115 施設について集計

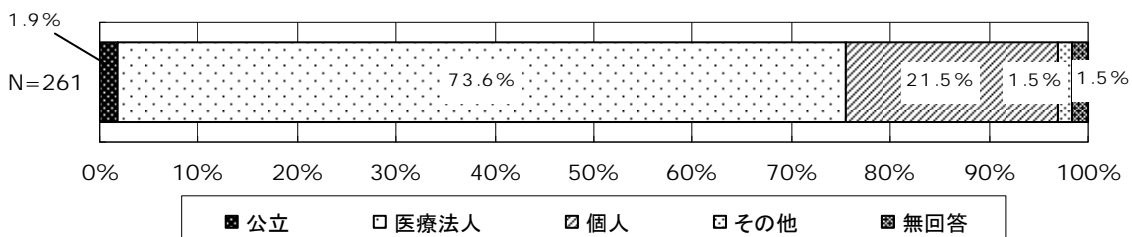
(5) その他

自由回答	
1.	当院は一般病棟と療養病棟があり、他の急性期、救急医療機関からの受け入れよりも近隣の診療所との連携による受け入れや外来から入院するケースが多い状況です。救急医療機関の実態はわかりませんが、問5の加算の7日間での転院という要件を満たすのは困難ではないでしょうか。高齢者はこの点数の対象ではないのだと感じられます。救急の点数を作り救急分野を手厚くしたという建前上の点数であり、実際に算定する(できる)医療機関は少ないと思います。
2.	夜間の救急指定病院(一次救急)の患者受け入れを積極的に行ってほしい。
3.	当院は出来る限りの救急車の受け入れに対応しておりますが、無保険および未収金の関係で大変苦勞しております。行政の方で何とか対応をしていただきたいものです。(保険者、徴収等)
4.	医師不足により、十分な救急医療の構築ができず苦慮している。
5.	超急性期病院から在宅へ帰ることが可能な患者はあまり紹介されてこない。病状の改善が期待できない患者が多いため、ベッド回転率が低くなってしまふ。連携といっても保険点数に影響される現状がある。
6.	当病院は、平成20年度にDPC対象病院となり、二次救急医療機関として年間約3,000件の救急車を受け入れている救急告示病院です。平成20年度診療報酬改定で新設された「救急医療管理加算」は、算定基準(特に重症度)を明確にすることが望ましいと考えます。また、平成22年度診療報酬改定では、DPC機能評価係数が新設され「救急医療係数」が付加されたことは、救急医療を担う医療機関として今後も継続して頂きたい項目の一つです。救急医療の評価のあり方については、DPC制度上、入院後、一定期間の出来高算定方式を導入するなど、医師確保等の諸問題を抱える医療現場を充実させる意味でも、更なる評価について再考をお願いしたいと思います。現医療制度において、大病院が多く存在する大都市の病院と、存続の危機に陥っている地方の病院が同じ条件で評価されていることも課題の一つです。今後、本国の救急医療現場が更に活性化し発展を遂げていくことを切に願っております。
7.	救急搬送患者地域受け入れ患者が未だに0人です。現在の基準(日数等)が厳しすぎる。実際に運用できる基準に変更願いたい。
8.	救急医療は基幹病院のみで行われているわけではなく、そのサテライト病院が重要なポイントと考えております。基幹病院のたらい回しをなくすための、民間病院への規制緩和なくして救急は続けていくことは困難です。既に、救急指定をやめる民間病院が減り、40以下になりつつあります。ご考慮のほどお願いします。
9.	救急患者に対して療養病棟でも出来高算定ができるようにしてもらわないと十分な対応ができない。

8. 有床診療所票の結果概要

(1) 回答診療所の概況

図表 8-1 開設者



(2) 救急病院との連携状況

① 他院から転院してきた患者の受け入れ先、加算算定の状況

図表 8-2 他院から転院してきた患者の受け入れ先、加算算定の状況

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
	人数	割合	人数	割合
転院してきた患者数（他院で緊急入院していた者に限る）	34 人		59 人	100.0%
加算	① 超重症児（者）入院診療加算		0 人	0.0%
	② 準超重症児（者）入院診療加算		0 人	0.0%
	③ 重症児（者）受入連携加算		29 人	49.2%
	④ 救急・在宅等支援療養病床初期加算		2 人	3.4%

※有効回答 191 施設での集計

② 一般病床に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

図表 8-3 一般病床に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

	平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月		
	人数	割合	人数	割合	
入院・転院してきた患者数	2,579 人	100.0%	2,594 人	100.0%	
直前の居場所	① 自宅	2,222 人	86.2%	2,237 人	86.2%
	② 他の医療機関の新生児特定集中治療室	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	③ 他の医療機関の新生児治療回復室 ^注	1 人	0.0%	0 人	0.0%
	④ 他の医療機関のその他の一般病棟	143 人	5.5%	161 人	6.2%
	⑤ 他の医療機関の療養病棟	19 人	0.7%	11 人	0.4%
	⑥ 他の医療機関のその他の病棟	27 人	1.0%	24 人	0.9%
	⑦ 特別養護老人ホーム	36 人	1.4%	45 人	1.7%
	⑧ 老人保健施設	52 人	2.0%	41 人	1.6%
	⑨ その他の施設	49 人	1.9%	59 人	2.3%
うち、有床診療所一般病床初期加算の算定患者数			1,324 人	51.0%	

※有効回答 231 施設での集計

③療養病床に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

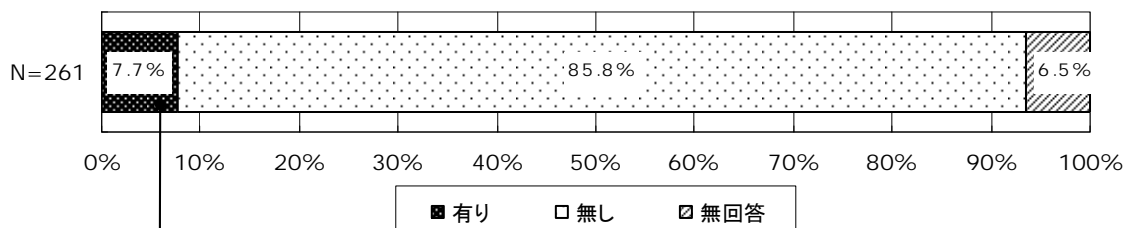
図表 8-4 療養病床に入院又は転院してきた患者の直前の居場所

		平成 21 年 10 月		平成 22 年 10 月	
		人数	割合	人数	割合
入院・転院してきた患者数		125 人	100.0%	140 人	100.0%
直前の居場所	① 自宅	58 人	46.4%	67 人	47.9%
	② 他の医療機関の新生児特定集中治療室	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	③ 他の医療機関の新生児治療回復室 ^注	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	④ 他の医療機関のその他の一般病棟	28 人	22.4%	36 人	25.7%
	⑤ 他の医療機関の療養病棟	16 人	12.8%	17 人	12.1%
	⑥ 他の医療機関のその他の病棟	4 人	3.2%	5 人	3.6%
	⑦ 特別養護老人ホーム	0 人	0.0%	0 人	0.0%
	⑧ 老人保健施設	9 人	7.2%	6 人	4.3%
	⑨ その他の施設	5 人	4.0%	2 人	1.4%
うち、救急・在宅等支援療養病床初期加算の算定患者数				33 人	23.6%

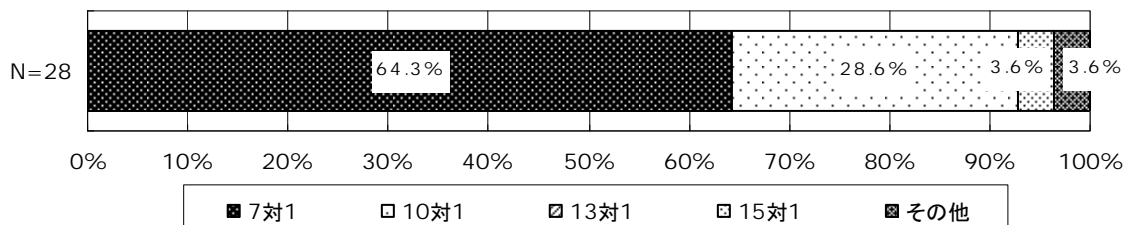
※有効回答 188 施設での集計

(3) 救急搬送患者地域連携受入加算の届け出状況

図表 8-5 施設基準の届け出の有無



図表 8-6 連携医療機関の入院基本料の状況



施設基準の届け出をしている施設 20 施設のうち有効回答のあった 15 施設（連携先医療機関数 28 施設）について集計

(4) 救急医療に関する意見

- ・近隣に小児科医が少なく救急搬送ができない状態です。三次医療機関まで2時間半かかるため、緊急な搬送が困難です。
- ・有床診療所の診療報酬の更なる改善、増額を求めます。現行では、医師・看護師等の適正な人件費を供することも不完全です。休日・夜間、不眠の場合もかなり多いのが現状です。
- ・看護師不足で、救急医療は不可能です。
- ・有床医療所の特徴を活かして救急の患者を受け入れたいと思うが、現在の入院基本料では、厚労省の要求する施設基準を満たすことは無理である。
- ・時間内外ともに一次救急程度は対応しているが、職員数に限りがあり対応不可のこともある。
- ・自院で行う場合は職員の問題があり、応救急診療所に出向いて行う場合は、その体制づくりは自治体でやらなければいけないという問題がある。看護師、レントゲン技師、検査技師等をどう確保するのかという問題も出てくる。・また後方支援病院の確保の問題もある。
- ・全科備えた24時間体制の一次救急施設を設置し、トリアージを行うと良い。
- ・当院は循環器疾患を24時間救急対応していますが、有床診療所のため病床数に限りがあります。直接の自宅退院が無理な場合や循環器科以外の合併症のある場合に転院先を探すのが困難なことがあり、受け皿となっただけの医療機関との連携が非常に重要であると考えます。